



プラスG エントランス クランクインタイプ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

- | | |
|-------------|---|
| ⚠ 警告 | ・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。 |
| ⚠ 注意 | ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。 |

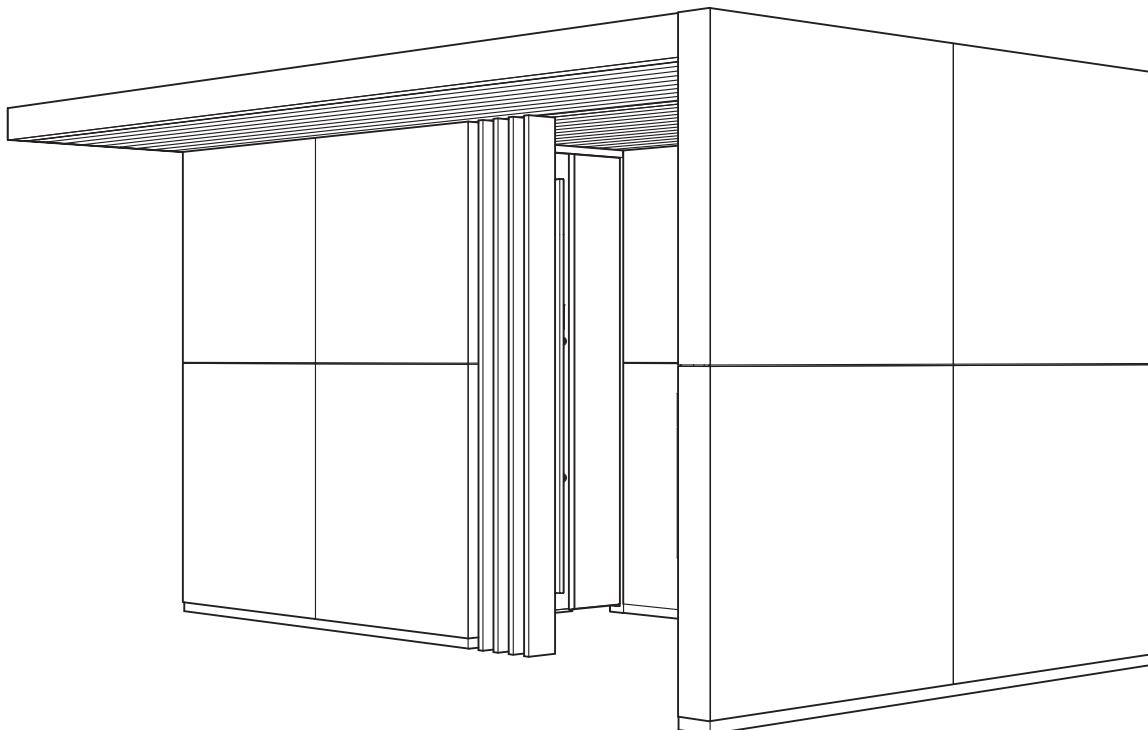
■情報に関する記号と説明

- | | |
|----------------|--|
| 施工上のお願い | ・取扱手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。 |
|----------------|--|

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示します。(例: 1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。



目次

施工上のご注意	3
施工の前に	3
施工上のご注意	3
基礎工事について	4
電気配線工事について	4
施工の後に	4
 チェックリスト	4
1 施工前の重要確認事項	5
1-1 クランクインの商品構成	5
1-2 クランクインタイプの商品の組み合わせ	6
1-3 取付け制限	7
2 各部名称と基本寸法	8
2-1 各部名称	8
2-2 基本寸法	10
3 基礎と配線工事	12
3-1 基礎工事	12
3-2 配線工事	13
4 施工の流れ	14
5 柱、フレームの取付けと基礎工事	17
5-1 柱 中間用とフレームの取付け	17
5-2 ふかし材の取付け	27
5-3 門扉枠の取付け	27
5-4 デザイン格子の取付け	28
5-5 鑄物パネルの取付け	33
6 基礎の打設	35
6-1 基礎の打設	35
7 エントランスルーフの取付け	36
7-1 エントランスルーフの取付け	36
8 天井材の取付け	37
8-1 化粧樋の取付け準備	37
8-2 天井材取付け位置の確認	39
8-3 部材の加工	40
8-4 天井横枠の取付け	41
8-5 天井縦枠の取付け	42
8-6 ダウンライト用配線穴加工	44
8-7 天井材の取付け	45
9 化粧樋の取付け	48
9-1 化粧樋の取付け	48
10 フレームカバーの取付け	50
10-1 フレームカバーの取付け	50
11 水抜き穴加工	50
11-1 水抜き穴加工	50
12 Gウォールの取付け	51
12-1 取付け工程の確認	51
12-2 Gウォール各部の納まり確認	52
12-3 Gウォール下地部材の取付け	57
12-4 Gウォール面材の取付け	60
13 フレームサイドカバーの取付け	61
13-1 フレームサイドカバーの取付け	61
14 門扉の取付け	61
14-1 電気錠の登録および設定	62
14-2 門扉のブザー音と表示について	67
14-3 コントローラユニットのブザー音とLED表示について	68
14-4 リモコンキーのランプ表示について	68
梱包明細表	69

□ 施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損することがあります。
- 本製品は必ず2人以上で施工を行ってください。
- 埋設管には、PF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。
- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

施工上のお願い

- 本説明書に記載のない商品の内容については、各商品の取付説明書を参照してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 両面テープを貼付する際は、下記の点に留意して施工を行ってください。
 - ・貼付面に水濡れのない事を確認し、汚れ・油分を取除きローラーや指等（5kg/cm²）で押し付けて十分に圧着してください。
十分に圧着されていない場合、接着力が低下し剥がれるおそれがあります。
 - ・気温が5°C以上の環境で施工を行うか、あらかじめ両面テープおよび貼付する部材を温めてから施工を行ってください。
気温が5°C未満の低温下では両面テープの初期接着力が低下するおそれがあります。
 - ・両面テープの貼付後は十分な養生期間を確保してください。
両面テープの接着強度は、圧着直後で最終強度の1/3、1時間経過で2/3まで向上、72時間経過で最終強度となります。
- 配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 掛け扉の袖に門袖を設置する場合、結束バンドを現場で手配してください。
- シークレットキーを設置する場合、Φ4×20ナベ1種ねじを現場で手配してください。

□ 施工の前に（つづき）

施工上のお願い

- 使用するシーリング材は、以下のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- ボルト、ねじ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
強度低下などの原因になります。
〈推奨トルク〉
※Φ4ねじ、ナット：2.5N·m±0.5N·m
(25±5kgf·cm)
※Φ5ねじ：3.0N·m±0.5N·m(30±5kgf·cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ねじなどにゆるみがないか確認してください。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

基礎工事について

⚠ 注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

電気配線工事について

⚠ 警告

- 電気配線工事について下記の項目を守ってください。守られない場合、漏電や感電につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配管距離が長い場合、また曲がりが2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- 付属のコネクターの固定（電線の接続）は、必ず専用の工具でカシメてください。
- 屋内からの配線はAWG16の配線を使用してください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途手配してください。
- LED照明（ダウンライト・表札灯）はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。

施工の後に

施工上のお願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 門扉の鍵は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●施工/取付

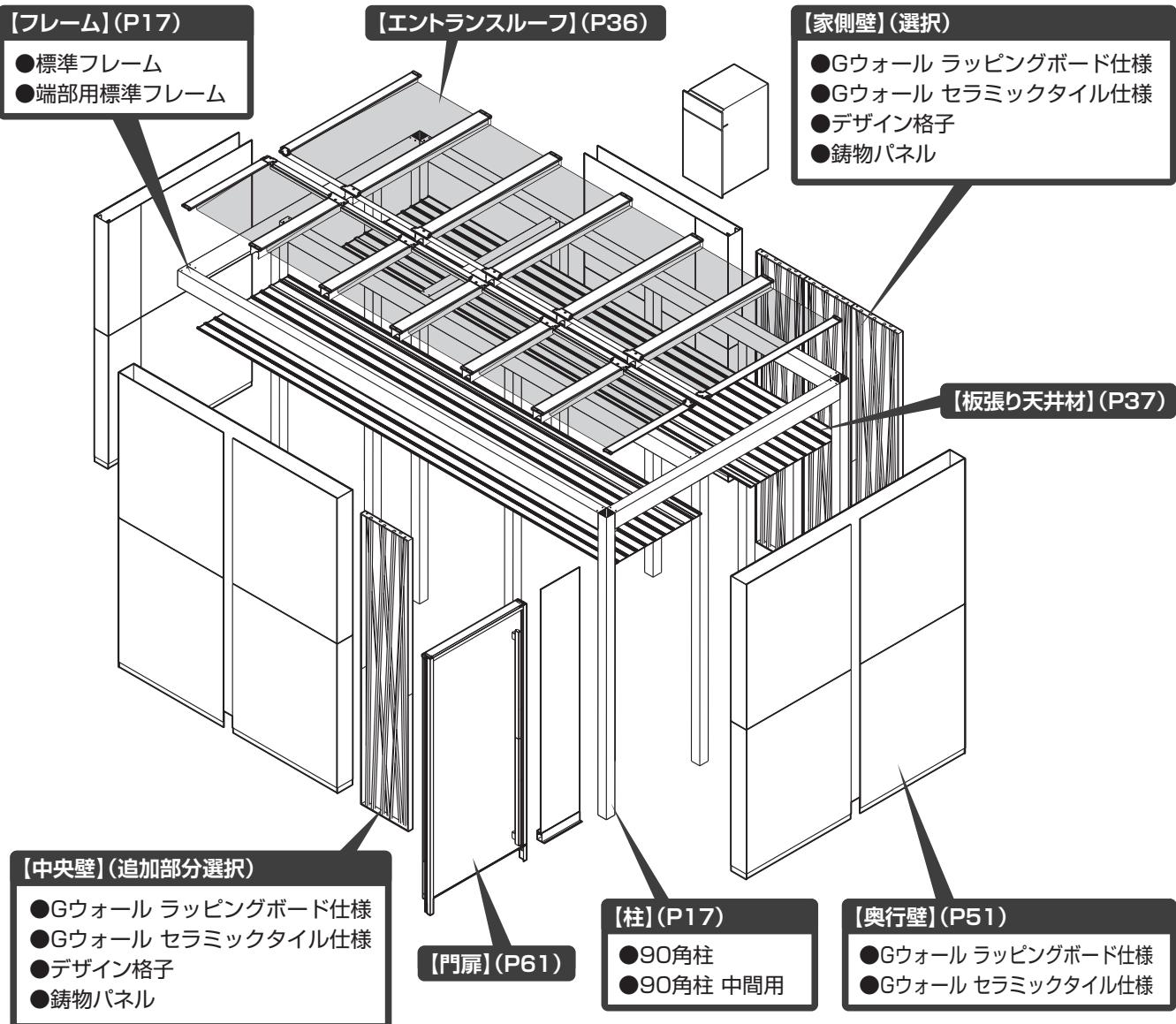
No.	ページ	チェック内容	
1	10~61	正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	10~61	寸法指示に従って施工取付しましたか。	<input type="checkbox"/>

●電気錠の動作

No.	ページ	チェック内容	
1	62~66	電源は入っていますか？（電源線、ブレーカーなど確認）	<input type="checkbox"/>
2	67~68	エラー音は鳴っていませんか？（エラー音にしたがって対処）	<input type="checkbox"/>

1 施工前の重要確認事項

1-1 クランクインの商品構成



施工上のお願い

- 上記から商品を選択し、クランクインの構成を決定してください。

1 施工前の重要確認事項

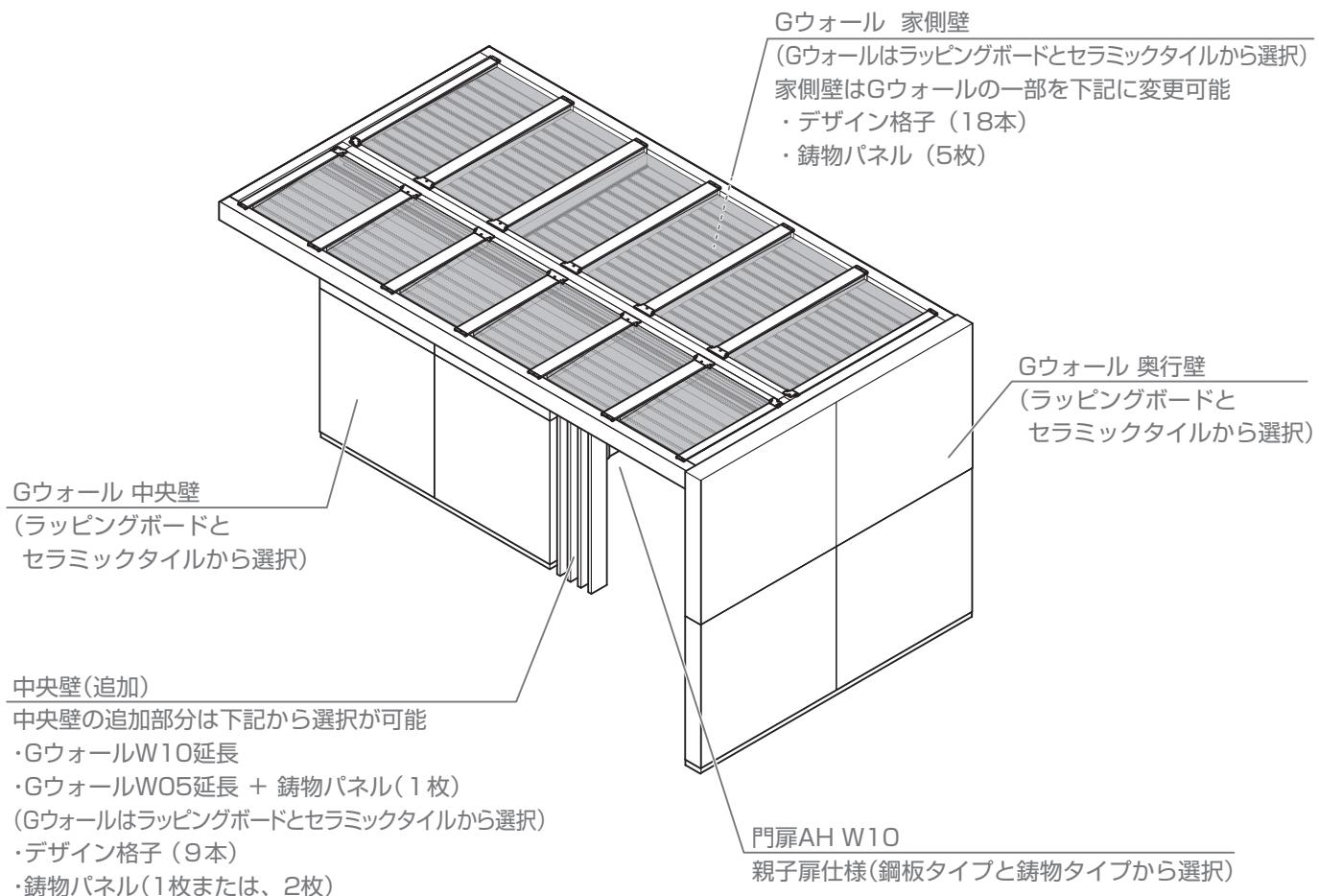
1-1 クランクインの商品構成（つづき）

取付説明書区分

商品	使用する取付説明書	取説コード
90角柱・標準フレーム		
デザイン格子		
エントランスルーフ	シンメトリーイタイプ クランクインイタイプ	EXM219 EXM224
板張り天井材		
門扉AH		
Gフレーム サイドカバー	Gフレーム サイドカバー	E293
Gウォール ラッピングボード仕様	Gウォール シンメトリーイタイプ	EXM017 EXM219
Gウォール セラミックタイル仕様	クランクインイタイプ	EXM224
鋳物パネル	Gスクリーン 鋳物デザインパネル	EXM151

1-2 クランクインタイプの商品の組み合わせ

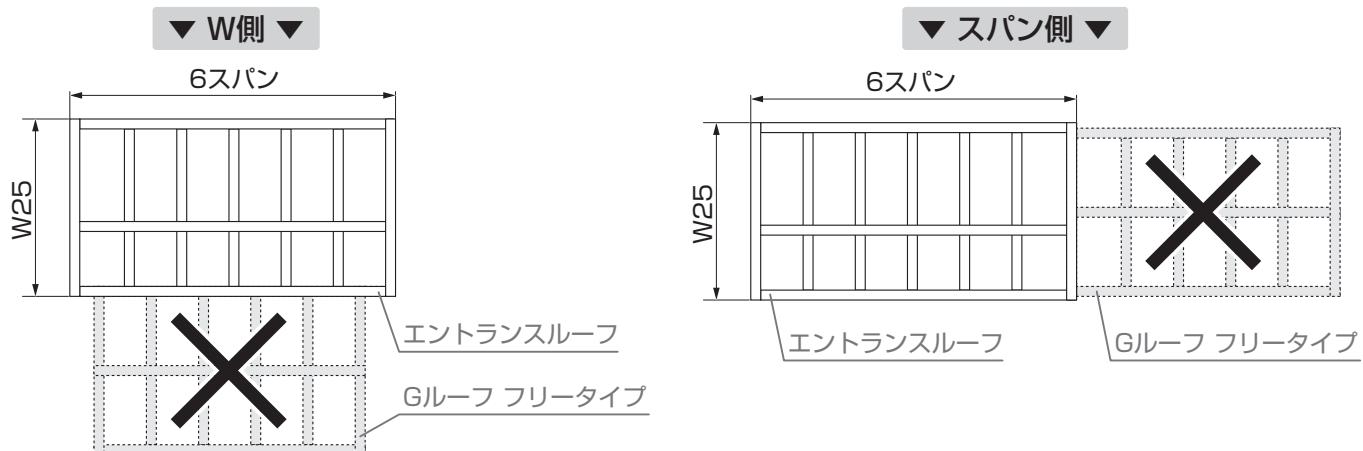
※下記以外の部材を取付けることはできません。



1 施工前の重要確認事項

1-3 取付け制限

エントランスルーフの接続



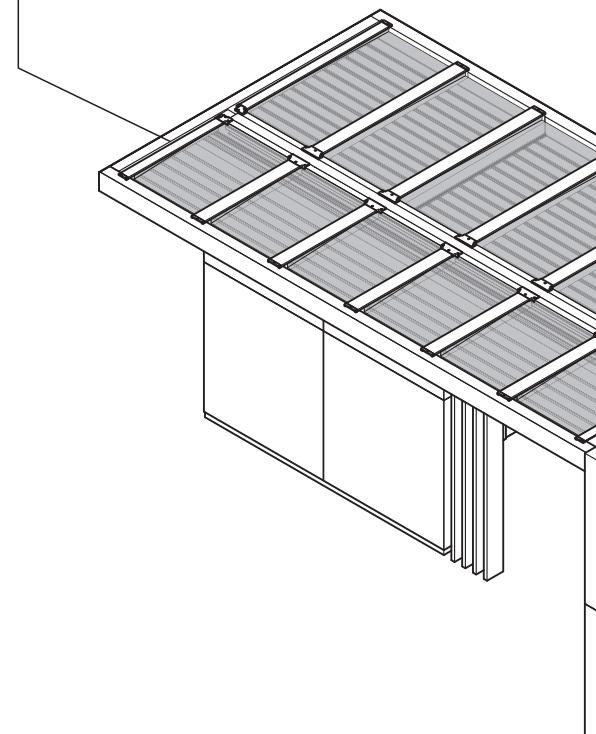
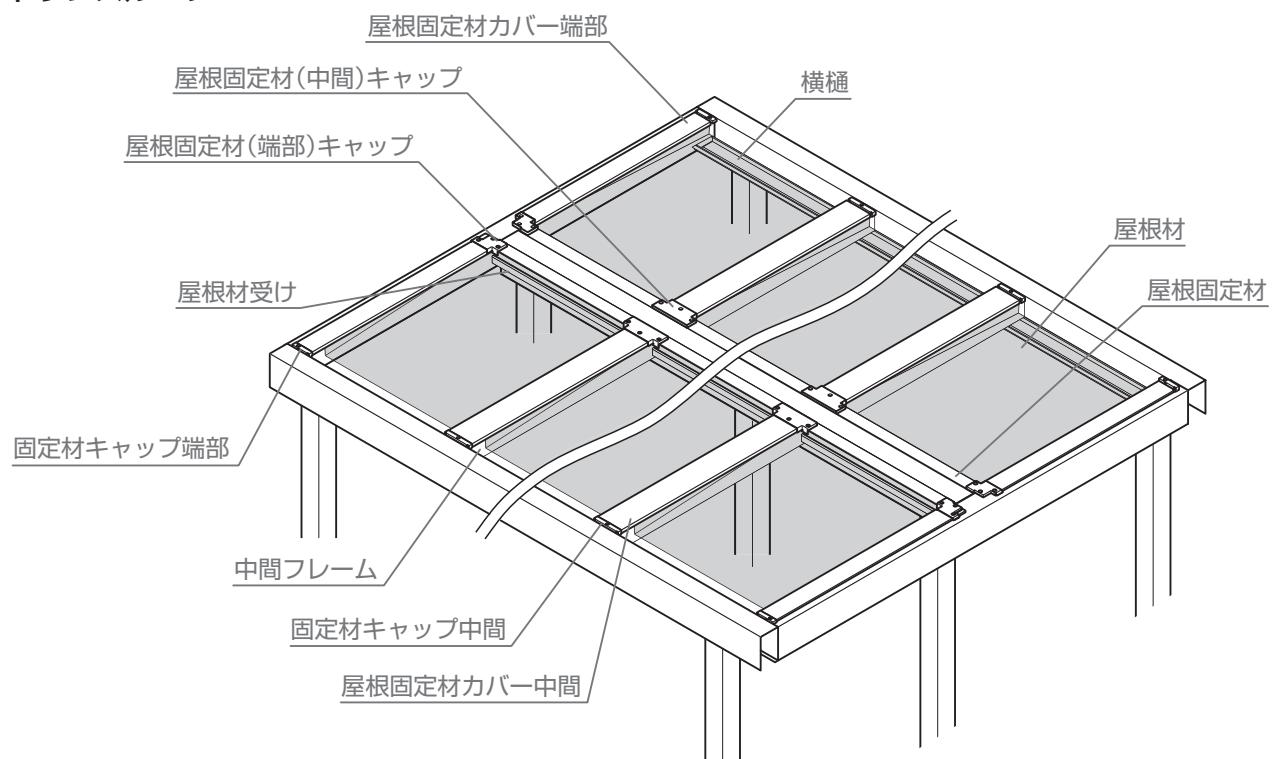
施工上のお願い

- エントランスルーフにプラスGの他の屋根商品を接続することはできません。プラスGエントランスは独立で施工してください。
- エントランスの横にGウォール、Gスクリーンを設置する場合は、施工スペースを確保してGフレームを設置する必要があります。

2 各部名称と基本寸法

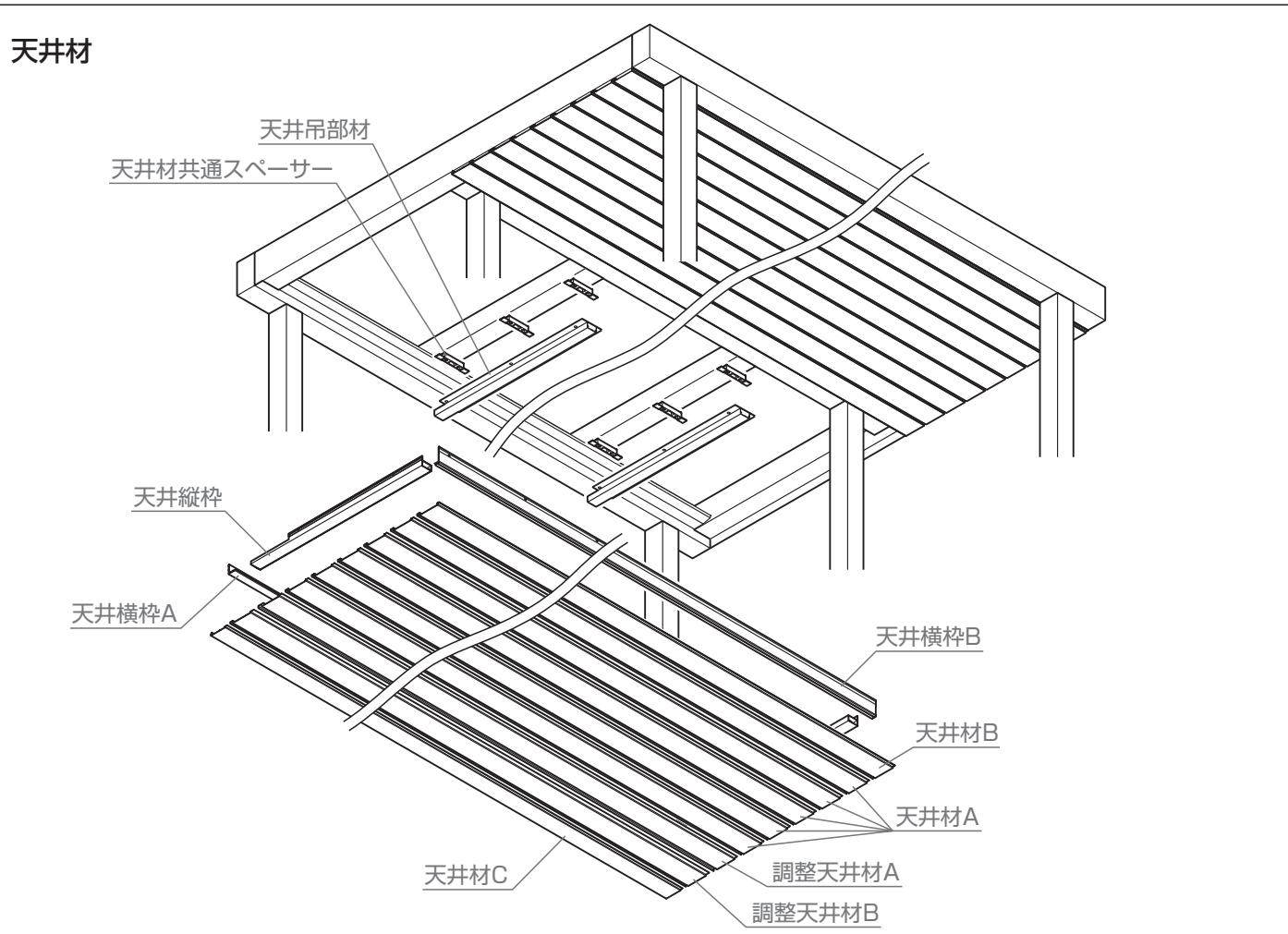
2-1 各部名称

エントランスルーフ



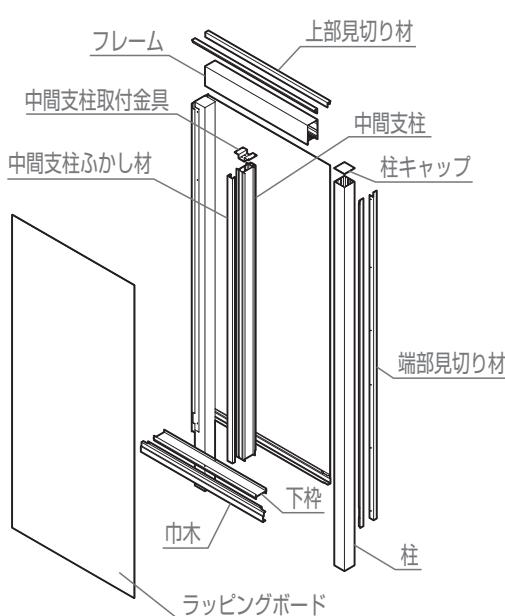
2 各部名称と基本寸法

2-1 各部名称（つづき）

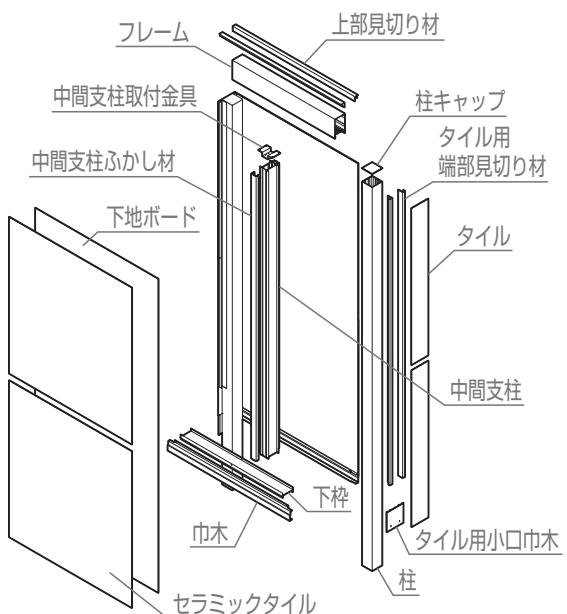


Gウォール

【ラッピングボード仕様】



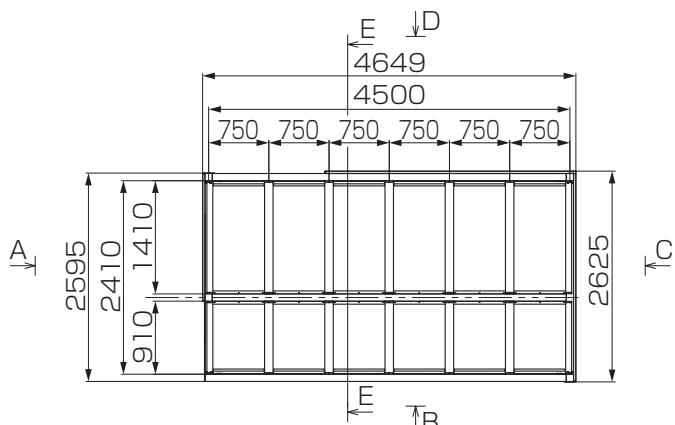
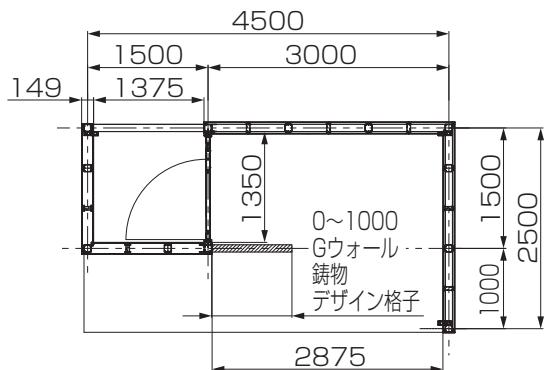
【セラミックタイル仕様】



2 各部名称と基本寸法

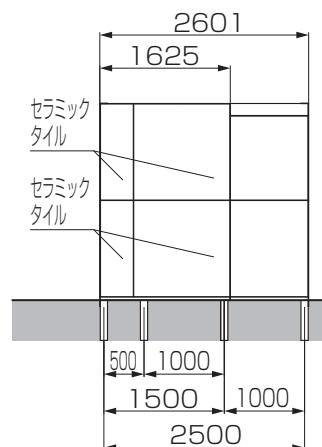
2-2 基本寸法

■平面図

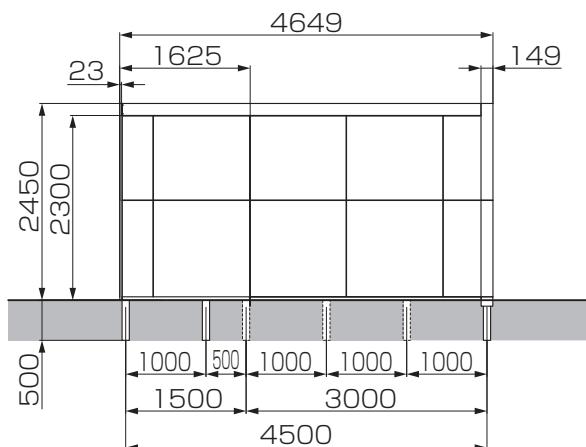


■立面図

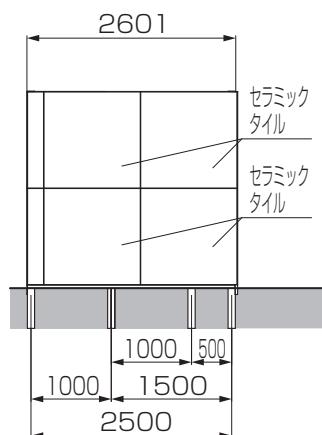
● セラミックタイル仕上げ



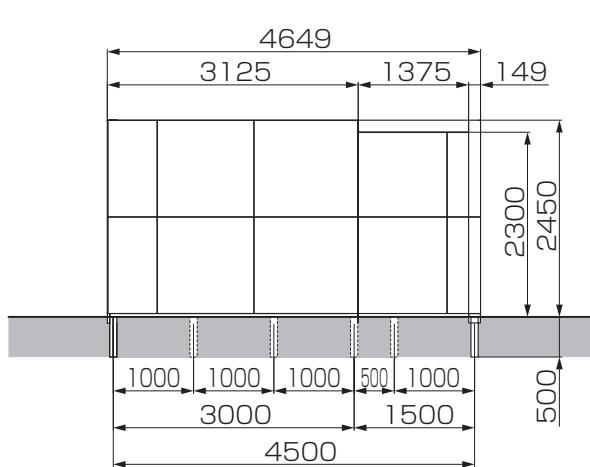
A側 矢視図



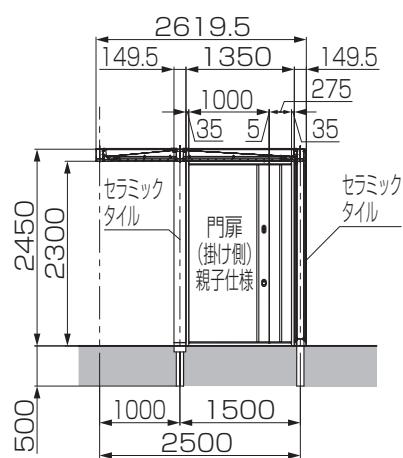
B側 矢視図



C側 矢視図



D側 矢視図

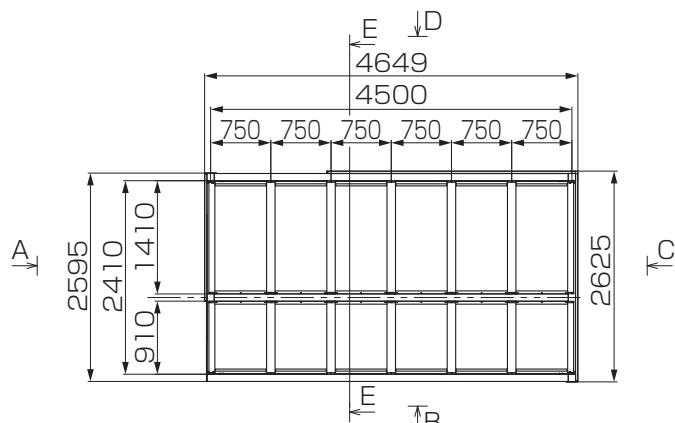
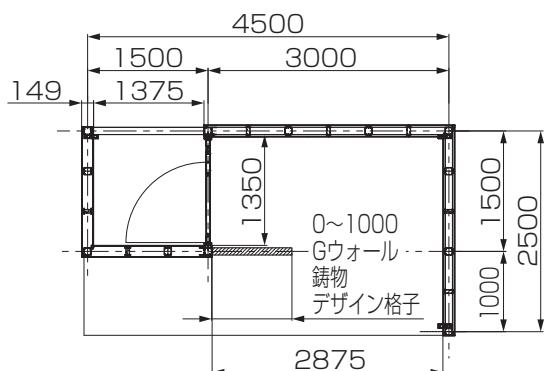


E側 断面図

2 各部名称と基本寸法

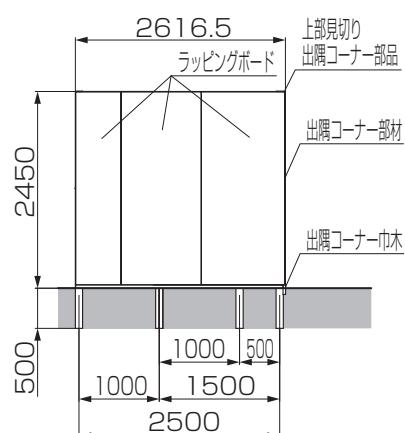
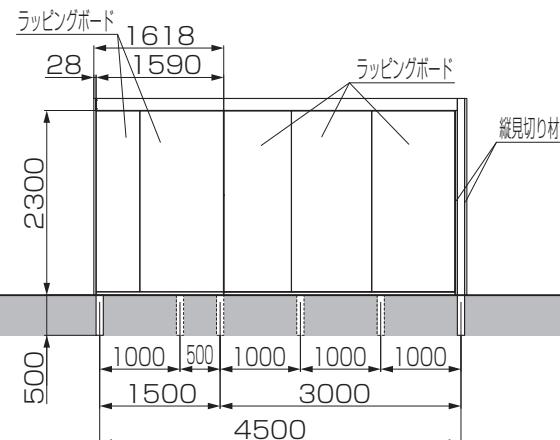
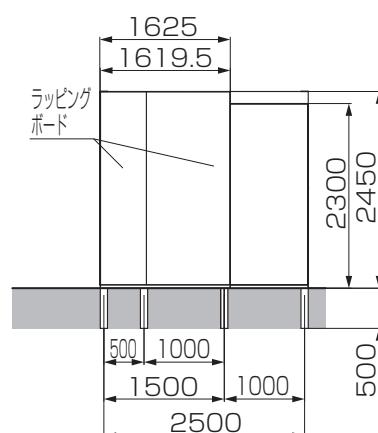
2-2 基本寸法

■平面図



■立面図

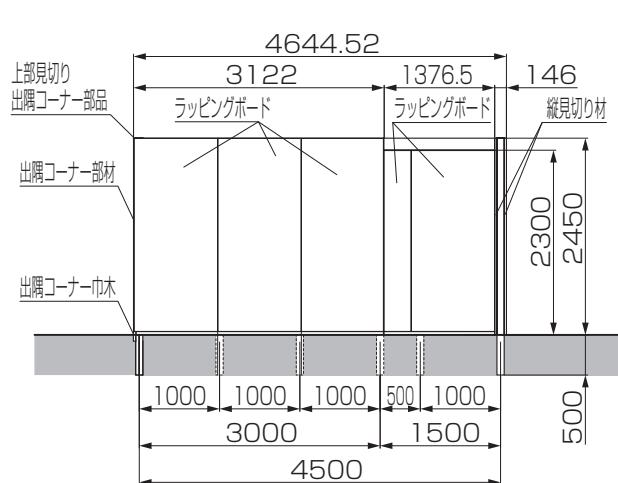
● ラッピングボード仕上げ



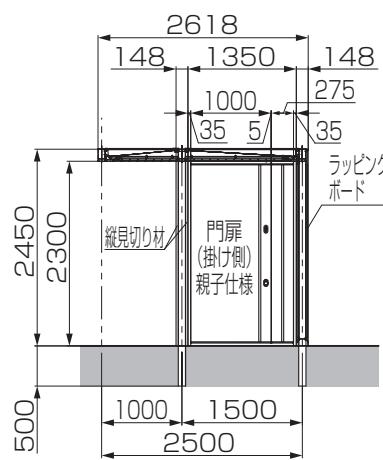
A側 矢視図

B側 矢視図

C側 矢視図



D側 矢視図



E側 断面図

EXM224_202504

3 基礎と配線工事

3-1 基礎工事

施工上のお願い

●図は、中央壁を「GウォールW10延長」、家側壁の一部を「デザイン格子または鋸物パネルに変更」した場合の基礎になります。上記以外の納まりの場合は、下記に従って基礎工事を行ってください。

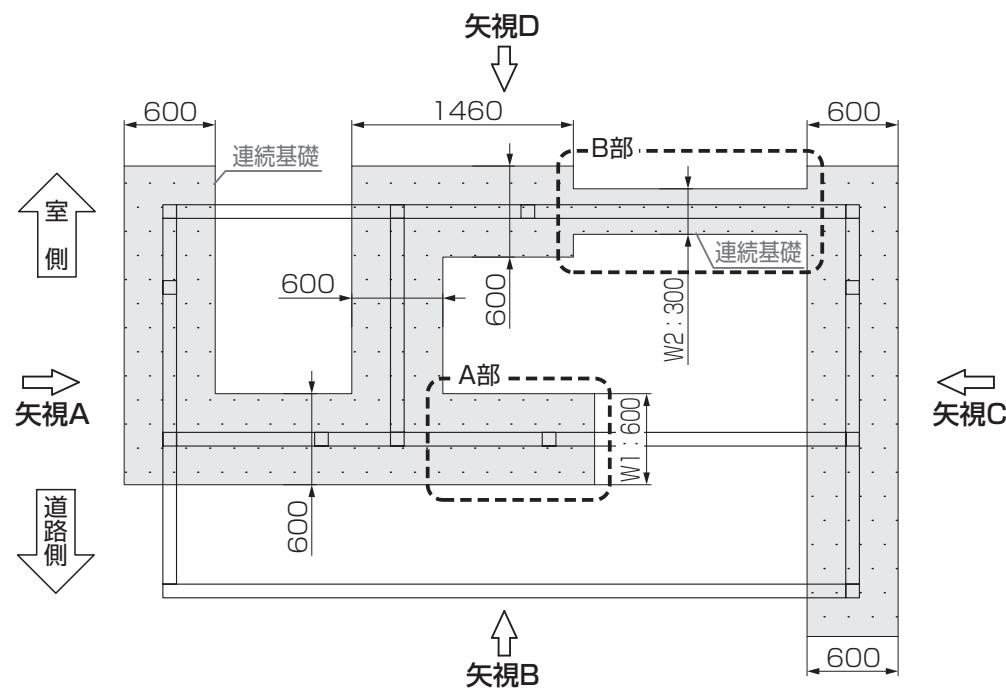
【中央壁の追加】

- ・追加なし … A部の基礎は不要
 - ・GウォールW05延長 … 側面図A部の基礎寸法をL1:500に変更(W1:600、深さ500のまま)
 - ・デザイン格子または、鋳物パネル … A部の基礎をW1:300、深さ300の連続基礎に変更

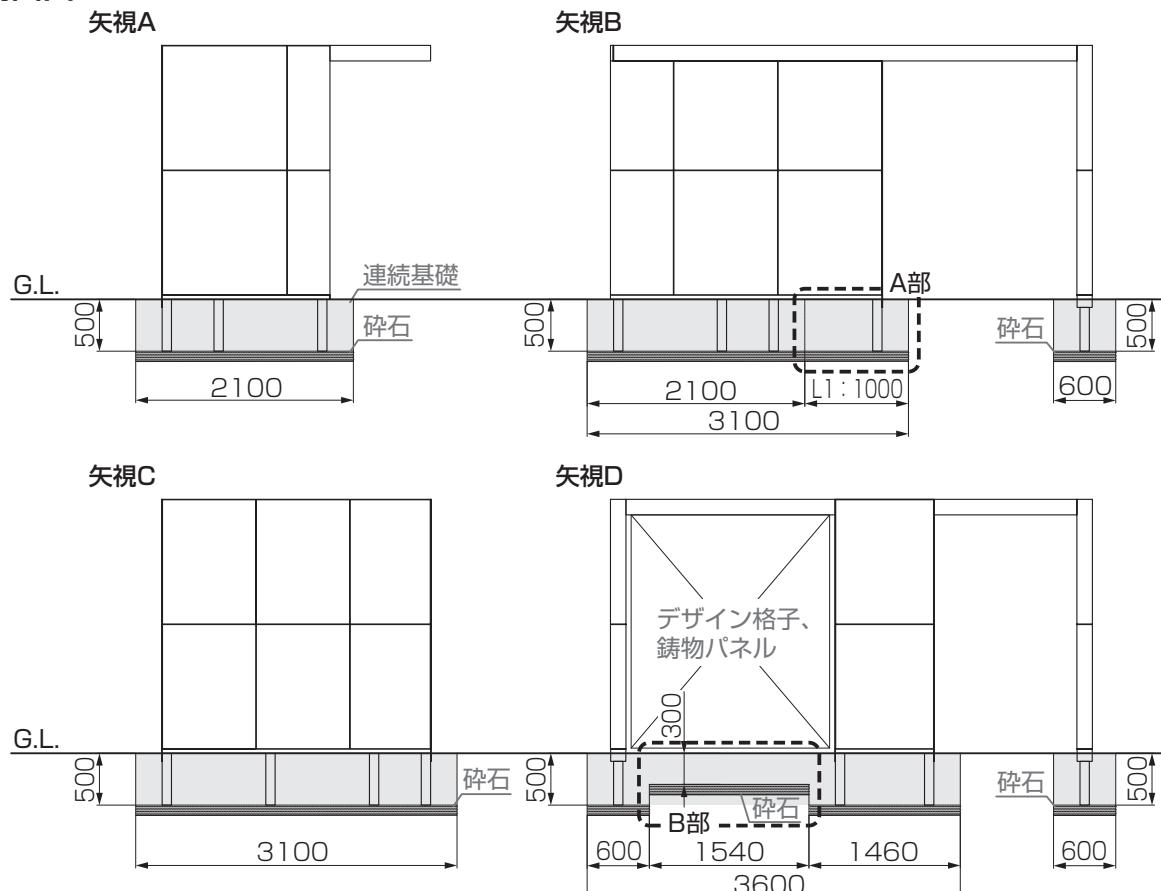
【家側壁の一部】

- Gウォール … B部の基礎をW2:600、深さ500の連続基礎に変更
 - 門扉枠(吊元隙間ふさぎ材)は下側100mmを埋め込んでください。

●基礎伏図



●基礎側面図

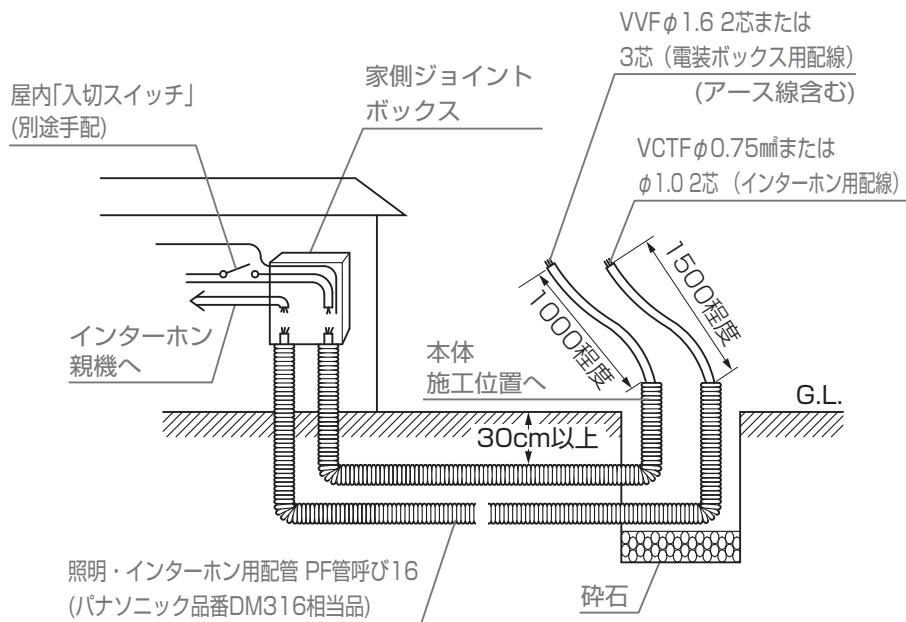


3 基礎と配線工事

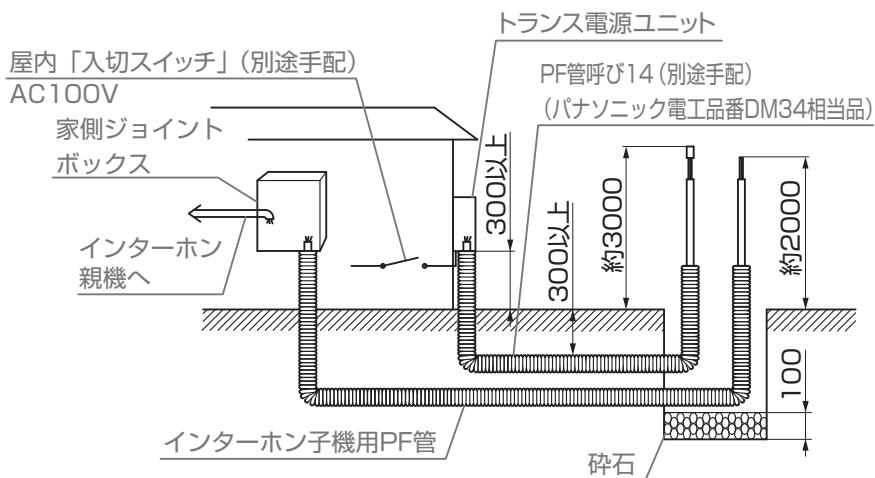
3-2 配線工事

※FamiLockの配線工事は「プラスG エントランス シンメトリーイタイプ 取付説明書(EXM-219)」の「15-14 システムイメージ」(P.88)を参照してください

▼ AC100V配線 (AC100V照明) ▼



▼ DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合) ▼



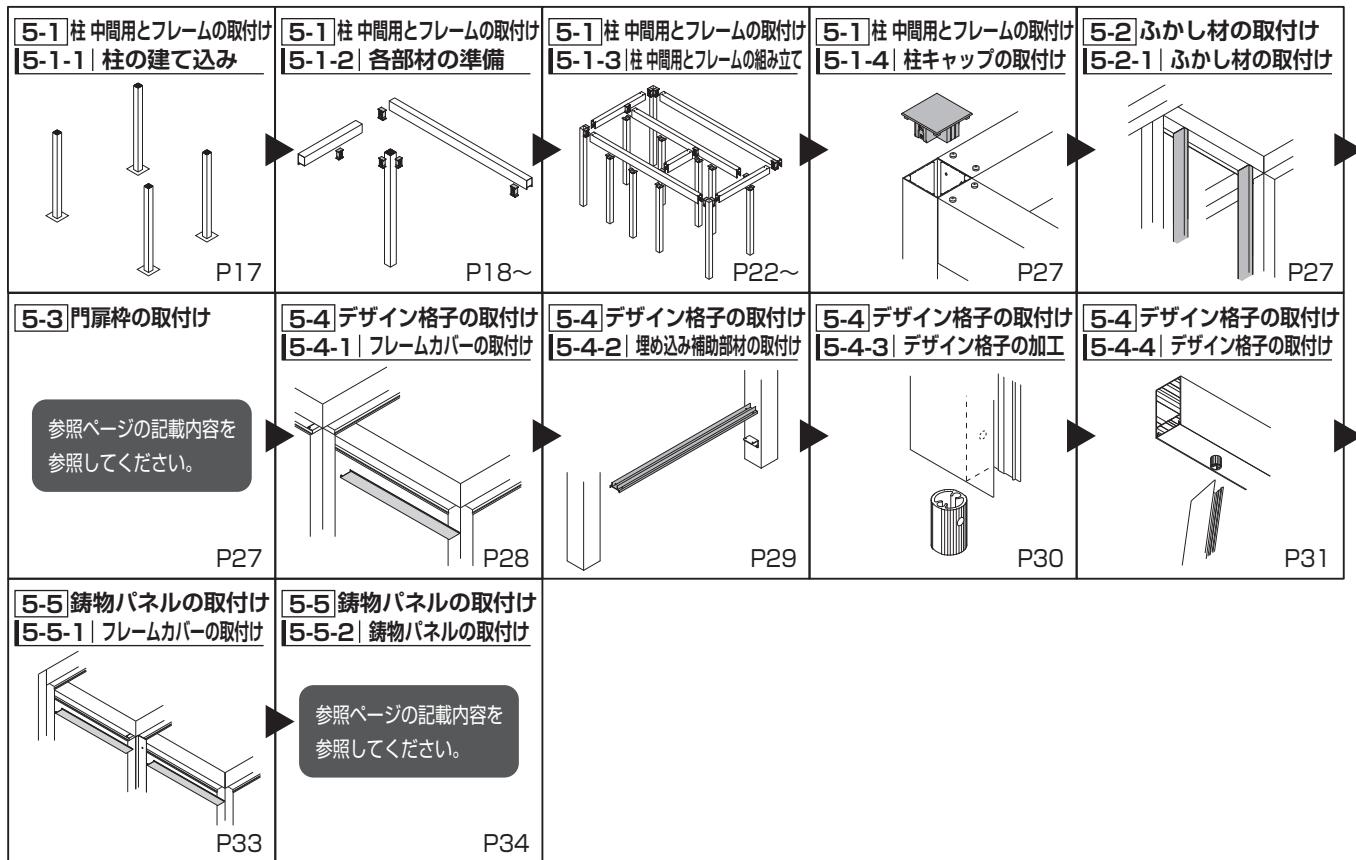
お願い

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用配線は柱の上端から引出します。また、インターホン子機用配線は柱側面から引出します。取付方法を確認し、作業内容に合わせた配線長さを考慮してください。

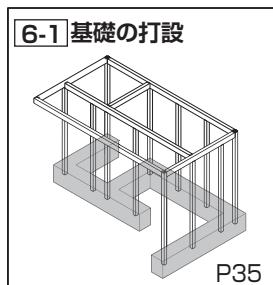
4 施工の流れ

※本ページでは、施工の基本的な手順を示しています。
作業を始める前に、必ず該当ページの内容を十分にご確認ください。

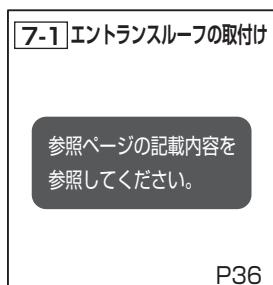
5 柱、フレームの取付けと基礎工事 P.17~



6 基礎の打設 P.35

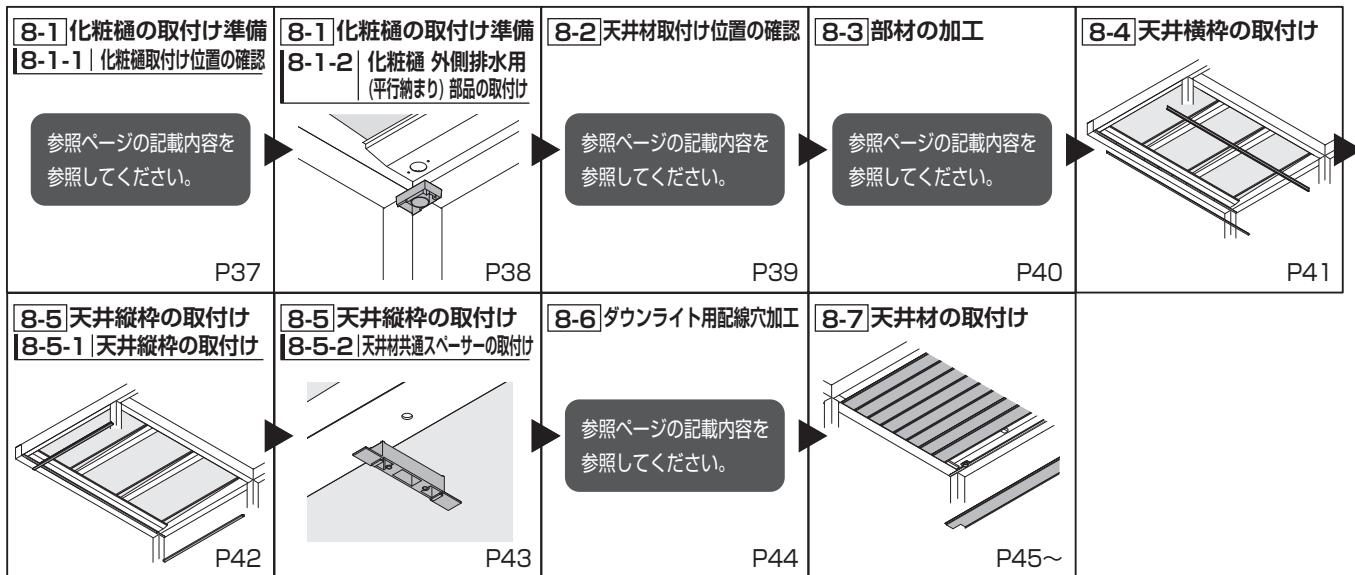


7 エントランスルーフの取付け P.36

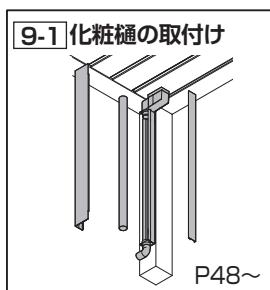


4 施工の流れ

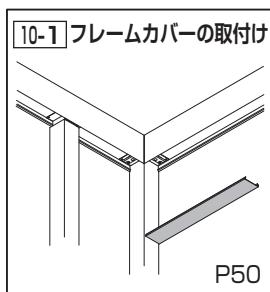
8 天井材の取付け P.37~



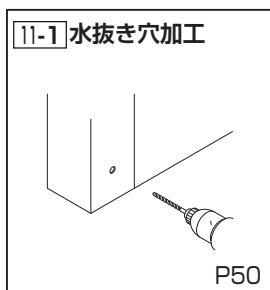
9 化粧樋の取付け P.48~



10 フレームカバーの取付け P.50

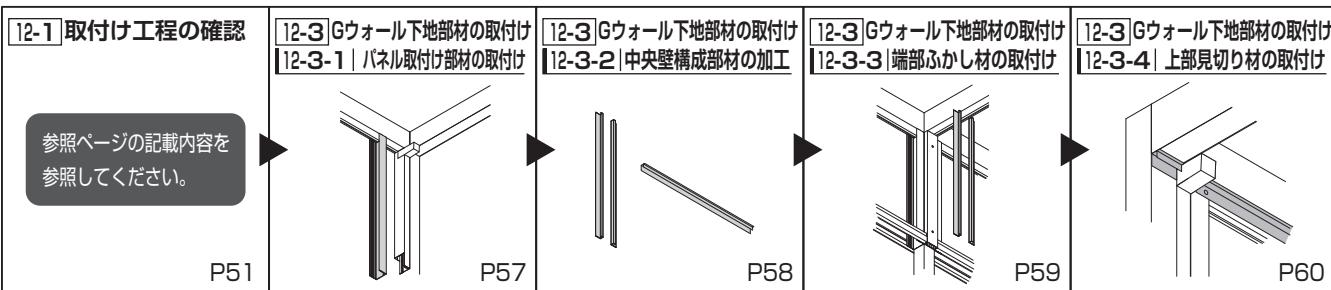


11 水抜き穴加工 P.50

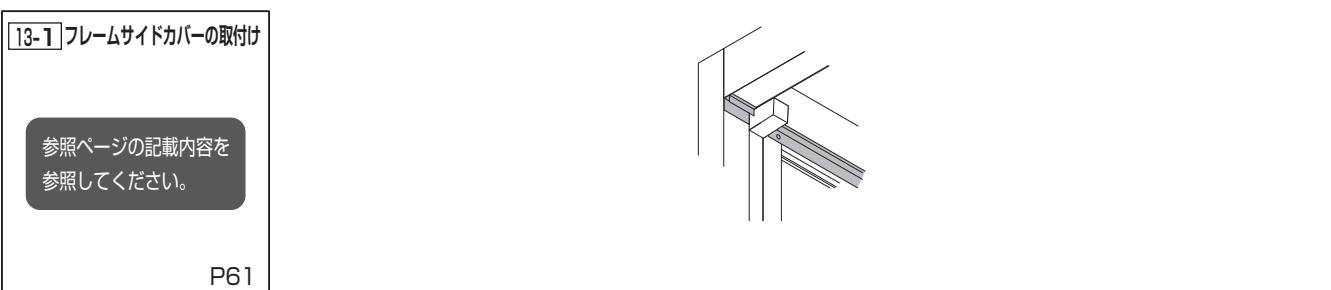


4 施工の流れ

12 Gウォールの取付け P.51～



13 フレームサイドカバーの取付け P.61



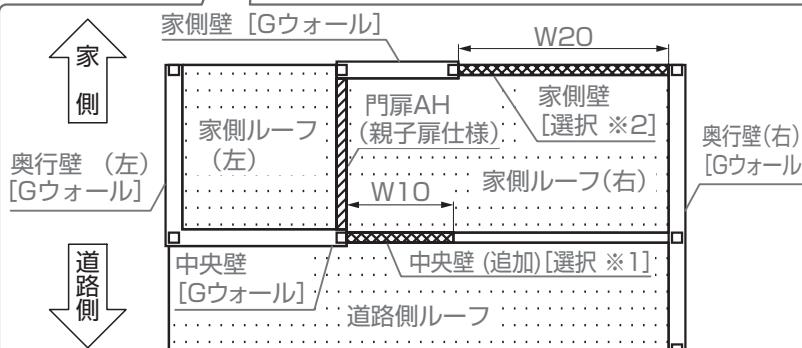
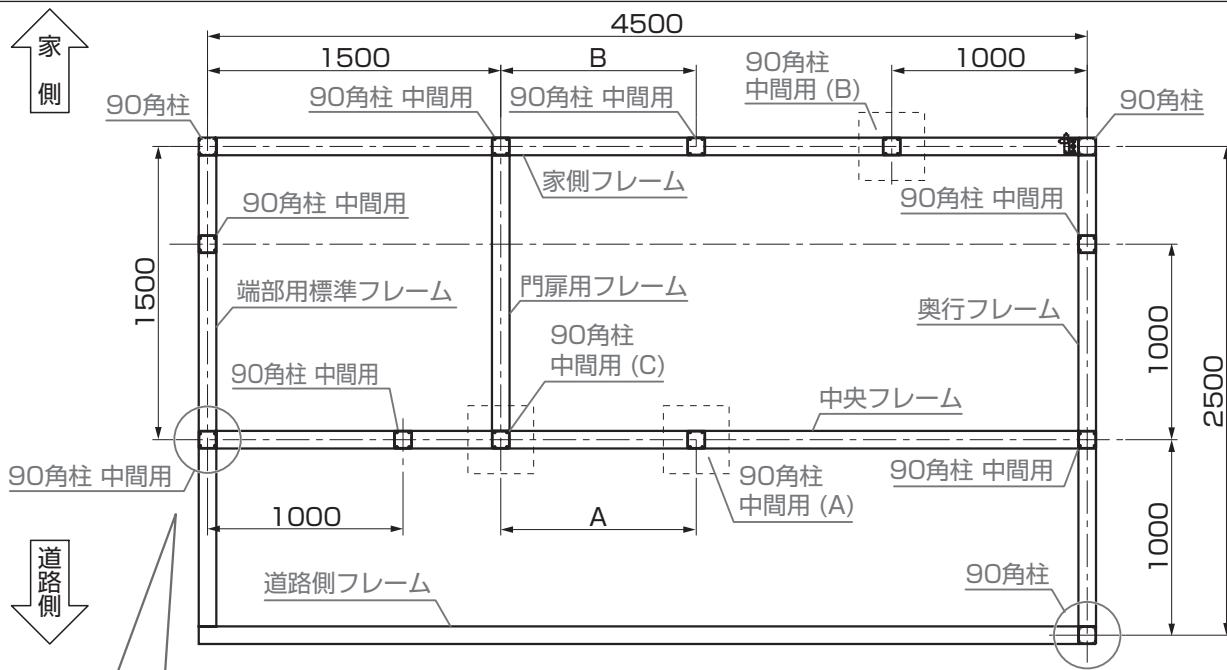
14 門扉の取付け P.61～



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け

5-1-1 柱の建て込み



●クランクインタイプの構成

※1 中央壁の該当部分の追加は、下記の①～⑥から選択

- ①追加なし ②GウォールW10延長
- ③GウォールW05延長+鑄物パネル(1枚)
- ④デザイン格子(9本) ⑤鑄物パネル(1枚)
- ⑥鑄物パネル(2枚)

※2 家側壁の該当部分の納まりは下記の⑦～⑨から選択

- ⑦Gウォール ⑧デザイン格子(18本)
- ⑨鑄物パネル(5枚)

施工上のお願い

- 事前に「●クランクインタイプの構成」を参照し、納まりを確認してください。
- 上図は外観左側に屋根持出し、右側に入口の納まりを示します。現場の納まりに合わせて左右を反転させて施工を行ってください。
- 中央壁追加の納まりによって90角柱中間用(A)の有無や寸法Aがことなります。下表を参照し決定してください。

中央壁 追加部分の納まり	90角柱 中間用(A) の有無	寸法A (柱芯々)
追加なし	なし	—
GウォールW10延長	あり	1000
GウォールW05延長+鑄物パネル(1枚)	あり	500
デザイン格子(9本)	なし	—
鑄物パネル(1枚)または(2枚)	なし	—

- 上家側壁の納まりによって90角柱中間用(B)の有無や寸法Bがことなります。下表を参照し決定してください。

家側壁の納まり	90角柱 中間用(B) の有無	寸法B (柱芯々)
Gウォール	あり	1000
デザイン格子(18本)	なし	860
鑄物パネル(5枚)	なし	860

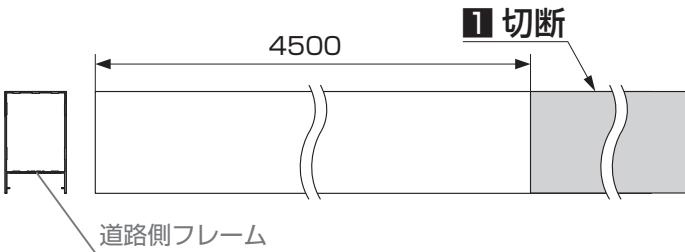
- 90角柱中間用(C)には、柱に同梱の中間柱取付金具は使用せず、専用接合金具を使用してください。
- 柱 中間用の向きに注意して建て込みを行ってください。
- 上図の丸で囲ってある90角柱には柱補強裏板を、90角柱 中間用には柱補強金具を取付けてください。
- Gウォール内の中央に配置し外部から見えなくなる柱にはシャイニングレー色の柱を使用してください。また、Gウォール内の端部に配置する柱でもGウォールの小口をタイル納まりにする場合は、シャイニングレー色の柱を使用してください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備

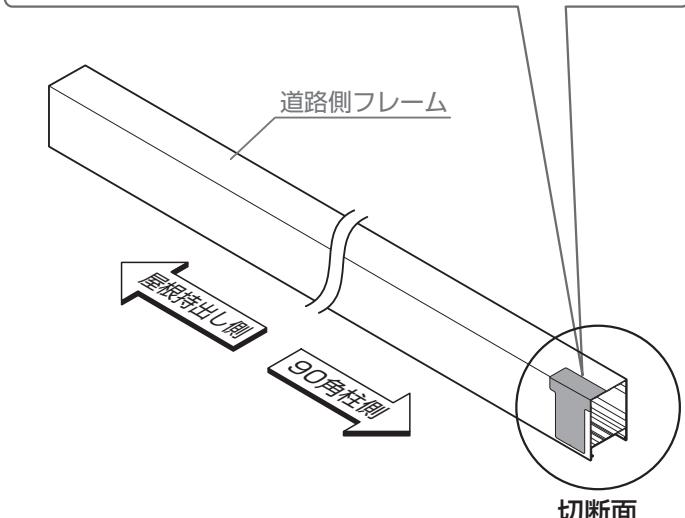
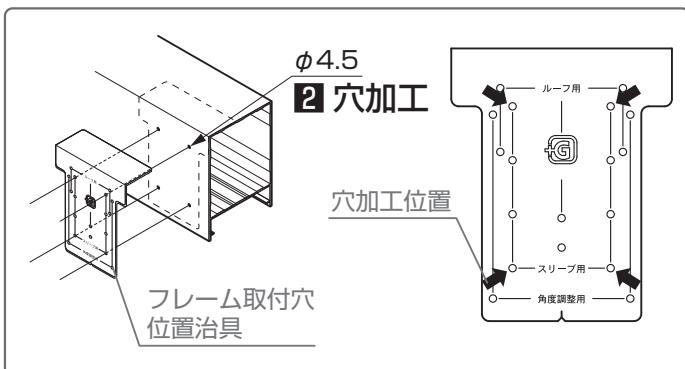
①:フレームを4500mmで切断(道路側フレーム用)



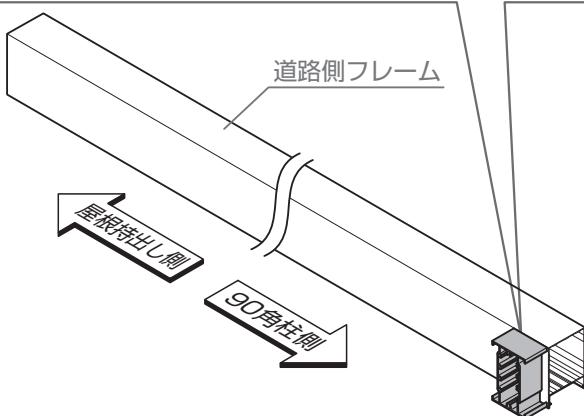
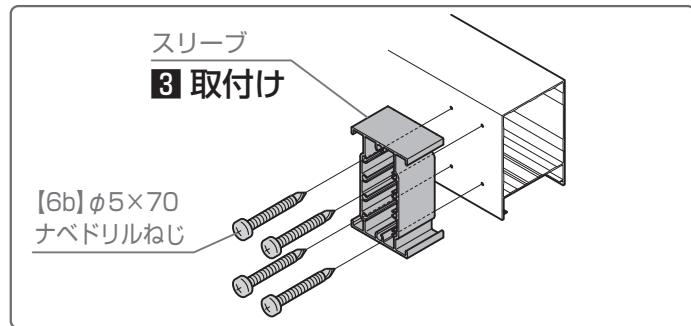
②: フレーム取付穴位置治具を道路側フレームの端部にあて、 ϕ 4.5の下穴加工

施工上のお願い

- ①の切断面側に下穴加工を行ってください。



③:スリーブを道路側フレームに【6b】で取付け



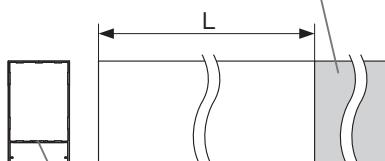
④: フレームを上で切断

(家側フレーム)、(中央フレーム)、(奥行フレーム)

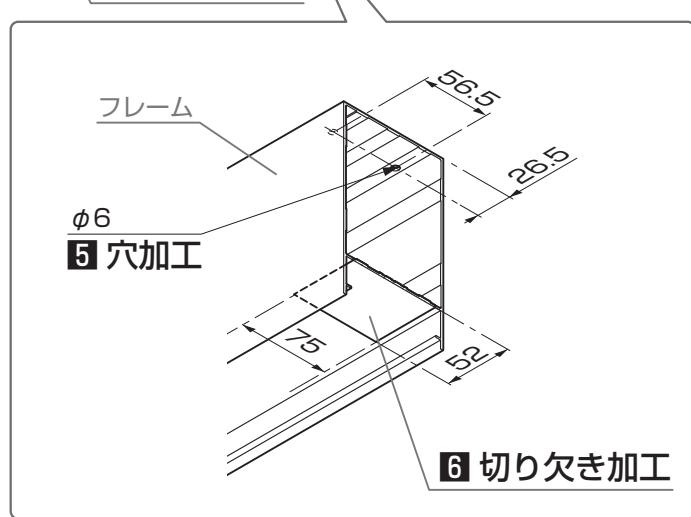
5:フレームを切断した側に、 $\phi 6$ の穴加工

⑥:フレームを切断した側に、切欠き加工

4 切断



フレーム呼称	L
家側フレーム	4410
中央フレーム	4410
奥行フレーム	2410



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

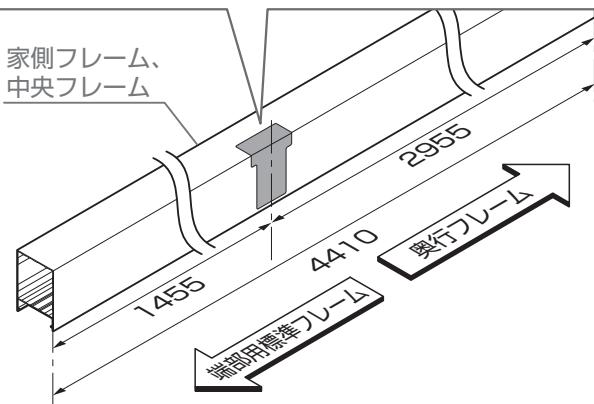
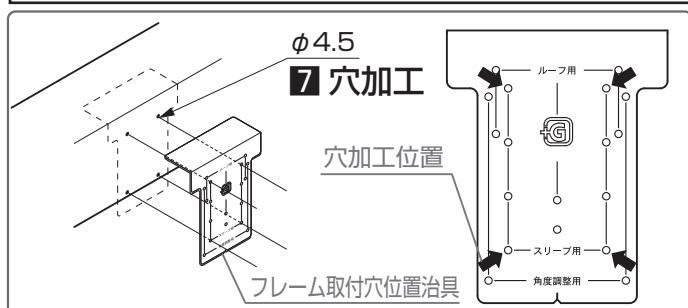
5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備（つづき）

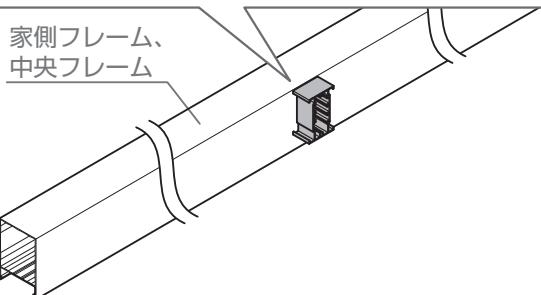
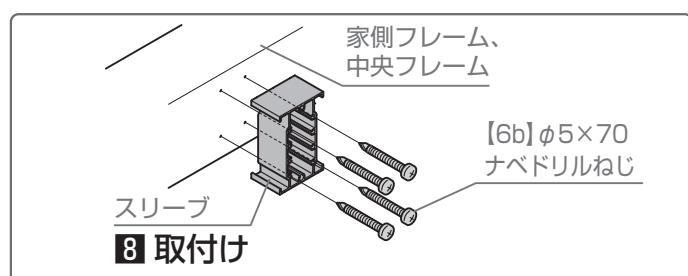
7: フレーム取付穴位置治具を家側フレームと中央フレームの側面にあて、 $\phi 4.5$ の穴加工

施工上のお願い

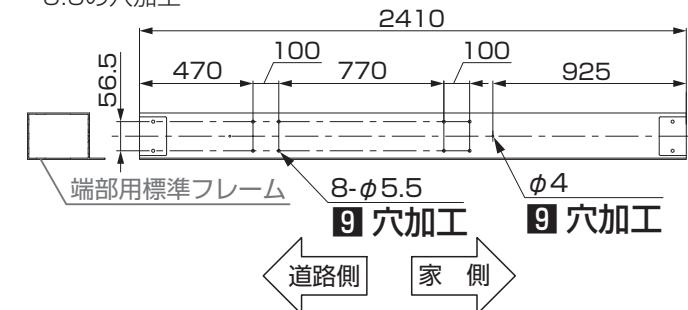
- フレームの加工する面に注意してください。



8: スリーブを家側フレームと中央フレームに【6b】で取付け



9: 端部用標準フレームの下側に $\phi 4$ のストッパー用下穴と、 $\phi 5.5$ の穴加工



10: 端部用標準フレームをストッパー用ネジ【8a】で取付け

11: 端部用標準フレームにフレーム補強材を差込み

12: 端部用標準フレームにフレーム補強材を【8a】で取付け

施工上のお願い

- フレーム補強材は端部用標準フレームの道路側から差込んで取付けてください。

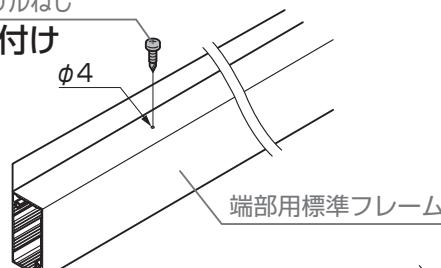
補強材ストッパー用

【8a】 $\phi 5 \times 16$

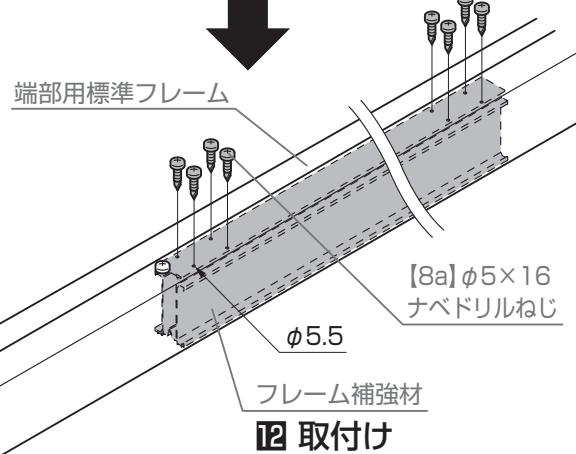
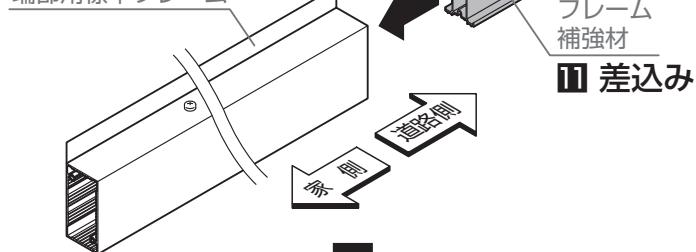
ナベドリルねじ

10 取付け

$\phi 4$



端部用標準フレーム

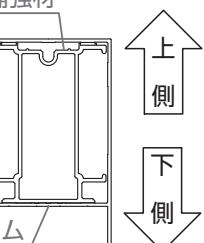


施工上のお願い

●フレーム補強材の上下に注意してフレームに取付けてください。

フレーム補強材

端部用標準フレーム



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

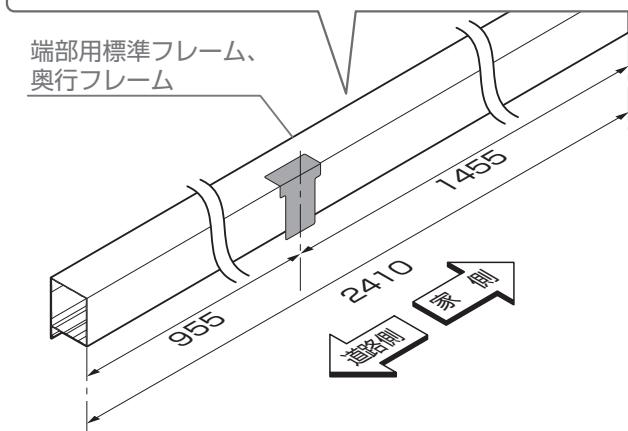
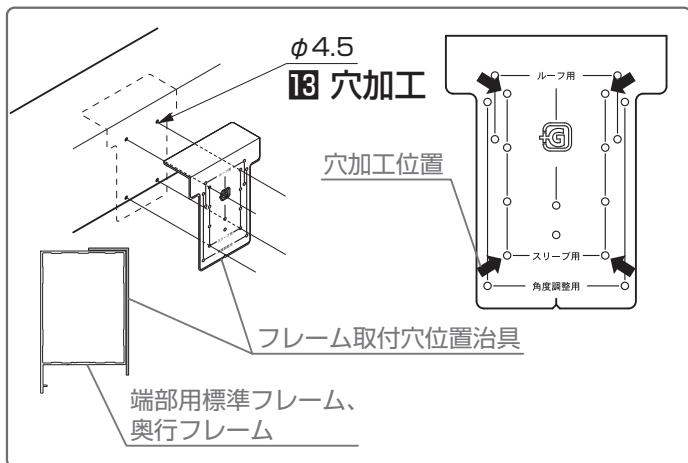
5-1-2 各部材の準備（つづき）

13: フレーム取付穴位置治具を端部用標準フレームと奥行フレームの側面にあて、 $\phi 4.5$ の穴加工

施工上のお願い

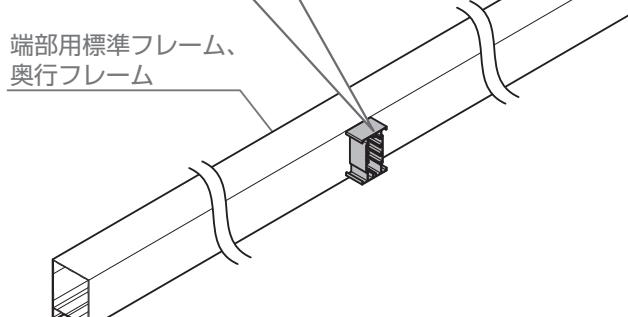
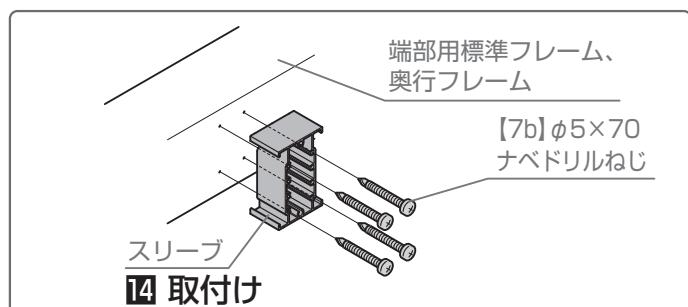
- 端部用標準フレームと奥行フレームの穴加工する面に注意してください。

※図は端部用標準フレームを示します。

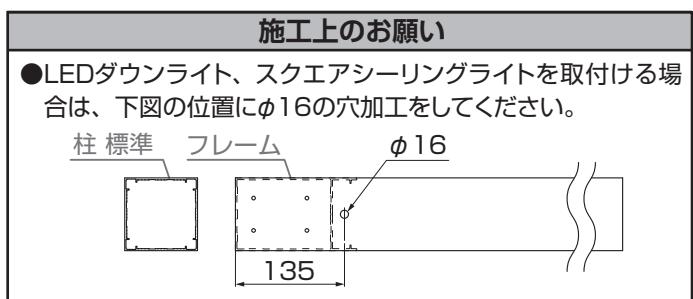
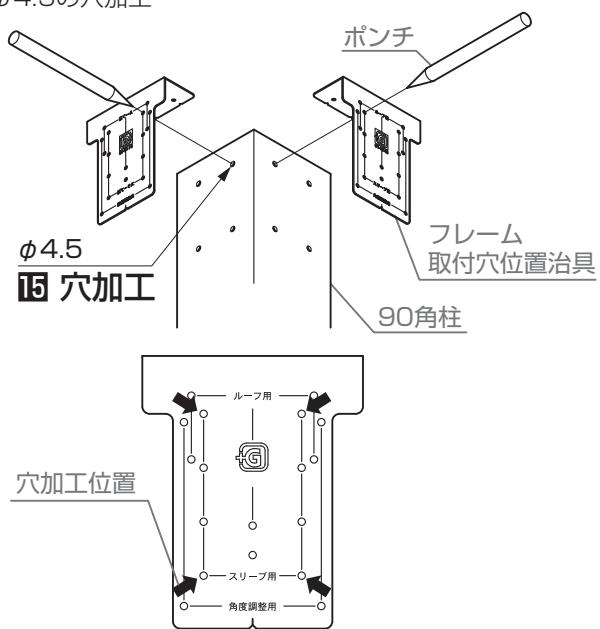


14: スリーブを端部用標準フレームと奥行フレームの中央に【7b】で取付け

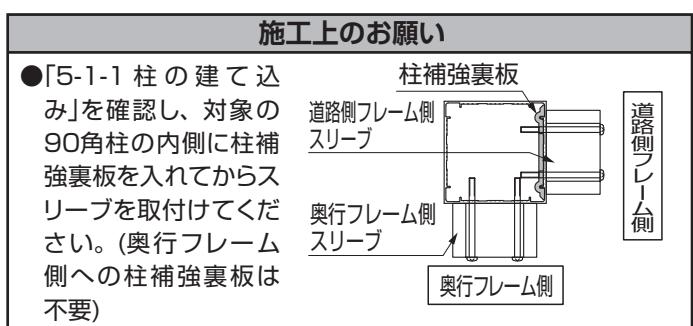
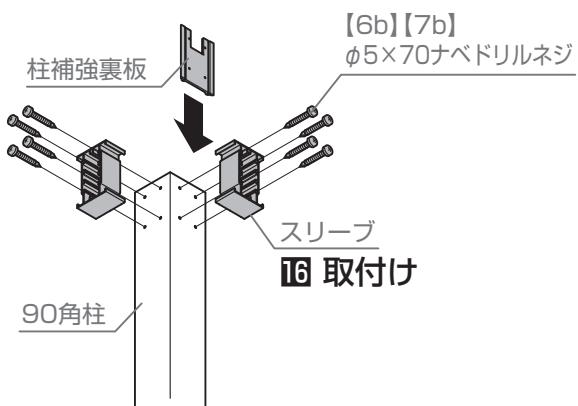
※図は端部用標準フレームを示します。



15: フレーム取付穴位置治具を90角柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴加工



16: 90角柱にスリーブと柱補強裏板を【6b】【7b】で取付けてください

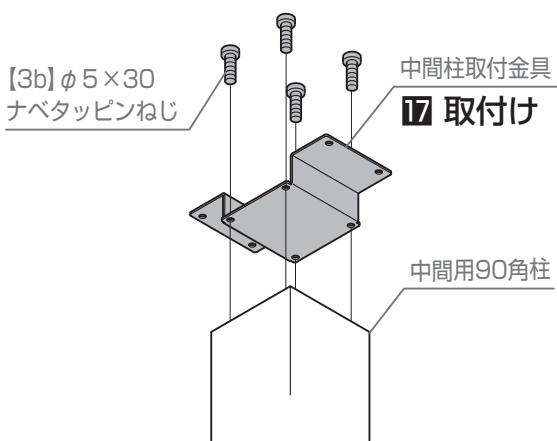


5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備（つづき）

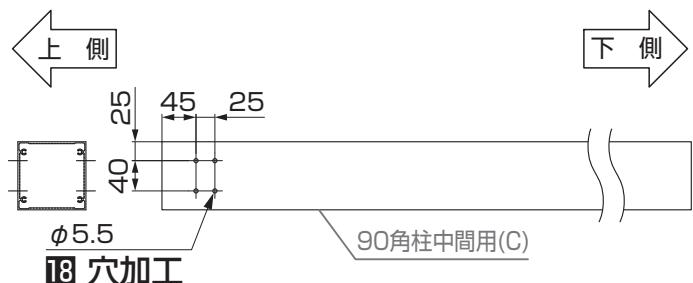
17: 中間柱取付金具を90角中間柱の上端に【3b】で取付け



施工上のお願い

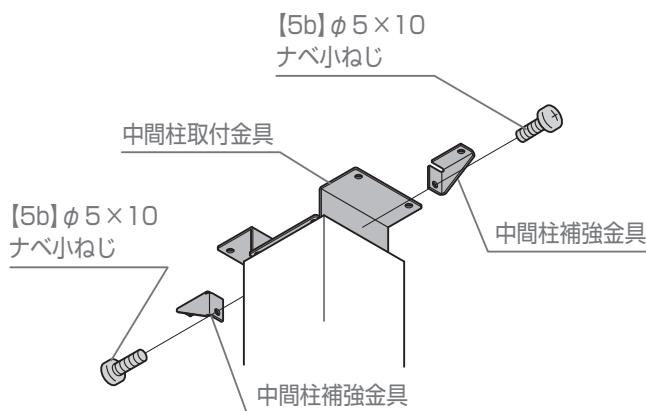
- 「5-1-1 柱の建て込み」を確認して、90角柱中間用(C)に専用接合金具を取り付けてください。
- 90角柱中間用の穴加工の面に注意してください。
- 接合金具スペーサーと専用接合金具の加工穴が合うように組付けてください。

18: 90角柱中間用(C)の上側に $\phi 5.5$ の穴加工



施工上のお願い

- 「5-1-1 柱の建て込み」の図中の丸で囲ってある中間用90角柱には、中間柱補強金具を【5b】で取付けてください。

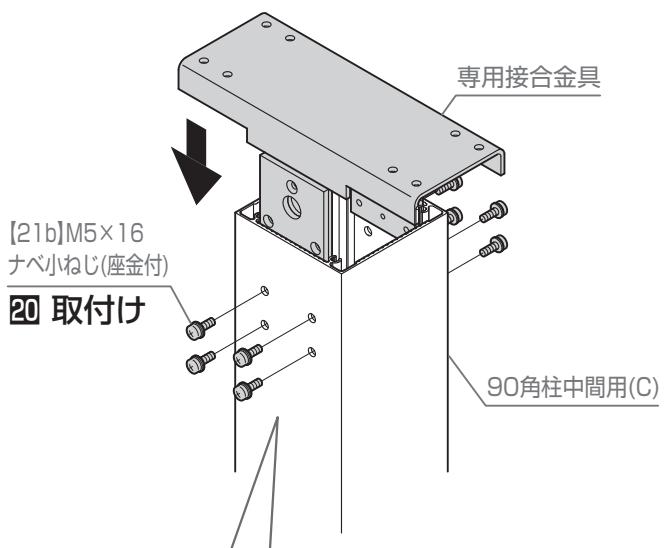


- 中央壁または家側壁に鋳物パネルを取付ける場合は、中間柱取付金具に加工が必要になります。「5-5-2 鋳物パネルの取付け」を参照し、金具に加工を行ってから柱に取付けてください。

- 中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合は、「5-4-2 埋め込み施工補助部材の取付け」を確認し、柱の建て込みの前に取付金具を取付けてください。

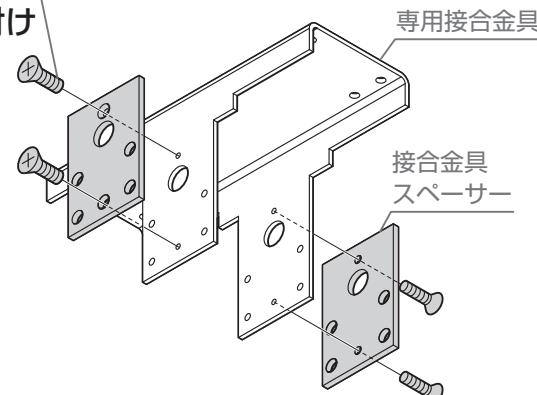
19: 接合金具スペーサーを専用接合金具に【21a】で取付け

20: 専用接合金具を90角柱中間用(C)の上側に【21b】で取付け



【21a】M4×10 サラ小ねじ

19 取付け

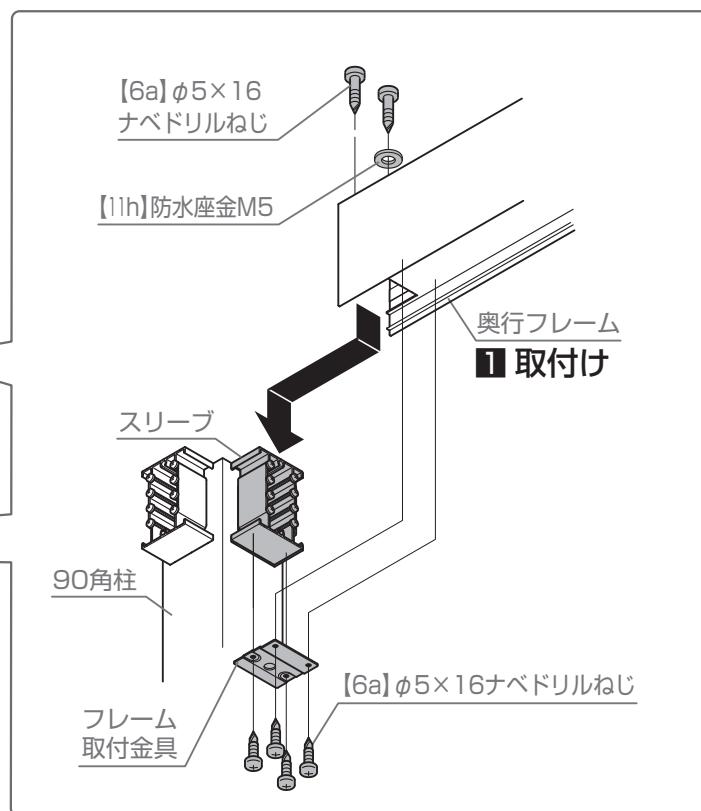
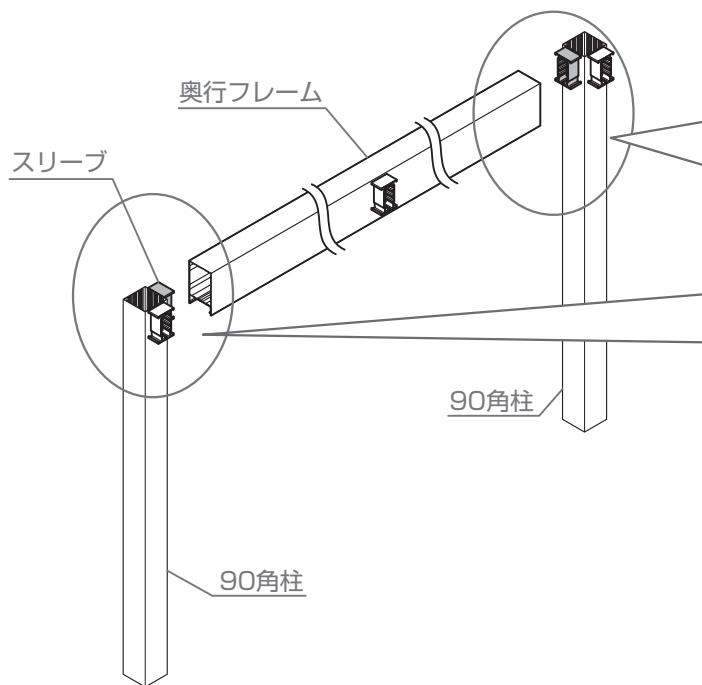
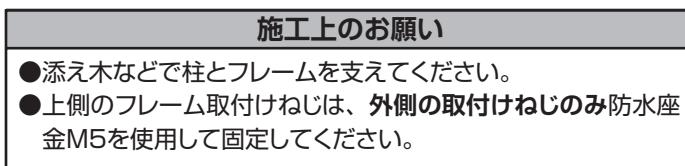


5 柱、フレームの取付けと基礎工事

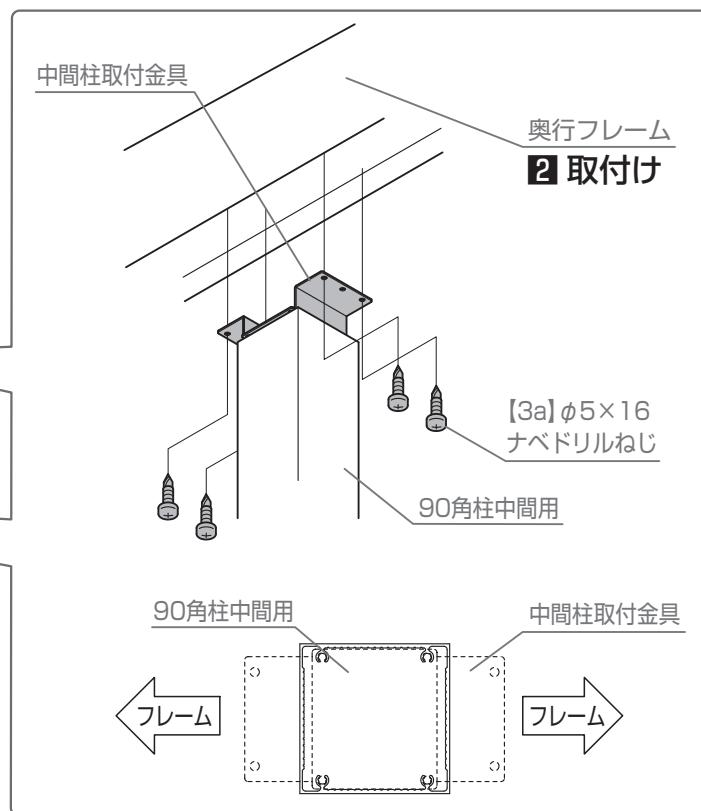
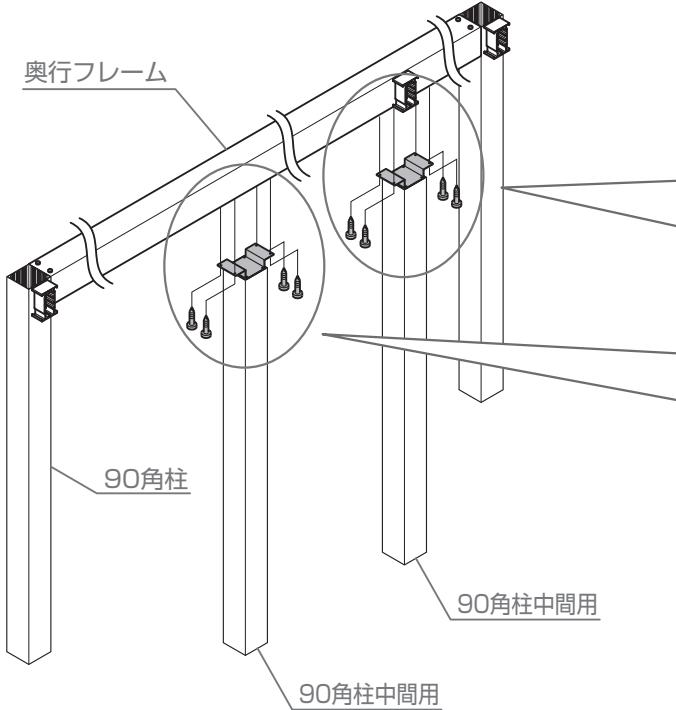
5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て

1: 奥行フレームを90角柱に【6a】で取付け



2: 奥行フレームを90角柱中間用に【3a】で取付け



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

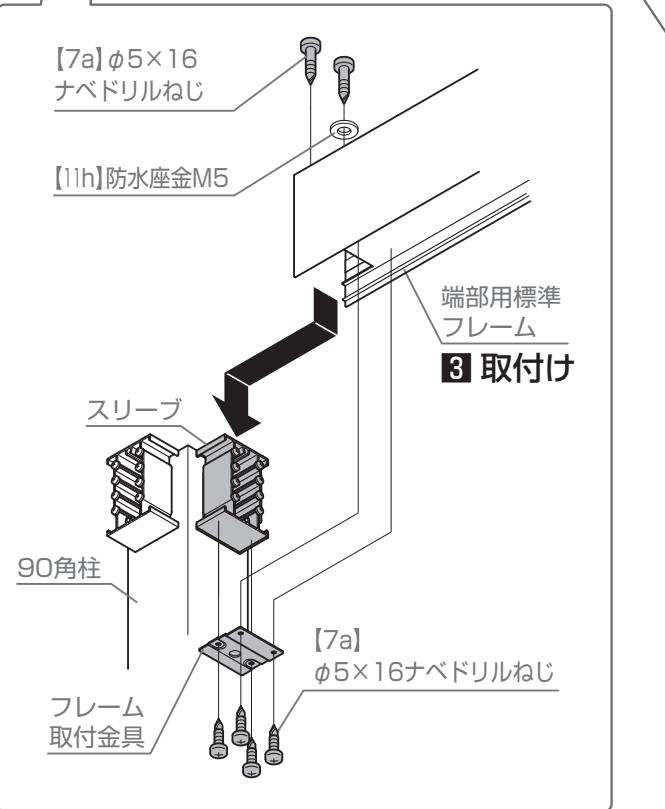
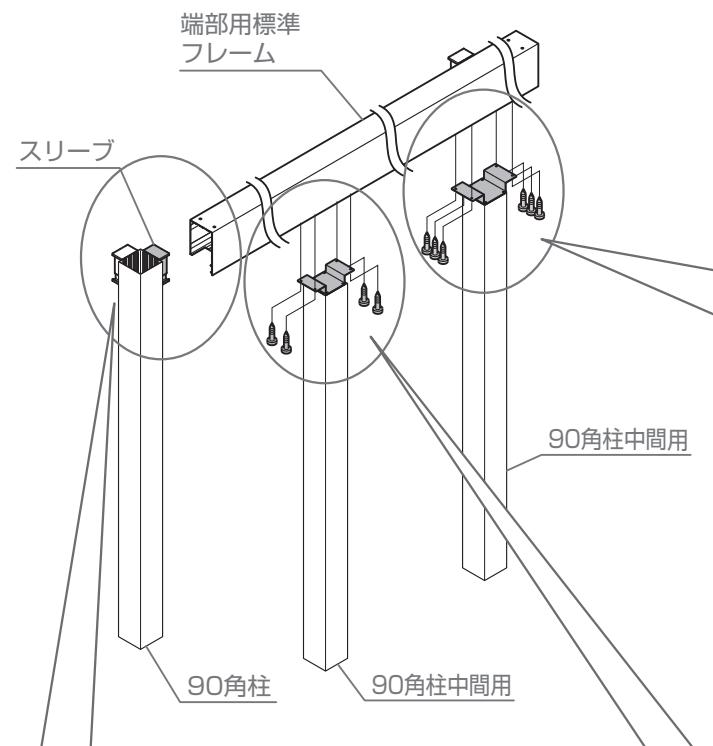
5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て（つづき）

3: 端部用標準フレームを90角柱に【7a】で取付け

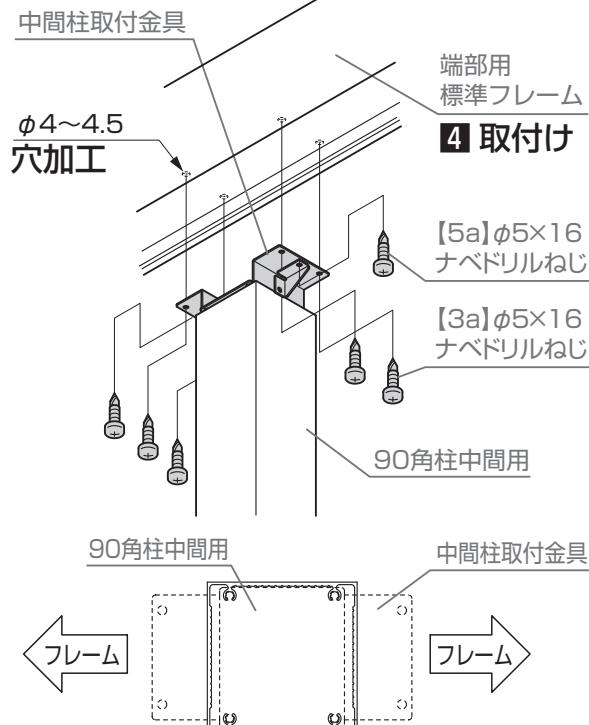
施工上のお願い

- 上側のフレーム取付けねじは、**外側の取付けねじのみ**防水座金M5を使用して固定してください。
- 端部用標準フレームに90角柱中間用を取付ける際は、端部用標準フレームとフレーム補強材に $\phi 4 \sim 4.5$ の下穴をあけてから取付けを行ってください。

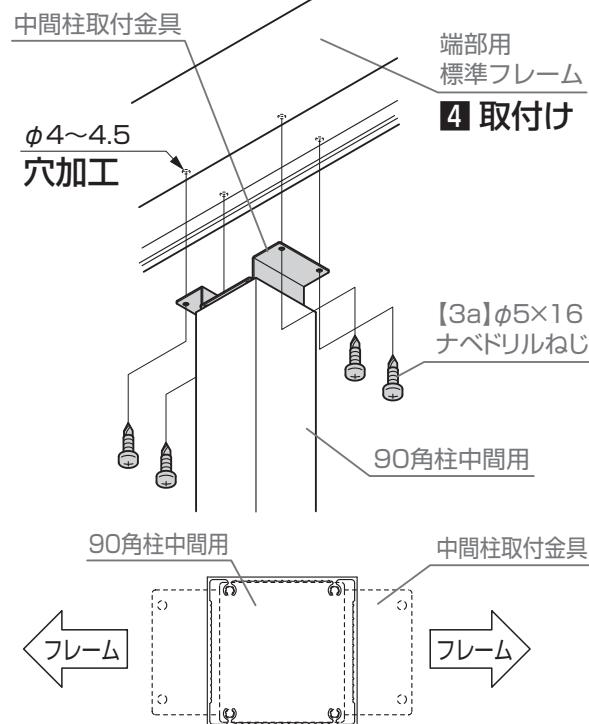
4: 端部用標準フレームを90角柱中間用に【3a】または【5a】で取付け



【屋根持出し側】



【90角柱側】



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

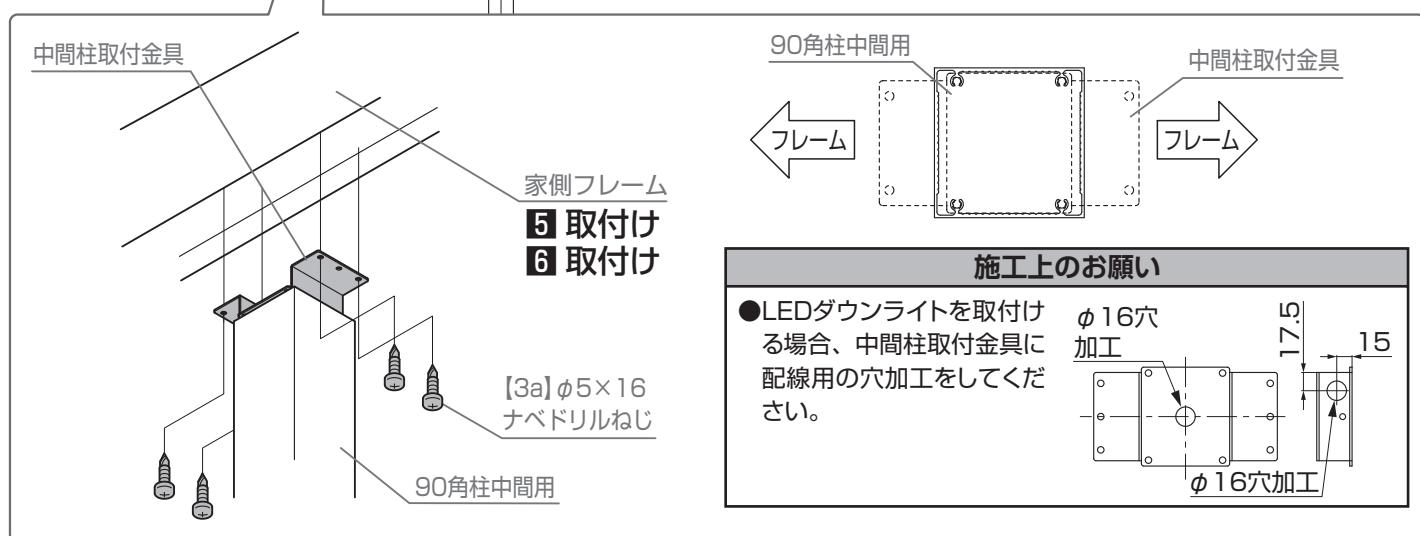
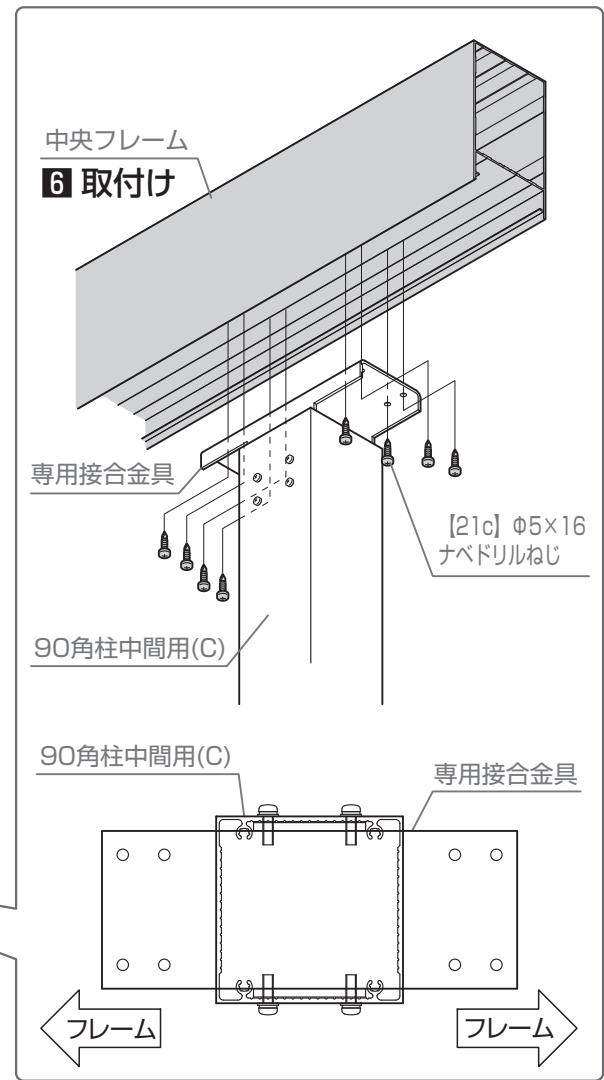
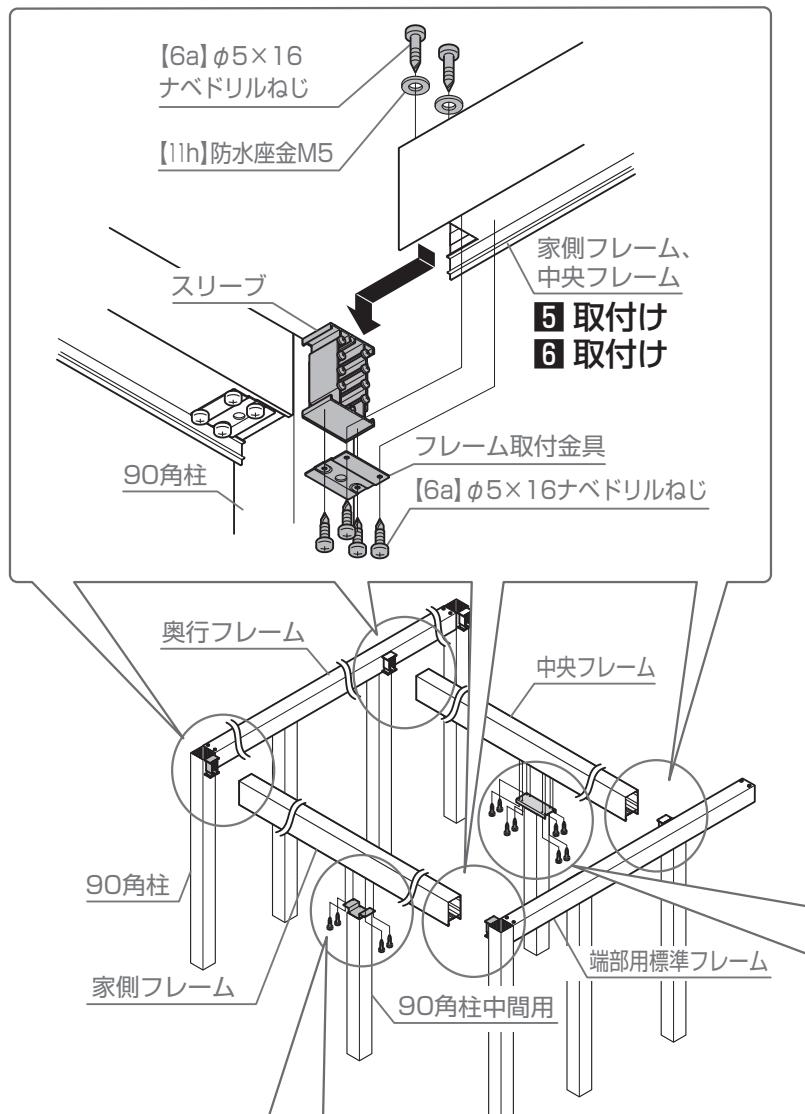
5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て（つづき）

5:家側フレームを90角柱に【6a】で取付け、90角柱中間用に【3a】で取付け

6:中央フレームを端部用標準フレームと奥行フレームに【6a】で取付け、90角柱中間用(C)に【21c】で取付け

施工上のお願い

- 上側のフレーム取付けねじは、防水座金M5を使用して固定してください。
- 中央壁または家側壁に鋳物パネルを取付ける場合は、中間柱取付金具と専用接合金具、フレーム取付金具に加工が必要になります。「5-5-2 鋳物パネルの取付け」を参照し、金具に加工を行ってから柱に取付けてください。



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

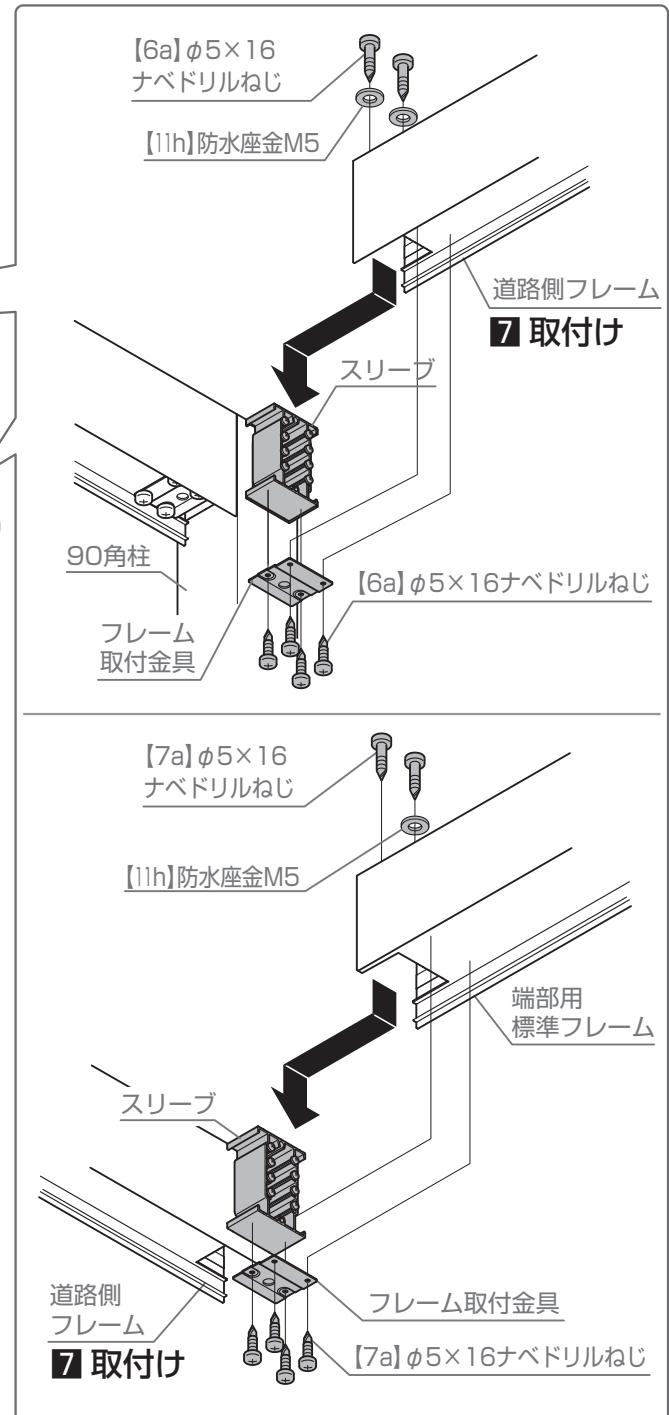
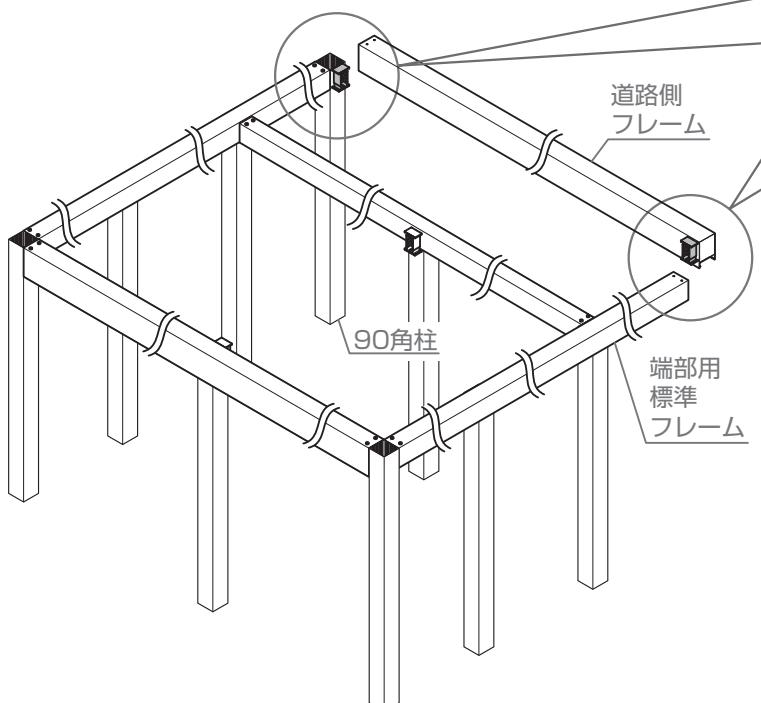
5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て（つづき）

7:道路側フレームを90角柱と端部用標準フレームに【6a】または【7a】で取付け

施工上のお願い

- 90角柱側の上側のフレーム取付けねじは、防水座金M5を使用して固定してください。
- 端部用標準フレーム側の上側のフレーム取付けねじは、外側の取付けねじのみ防水座金M5を使用して固定してください。



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け（つづき）

5-1-3 柱 中間用とフレームの組み立て（つづき）

8:門扉用フレーム上側を家側フレームに【6a】で、中央フレームに $\phi 5 \times 16$ サラドリルネジで取付け

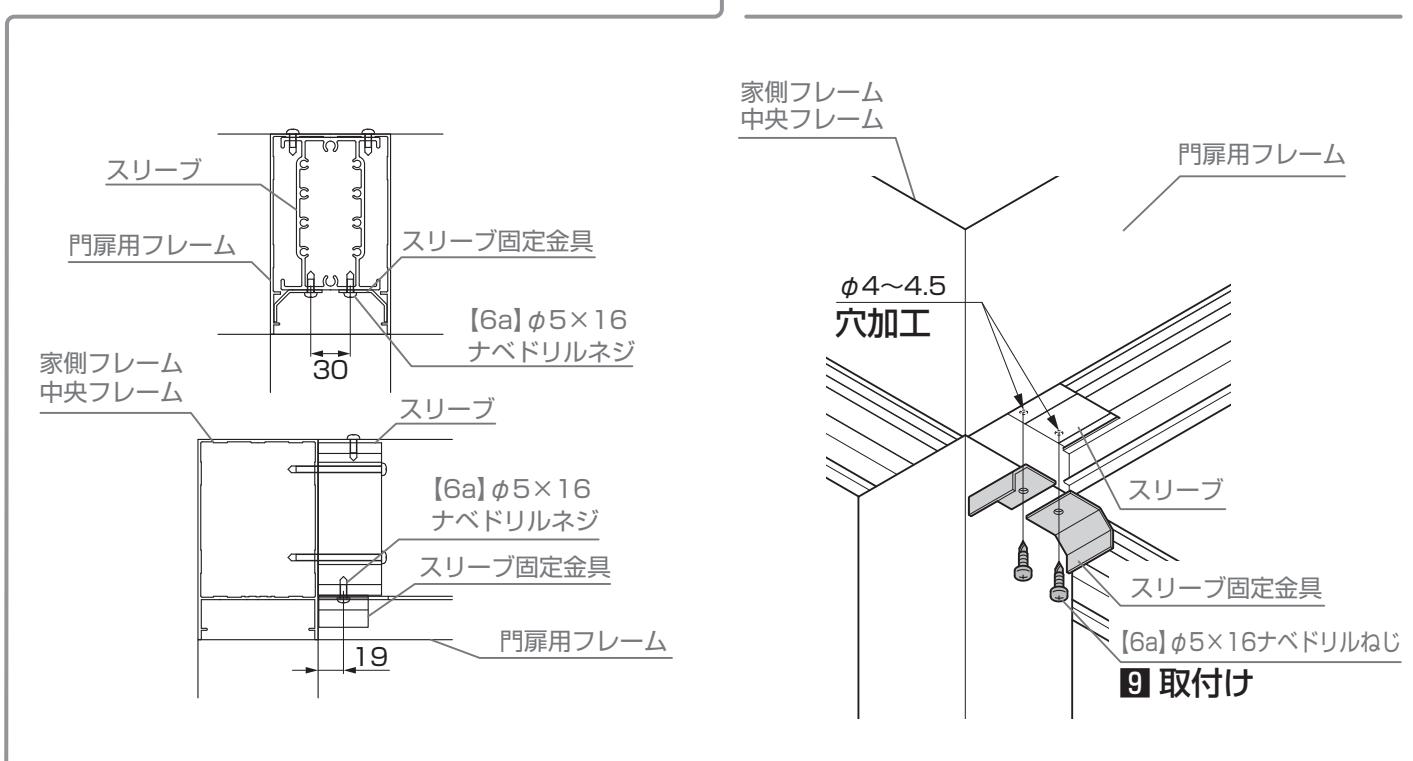
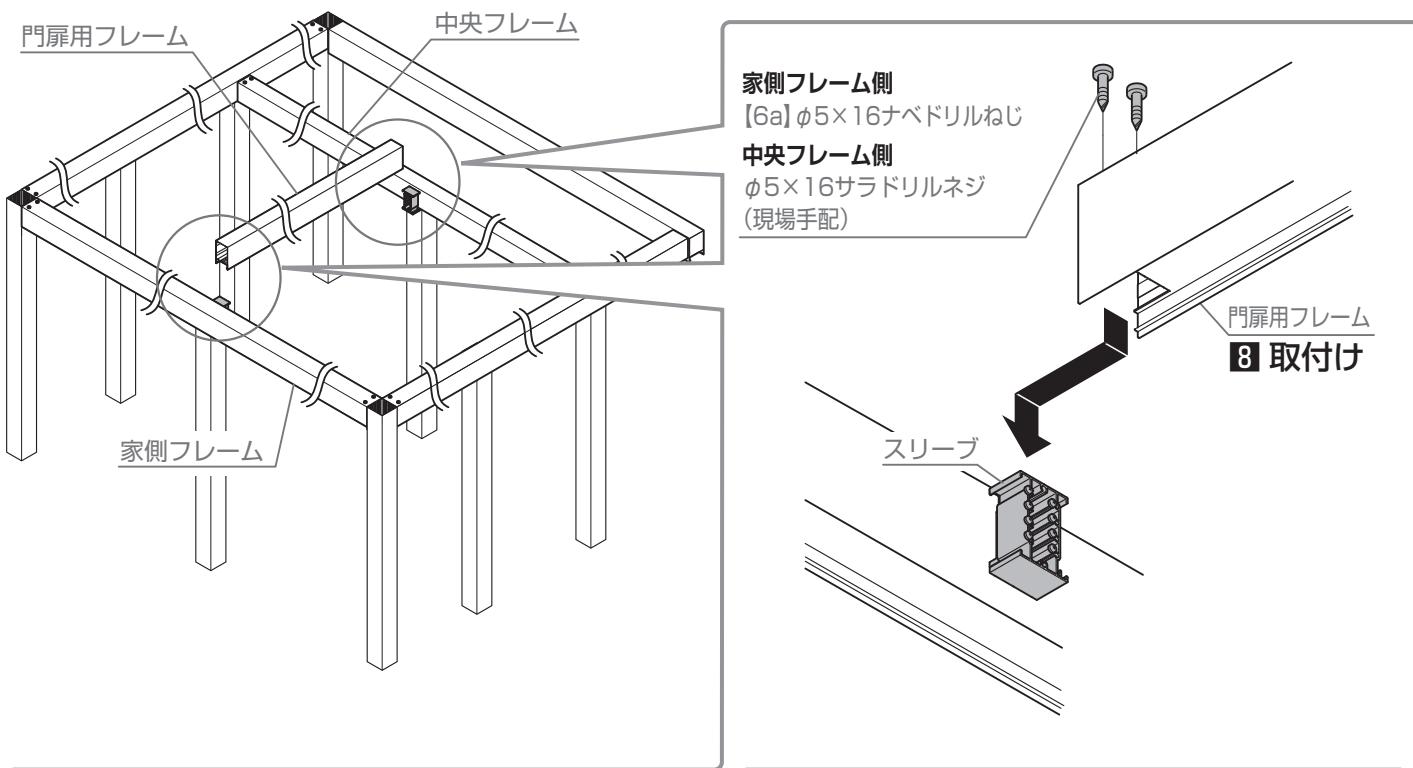
9:門扉用フレーム下側をスリーブ固定金具を使用し、【6a】で取付け

施工上のお願い

●門扉用フレームの中央フレーム側 上側の取付ネジは、 $\phi 5 \times 16$ サラドリルねじ(現場手配)を使用してください。

●門扉用フレームの取付けは、フレーム取付金具は使用せず、スリーブ固定金具を使用して取付けてください。

●スリーブ固定金具を取付ける際に、スリーブに $\phi 4 \sim \phi 4.5$ の下穴加工を行ってから取付けてください。

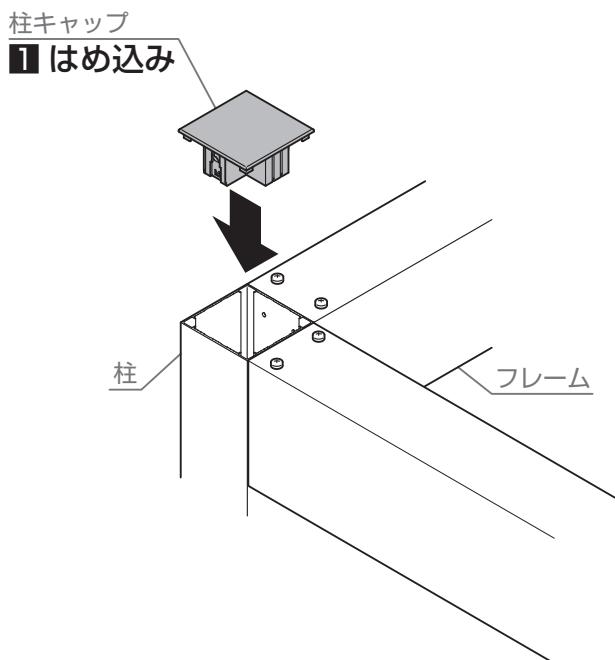


5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱 中間用とフレームの取付け (つづき)

5-1-4 柱キャップの取付け

1:柱に柱キャップをはめ込み



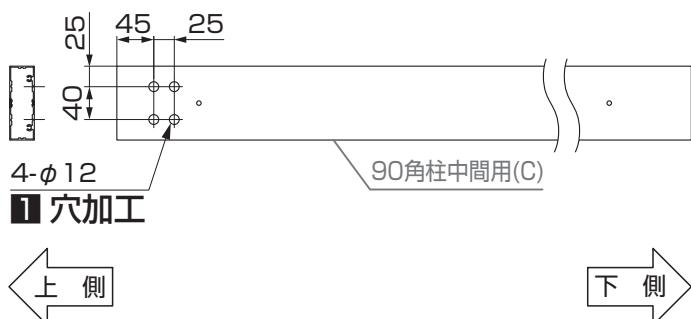
5-2 ふかし材の取付け

5-2-1 ふかし材の取付け

1:ふかし材の上側に $\phi 12$ の穴加工

施工上のお願い

- 専用接合金具の固定ネジを避けるための穴加工です。中央フレーム側に取付けるふかし材に加工を行ってください。
- ふかし材の $\phi 5.5$ の穴加工がされている面に加工を行ってください。



5-2 ふかし材の取付け

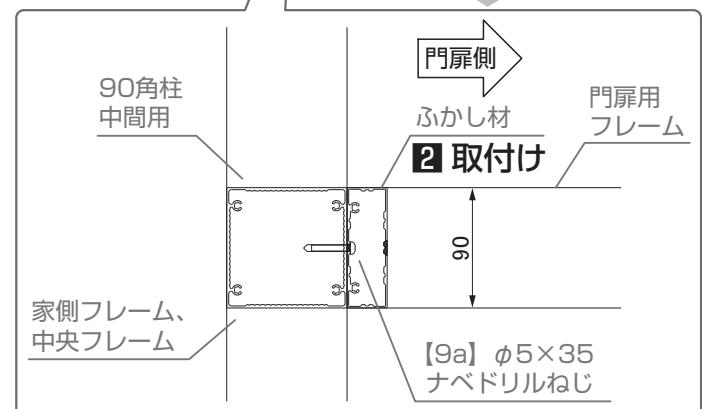
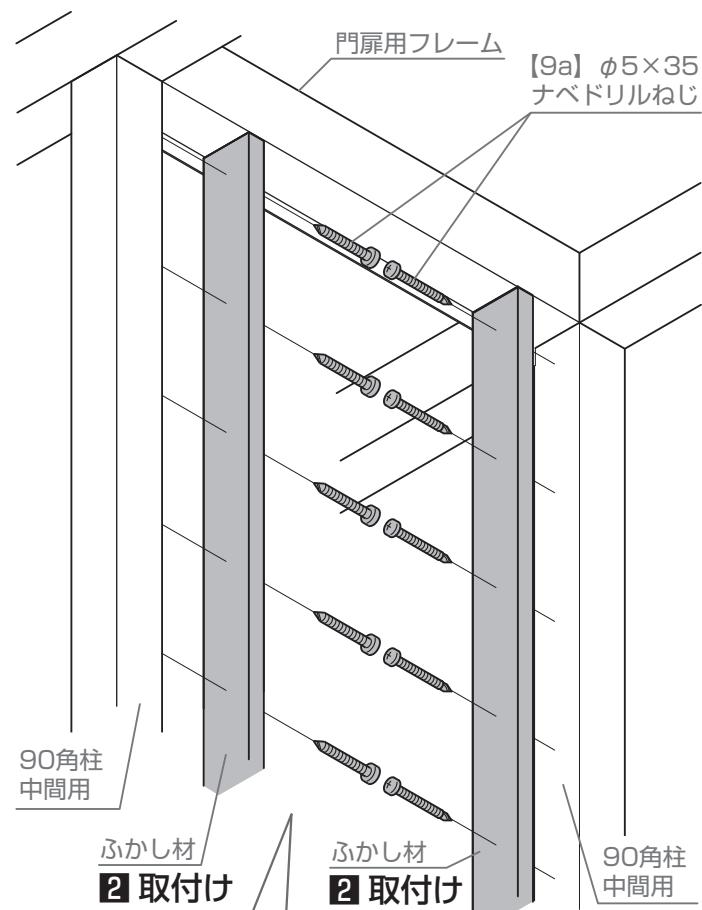
5-2-1 ふかし材の取付け

つづき

2:ふかし材を90角柱中間用に【9a】で取付け

施工上のお願い

- ふかし材は門扉が取付く場所の両側の90角柱中間用に取付けてください。
- ふかし材はG.L.から門扉用フレーム下まで柱と面一になるように取付けてください。
- 【1】で穴加工を行ったふかし材は中央フレーム側に取付けてください。



5-3 門扉枠の取付け

施工上のお願い

- 「プラスG エントランスシンメトリータイプ取付説明書 (EXM-219)」を参照して取付けてください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け

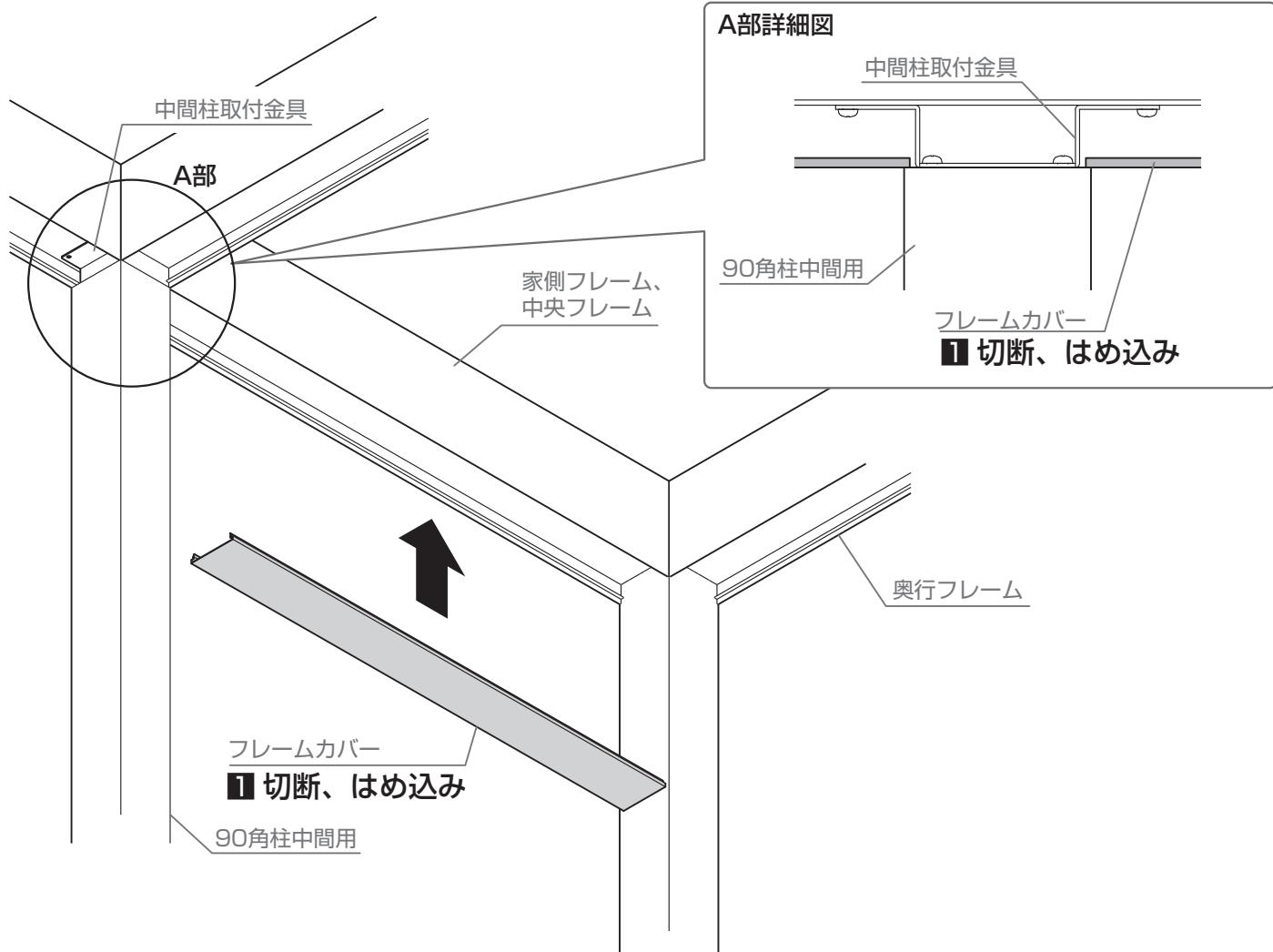
※中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合の手順です。

5-4-1 フレームカバーの取付け

施工上のお願い

- 「5-4 デザイン格子の取付け」は、中央壁の延長でデザイン格子を取付ける場合、または家側壁の一部をデザイン格子納まりにする場合の手順です。

①: フレームカバーを切断し、家側フレームと中央フレームの対象箇所にはめ込み



施工上のお願い

- デザイン格子が取付くフレームの柱間を実測し、フレームカバーを切断してから取付けてください。
(デザイン格子を取付けない場所にはフレームカバーは取付けないでください)
- フレームカバーは、実測値から中間柱のみ込み分(1mm ~ 2mm)長く切断すると、隙間なく施工できます。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け

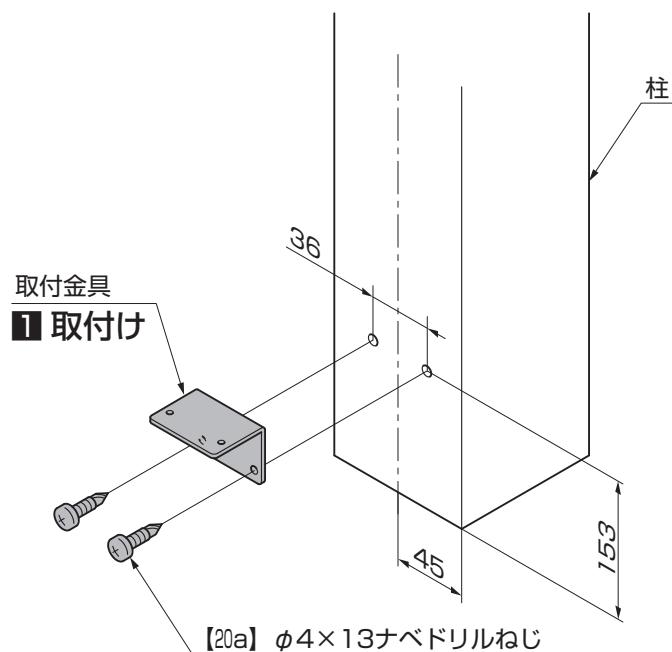
※中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合の手順です。

5-4-2 埋め込み補助部材の取付け

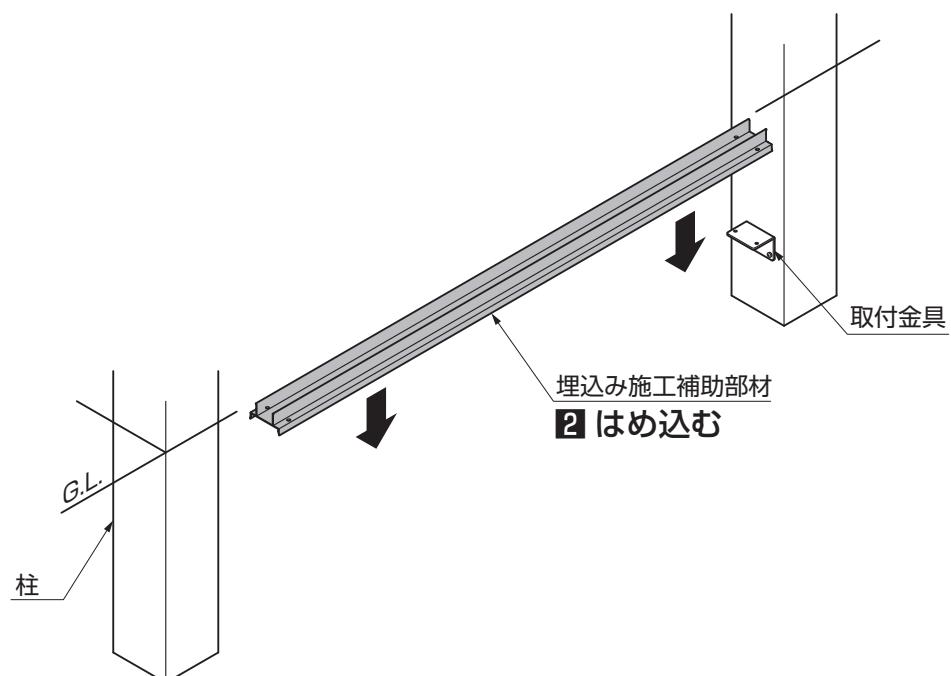
施工上のお願い

- 取付け金具はデザイン格子が取付く場所の両側の柱内側に取付けてください。

①:埋込み施工補助部材の取付金具を柱に【20a】で取付け



②:埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込む



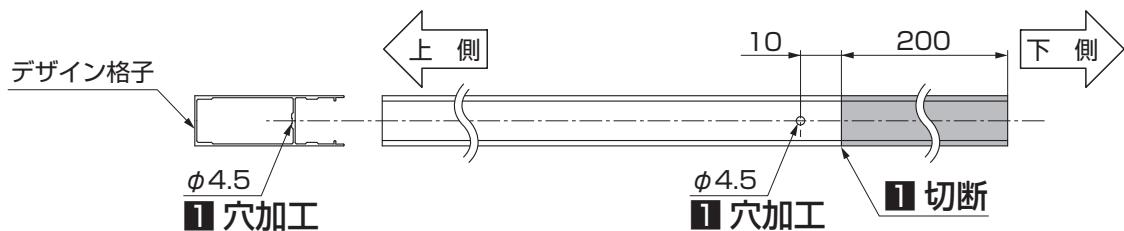
5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け

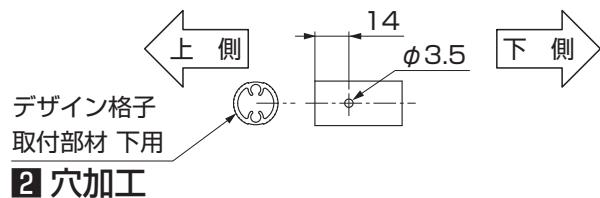
※中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合の手順です。

5-4-3 | デザイン格子の加工

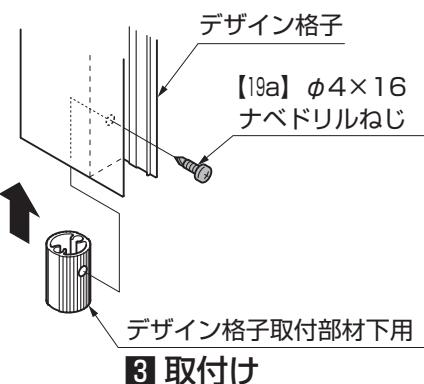
1: デザイン格子を切断、穴加工



2: デザイン格子取付部材下用を穴加工



3: デザイン格子にデザイン格子取付部材下用を【19a】で取付け



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

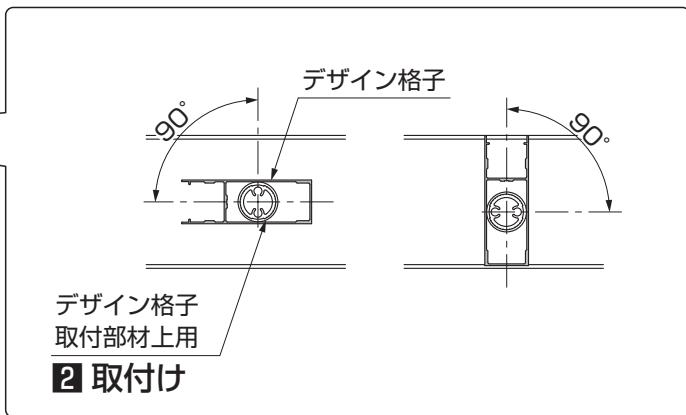
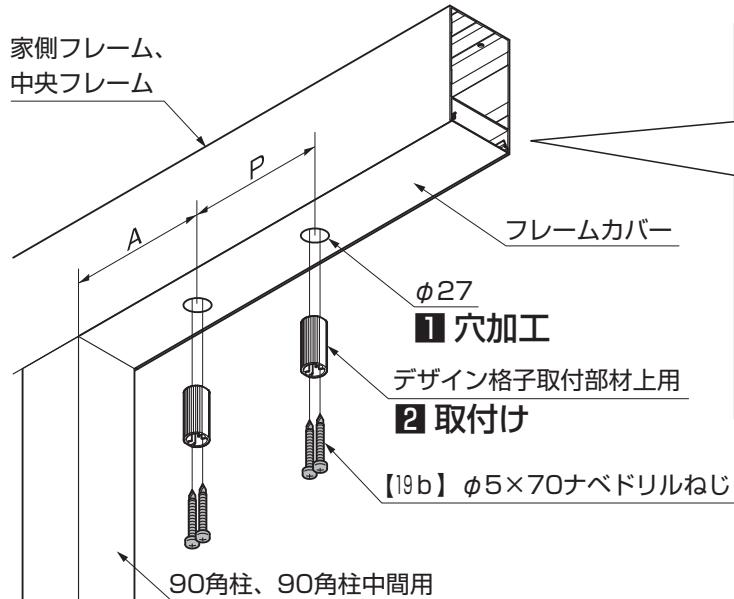
5-4 デザイン格子の取付け

※中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合の手順です。

5-4-4 デザイン格子の取付け

1: フレームカバーにφ27の穴加工

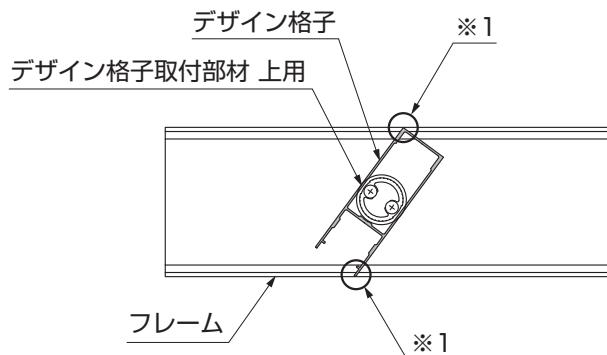
2: デザイン格子取付部材上用をフレームに【19b】で取付け



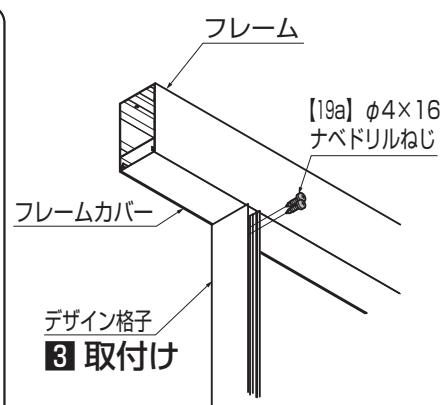
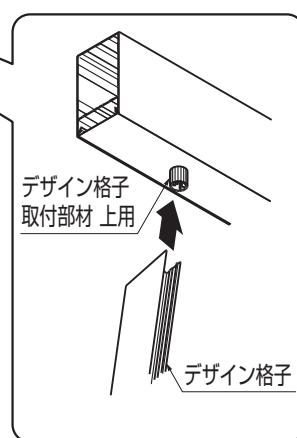
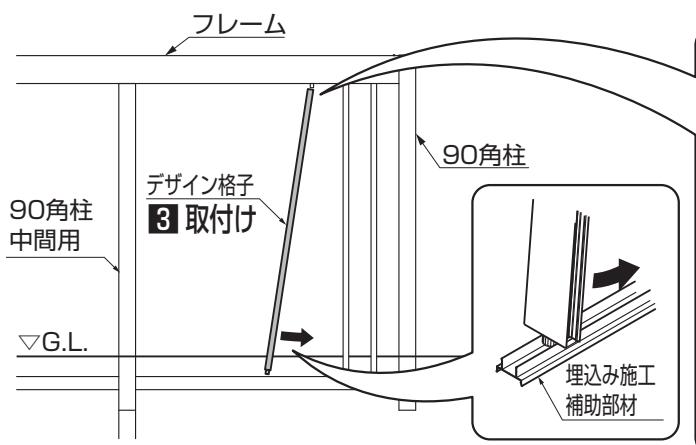
取付位置	A		P
	90角柱	90角柱中間用	
家側壁	135	100	105
中央壁	—	80以上	任意

施工上のお願い

- デザイン格子の柱からの距離Aとデザイン格子の取付けピッチPは表の寸法を参考し決定してください。
- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付け角度に対して90°に取付けてください。
- デザイン格子は回転させて取付ける事が可能ですが、※1の箇所がフレームから飛び出さないように取付けてください。



3: デザイン格子取付部材上用にデザイン格子を【19a】で取付け



施工上のお願い

- 上図を参考にデザイン格子をデザイン格子取付部材上用、埋込み施工補助部材に入るよう斜めにして取付けてください。
- デザイン格子とフレームカバーにすき間がないことを確認してください。

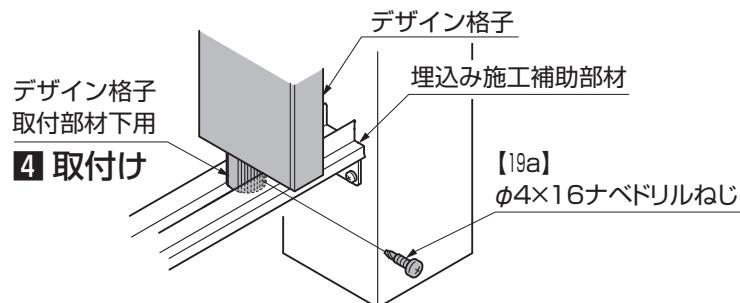
5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け

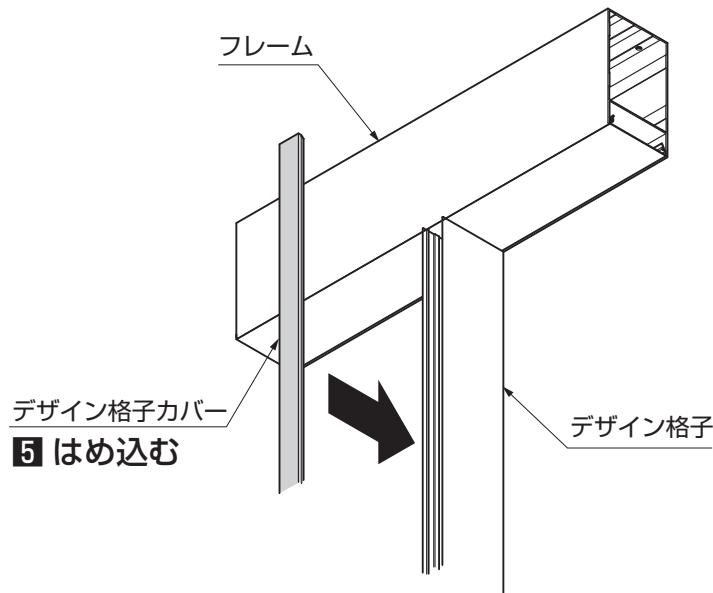
※中央壁または家側壁にデザイン格子を取付ける場合の手順です。

5-4-4 | デザイン格子の取付け（つづき）

4: デザイン格子取付部材下用を埋込み施工補助部材に【19a】で取付け



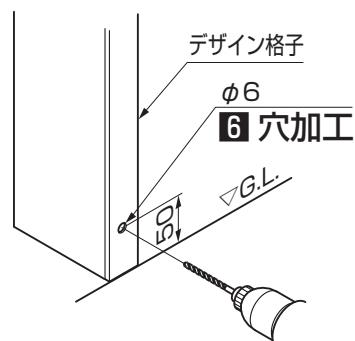
5: デザイン格子カバーをデザイン格子にはめ込む



施工上のお願い

- デザイン格子カバーは必要に応じて切断してから取付けてください。

6: デザイン格子にφ6の水抜き穴加工



施工上のお願い

- 水抜き穴は基礎の打設後に加工してください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-5 錆物パネルの取付け

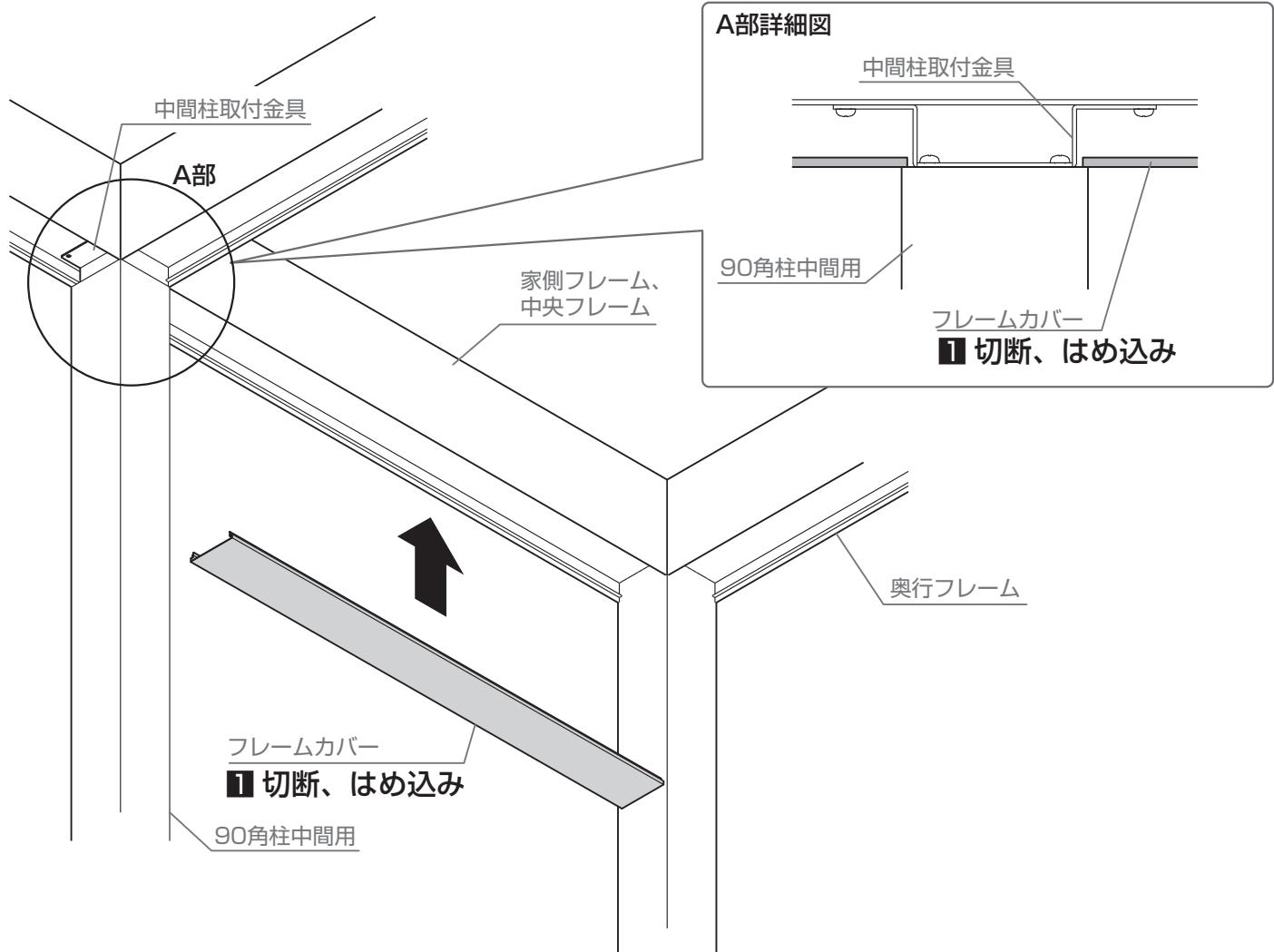
※中央壁または家側壁に錆物パネルを取付ける場合の手順です。

5-5-1 フレームカバーの取付け

施工上のお願い

- 「5-5 錆物パネルの取付け」は、中央壁の延長で錆物パネルを取付ける場合、または家側壁の一部を錆物パネル納まりにする場合の手順です。

①: フレームカバーを切断し、家側フレームと中央フレームの対象箇所にはめ込み



施工上のお願い

- 錆物パネルが取付くフレームの柱間を実測し、フレームカバーを切断してから取付けてください。
(錆物パネルを取付けない場所にはフレームカバーは取付けないでください)
- フレームカバーは、実測値から中間柱のみ込み分(1mm ~ 2mm)長く切断すると、隙間なく施工できます。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-5 錆物パネルの取付け

※中央壁または家側壁に錆物パネルを取付ける場合の手順です。

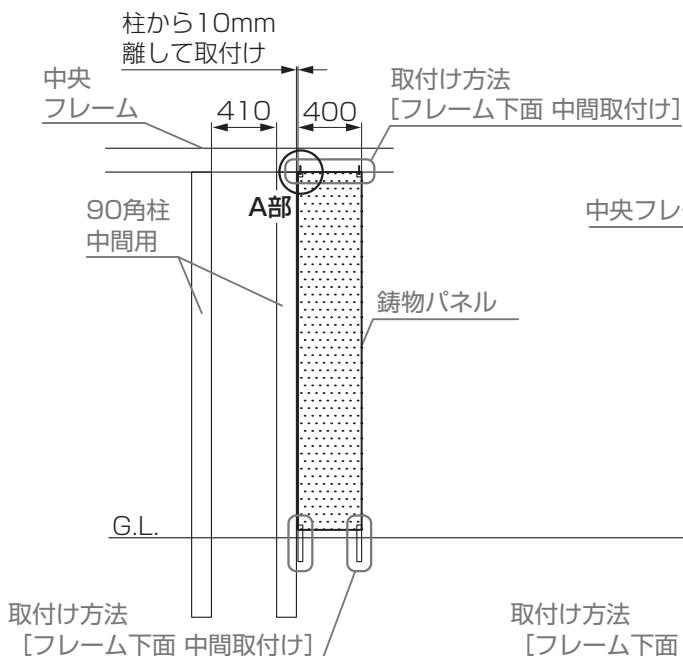
5-5-2 錆物パネルの取付け

施工上のお願い

- 各納まりの取付け方法は下図を参考し「Gスクリーン 錆物パネル 取付説明書(EXM-151)」の取付け手順にしたがって取り付けてください。
- 錆物パネルは柱から10mmまたは40mm離した位置に取り付けてください。
- 柱と隣接する錆物パネルは、固定アングルの取付けネジが金具に干渉しないようにそれぞれの金具に切欠きを行ってから取付けてください。(A部詳細図、B部詳細図)

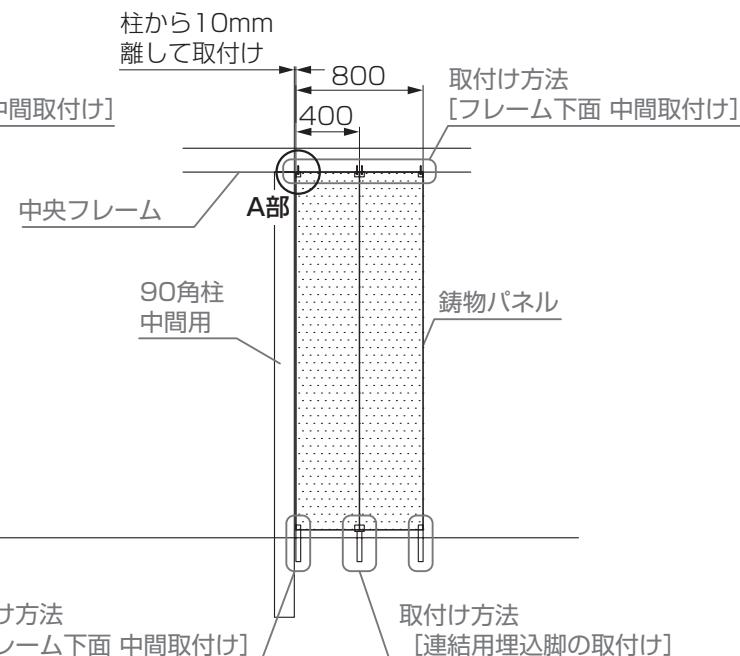
■中央壁

[GウォールW05延長+錆物パネル](1枚)



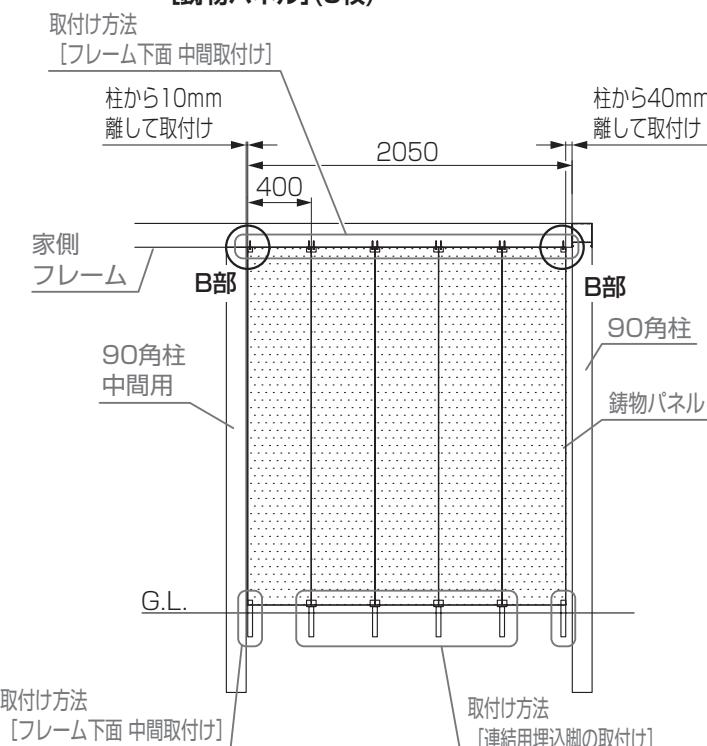
■中央壁

[錆物パネル](2枚)



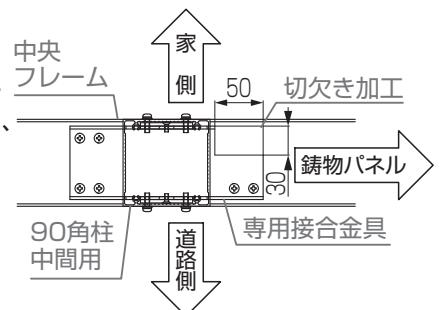
■家側壁

[錆物パネル](5枚)



●A部詳細図

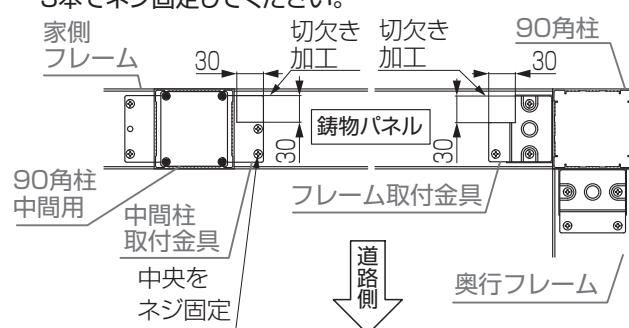
※切り欠き加工をした専用接合金具は、切り欠き部以外の6本でネジ固定してください。



●B部詳細図

※切り欠き加工をした中間柱取付金具は、中央の加工穴を使用しネジ固定してください。

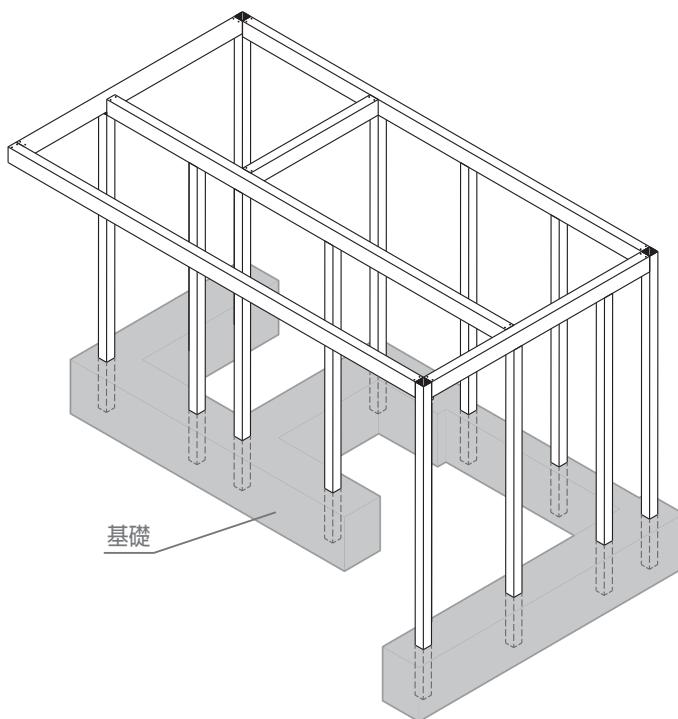
※切り欠き加工をしたフレーム取付金具は、切り欠き部以外の3本でネジ固定してください。



6 基礎の打設

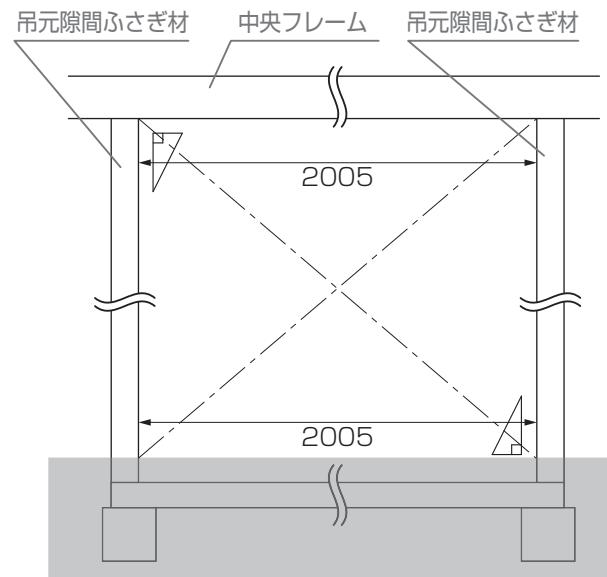
6-1 基礎の打設

1: 基礎の打設



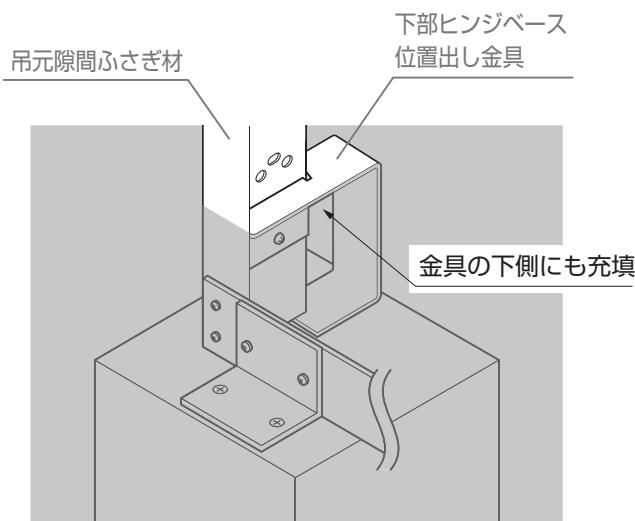
施工上のお願い

- 基礎の打設後に、吊元隙間ふさぎ材の垂直・直角が出ているか、吊元隙間ふさぎ材同士の内々の寸法が2005mmになっているか、対角の寸法が同じになっているか必ず確認してください。

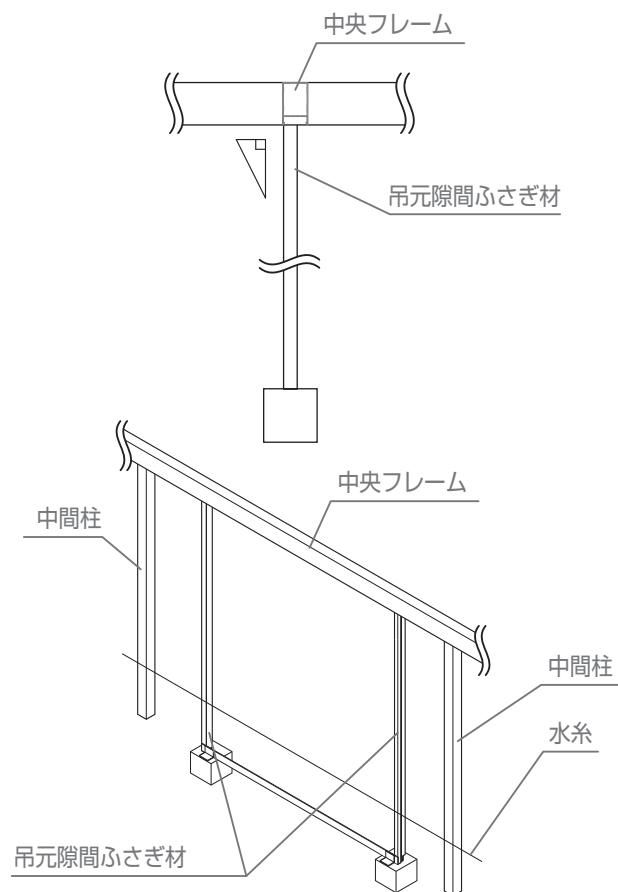


施工上のお願い

- Gウォールを セラミックタイル仕様かつ小口をタイル納まりで取付ける場合、基礎の打設前に「Gウォール 取付説明書 (EXM-017)」の P.35を参照し、タイル用小口巾木を取付けてください。
- 基礎の打設の際に、下部ヒンジベース位置出し金具の天面が埋まってしまうないように注意してください。(タイル等で床仕上げを行う場合は下部ヒンジベース位置出し金具の天面より床面が上にならないようにしてください。)
- 下部ヒンジベース位置出し金具の下側にも確実に充填してください。



- 正面からの確認だけでなく、側面側の垂直も確認してください。また、中間柱間に水糸を張るなどして、前後のズレがないようにしてください。



7 エントランスルーフの取付け

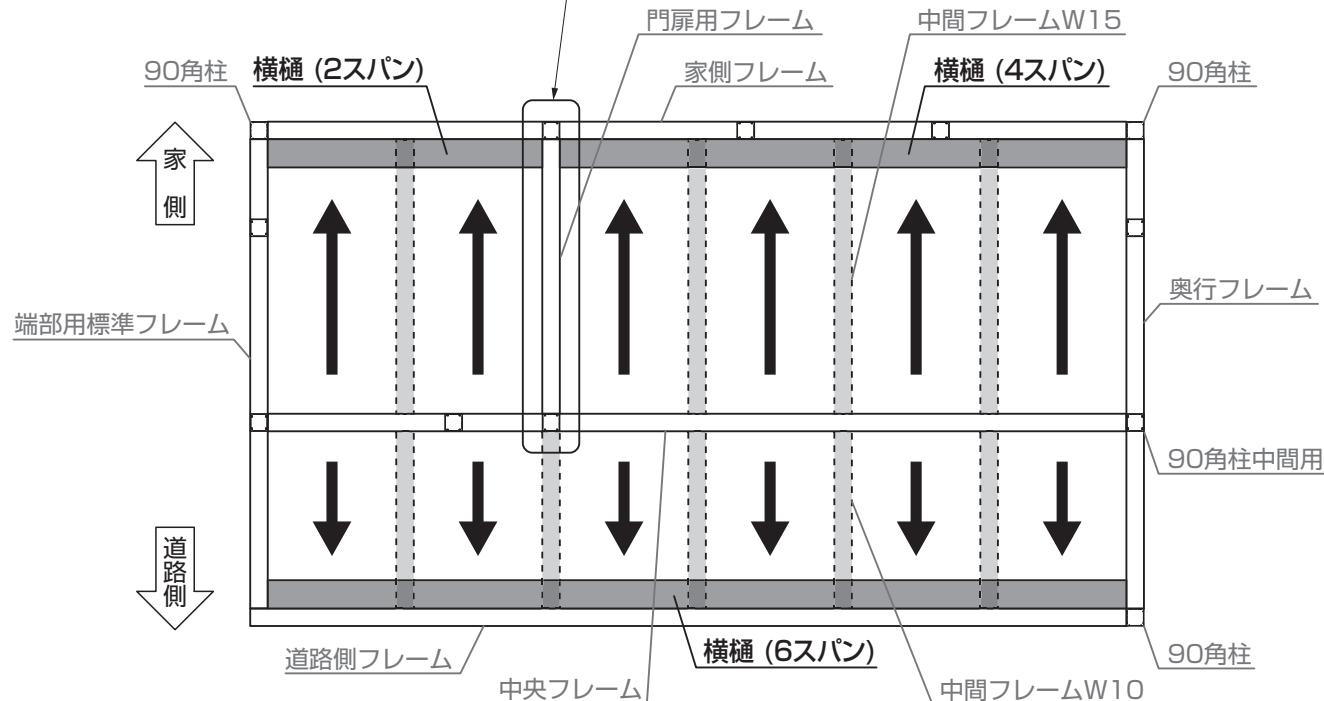
7-1 エントランスルーフの取付け

施工上のお願い

- 中央フレームを挟んで道路側にW10、家側にW15のエントラスルーフを、中央フレーム側が水上になるように取り付けてください。
- 家側のエントラスルーフは門扉用フレームを挟んで横樋が分かれます。
ただし、門扉用フレームに取付ける屋根固定材は中間用を使用してください。
- エントラスルーフの取付け手順については、取付説明書[プラスG エントラス シンメトリータイプ(EXM-219)]を参照してください。

※「←」は屋根勾配を示す

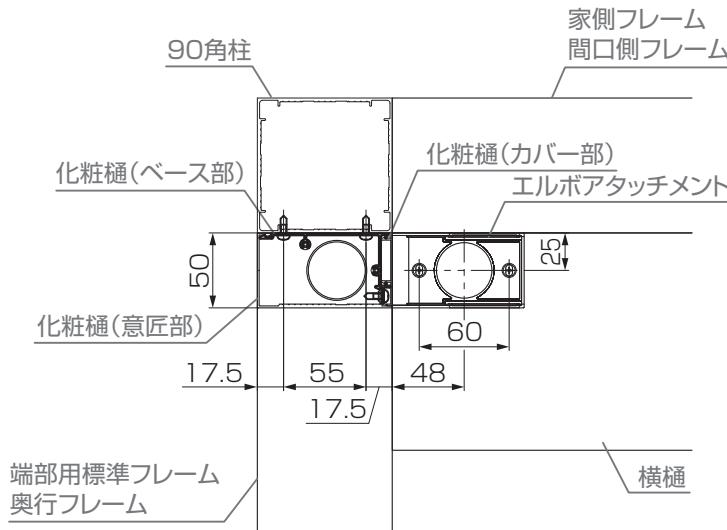
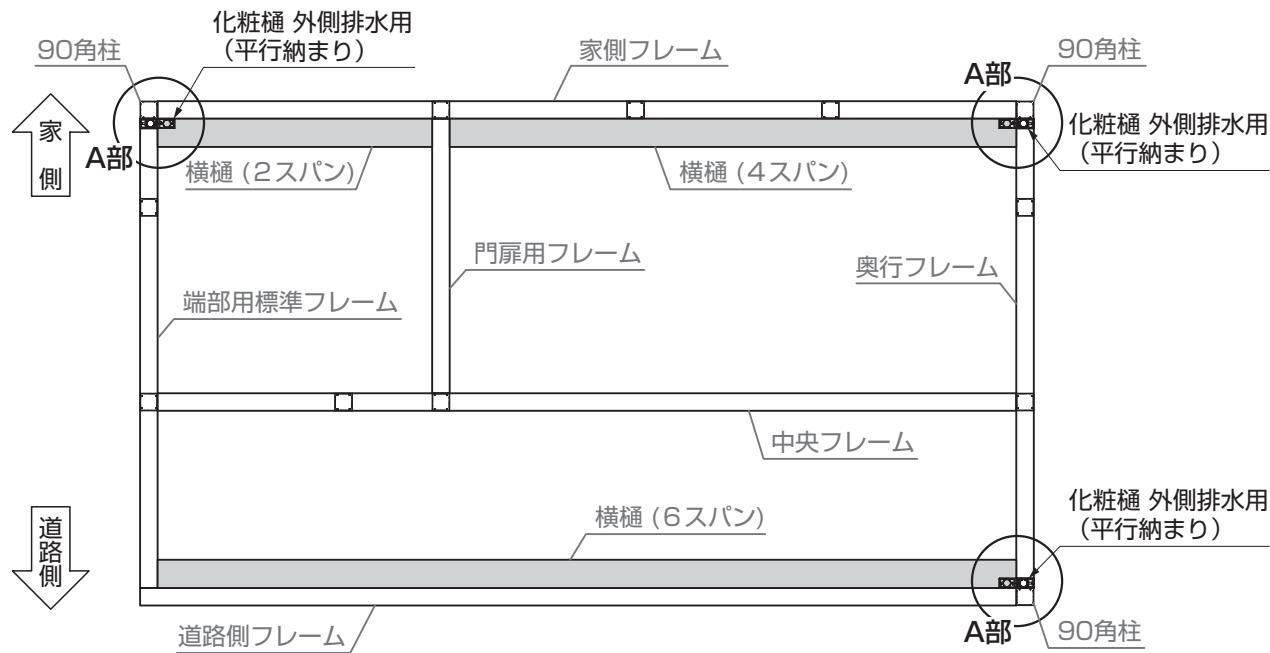
門扉用フレームを挟んで2スパンと4スパンで横樋が分かれます。
ただし、門扉用フレームに取付ける屋根固定材は中間用を使用してください。



8 天井材の取付け

8-1 化粧樋の取付け準備

8-1-1 化粧樋取付け位置の確認



A部詳細図

施工上のお願い

- 上図を参照し、化粧樋外側排水用(平行納まり)を各90角柱に沿って3ヵ所取付けてください。

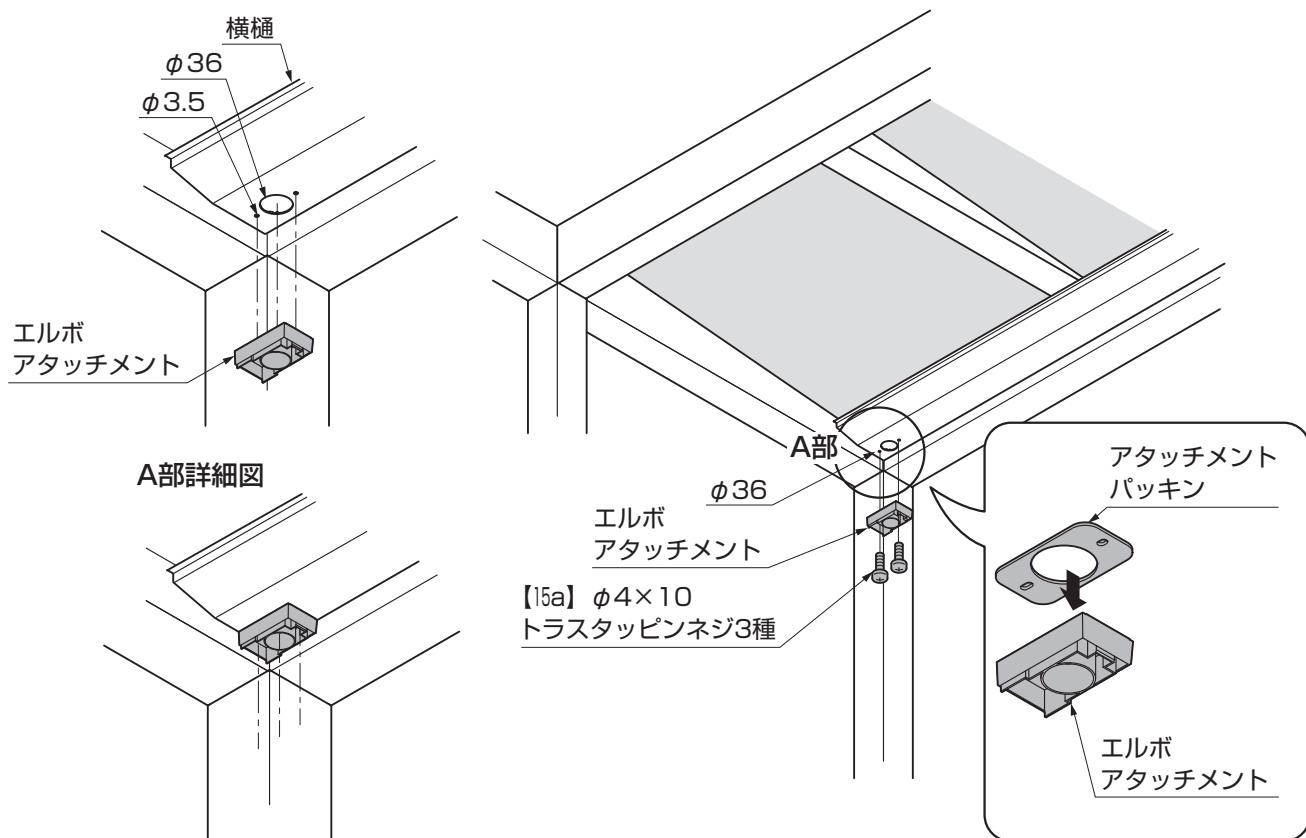
8 天井材の取付け

8-1 化粧樋の取付け準備

8-1-2 化粧樋 部品の取付け

①:エルボアタッチメントを樋にあて、ポンチ等でケガキ、ドリルで水抜き穴 $\phi 36$ とエルボアタッチメント取付穴 $\phi 3.5$ をあけてください。

②:エルボアタッチメントにアタッチメントパッキンを貼付けし、ルーフの雨樋に【15a】で取付けてください。

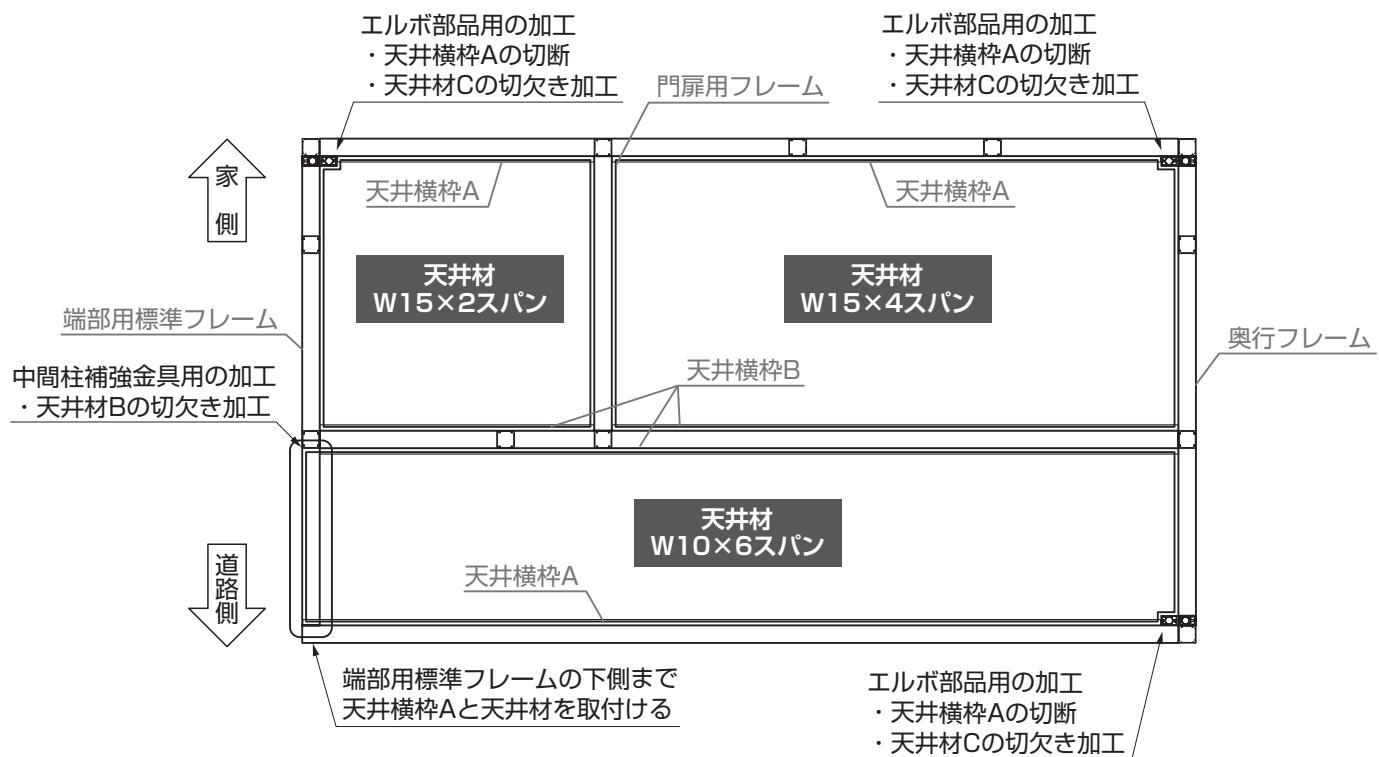


施工上のお願い

- 穴加工位置のズレが大きいと、縦樋が取付けられません。

8 天井材の取付け

8-2 天井材取付け位置の確認



施工上のお願い

- 上図を参照し、天井材W10と天井材W15の2スパン、4スパンをそれぞれ取付けてください。
- 天井材W10の屋根持出し側は、端部用標準フレームの下側まで天井横枠Aと天井材を取付けてください。
- 化粧樋のエルボ部品に干渉しないように、天井横枠Aの切断と天井材Cへの切り欠き加工を行ってから取付けてください。
- 道路側の中間柱補強金具に干渉しないように、天井材Bへの切り欠き加工を行ってから取付けてください。

8 天井材の取付け

8-3 部材の加工

1:天井横枠Aを下記寸法で切断

2:天井横枠Aの切断した側に、 $\phi 4.5$ の穴加工

3:6スパン用の天井材A、天井材B、天井材C、調整天井材A、調整天井材Bを下記寸法で切断

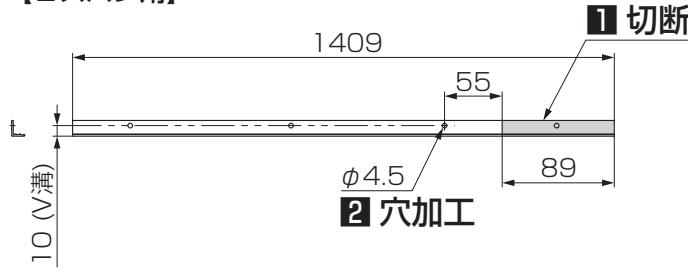
施工上のお願い

- 4スパン用と6スパン用の切断および穴加工は、2本のうち1本のみ行ってください。

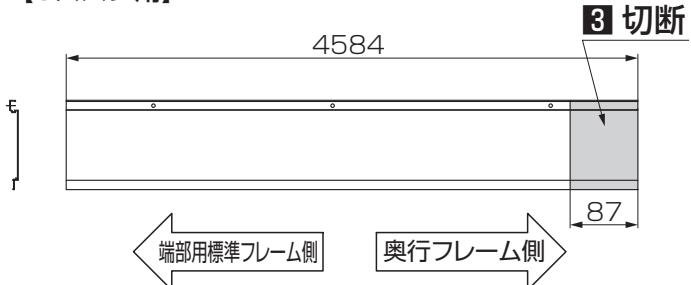
施工上のお願い

- 天井材は必ず奥行フレーム側を切断してください。端部用標準フレーム側を切断するとネジ固定用の加工穴の位置が合わなくなります。

【2スパン用】

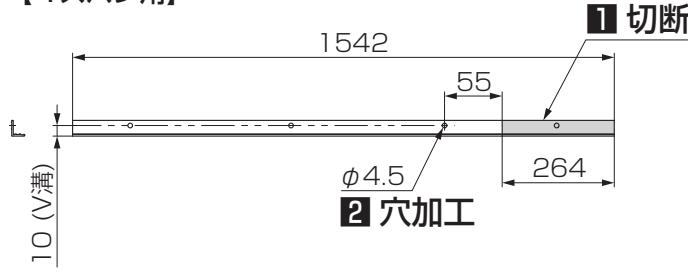


【6スパン用】



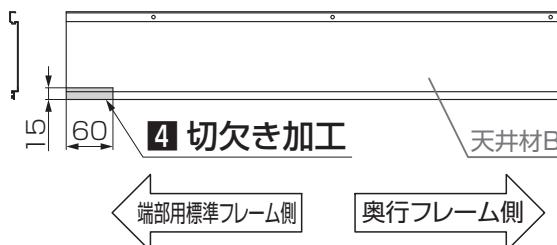
※図は天井材Aを示す。

【4スパン用】



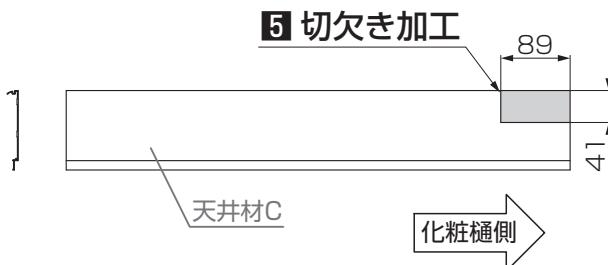
4:6スパン用の天井材Bの端部用標準フレーム(切断した反対)側に下記の切り欠き加工

【6スパン用】



5:天井材Cの化粧樋側にエルボ用の切り欠き加工

【2スパン用、4スパン用、6スパン用】



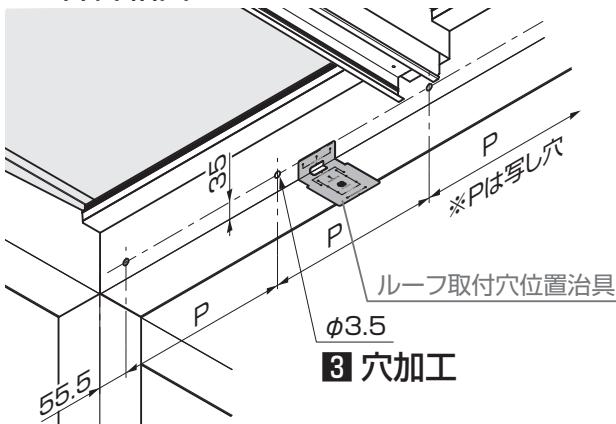
8 天井材の取付け

8-4 天井横枠の取付け

※図は天井材W10を示します。

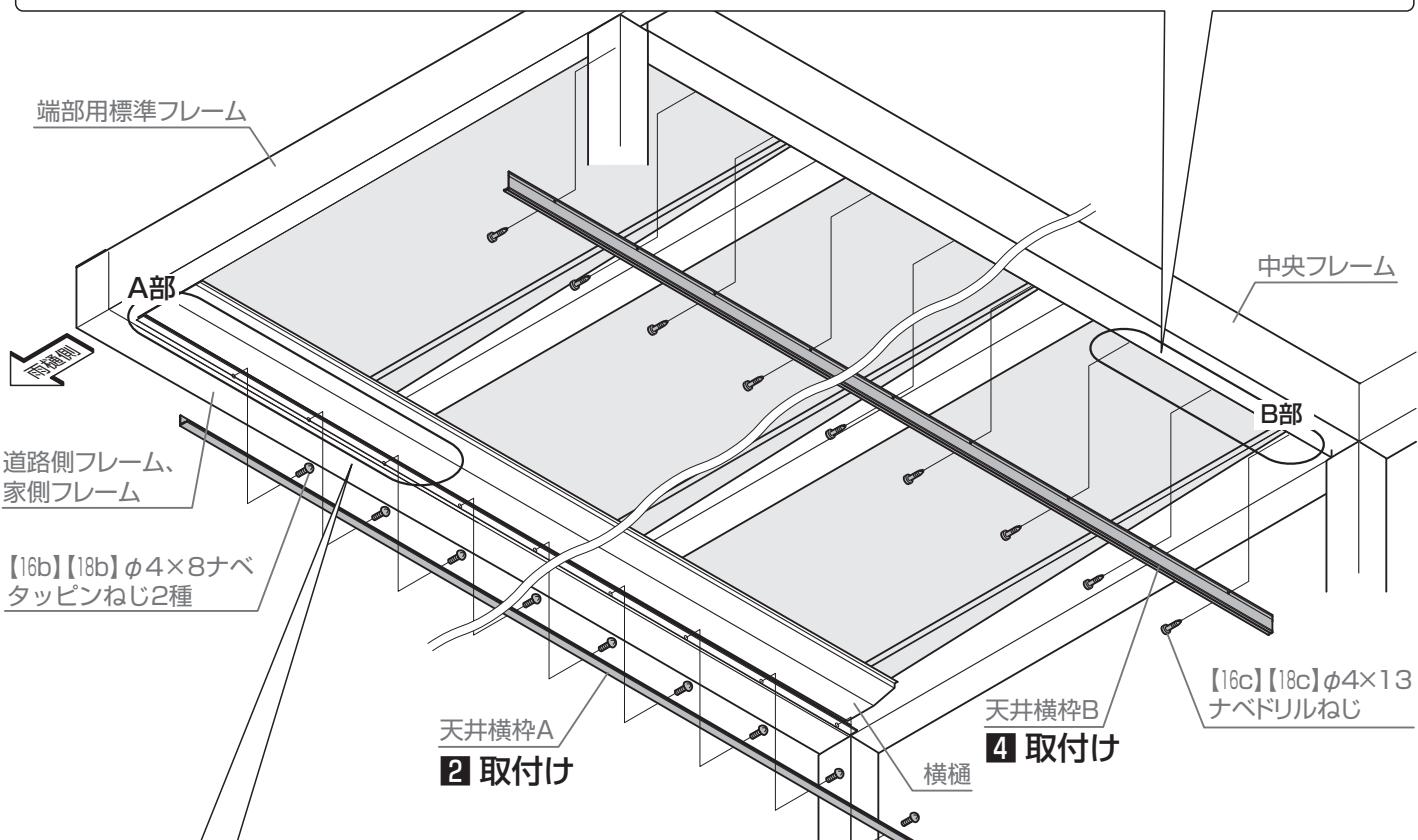
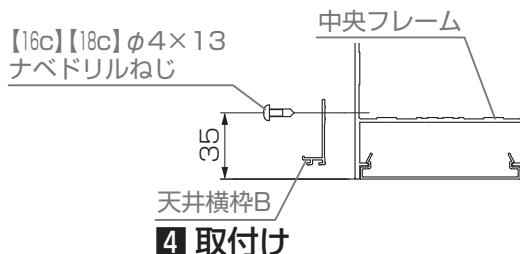
- 1:雨樋側のフレームに $\phi 3.5$ の穴加工
- 2:天井横枠Aを雨樋側のフレームに【16b】【18b】で取付け
- 3:中央のフレームに $\phi 3.5$ の穴加工
- 4:天井横枠Bを中央フレームに【16c】【18c】で取付け

●B部詳細図

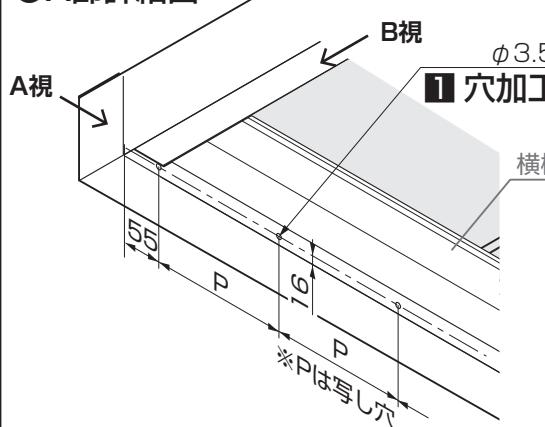


補足

●ルーフ取付穴位置治具を使うことで天井横枠取付け下穴の位置出しがしやすくなります。

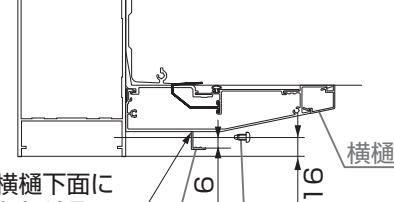


●A部詳細図



道路側フレーム、家側フレーム

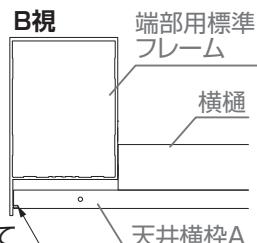
A視



[16b] [18b] φ4×8ナベタッピンねじ2種

2 取付け

B視



施工上のお願い

●天井横枠Aは端部用標準フレームの脚部に突き当てた位置に取付けてください。

8 天井材の取付け

8-5 天井縦枠の取付け

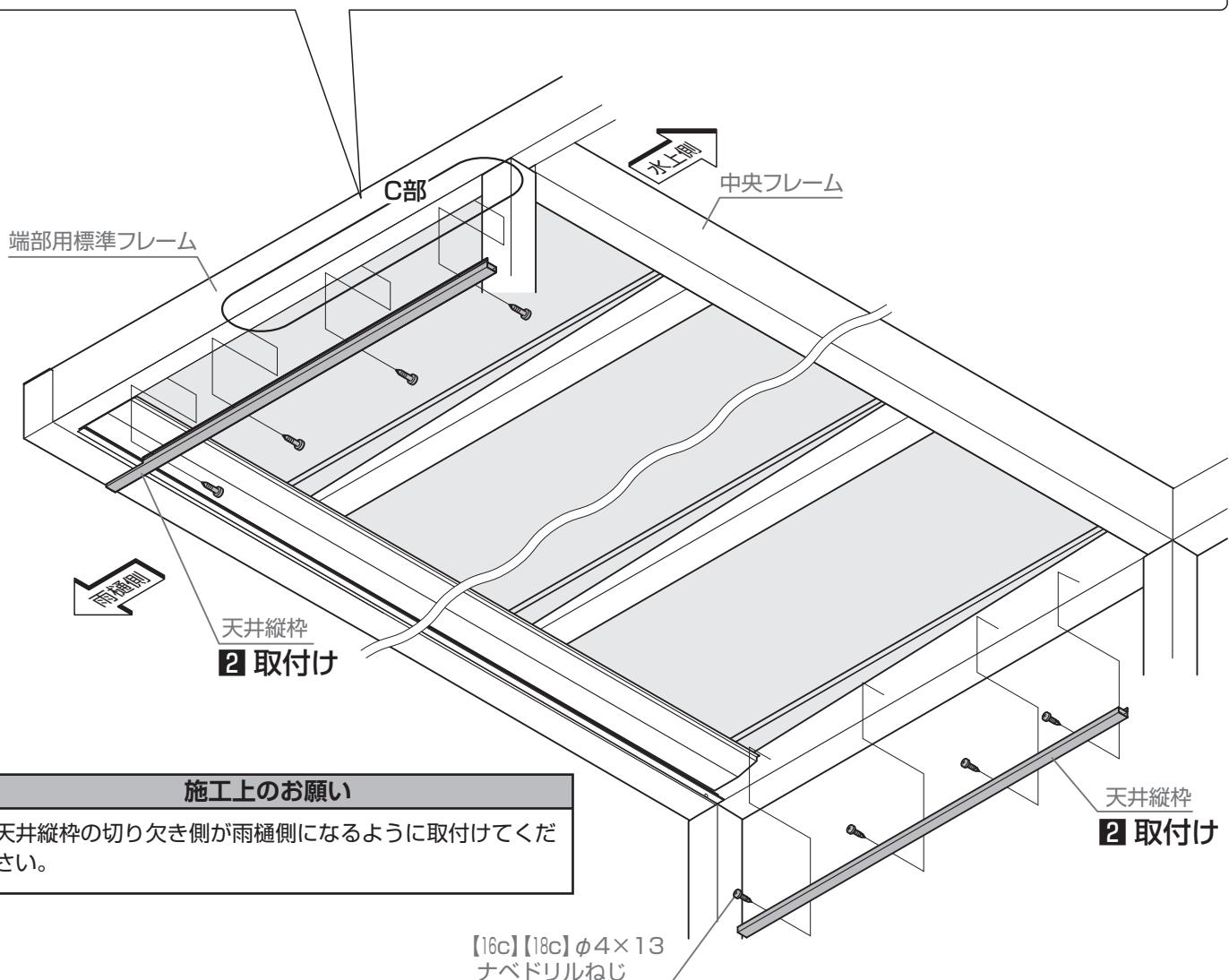
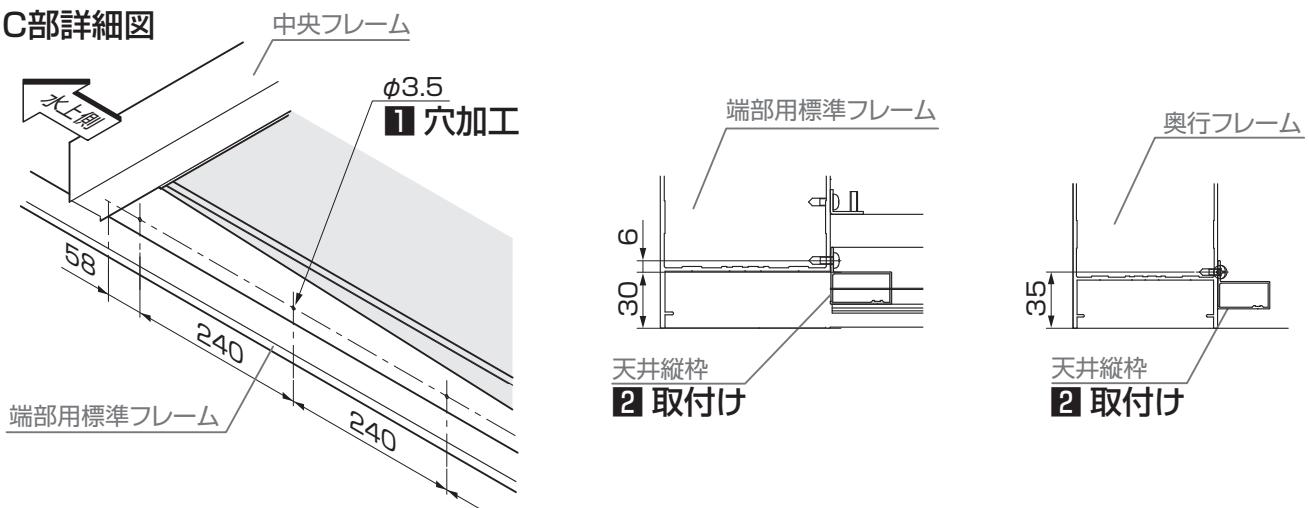
※図は天井材W10を示します。

8-5-1 天井縦枠の取付け

1:端部用標準フレームと奥行フレームにφ3.5の穴加工

2:天井縦枠を端部用標準フレームと奥行フレームに【16c】【18c】で取付け

●C部詳細図



8 天井材の取付け

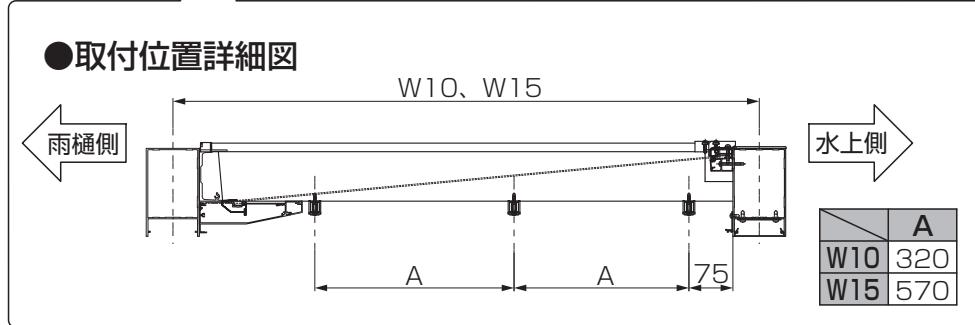
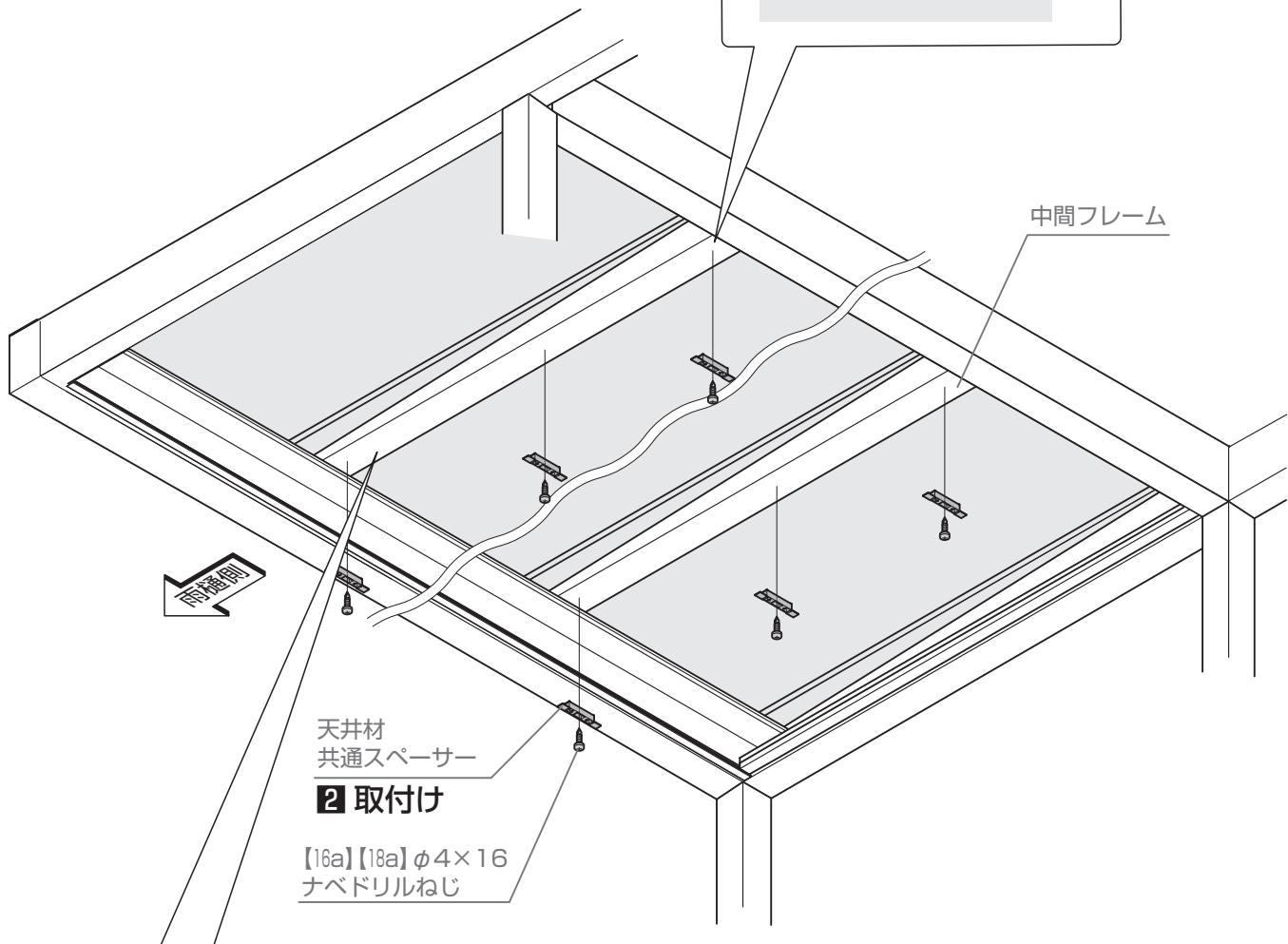
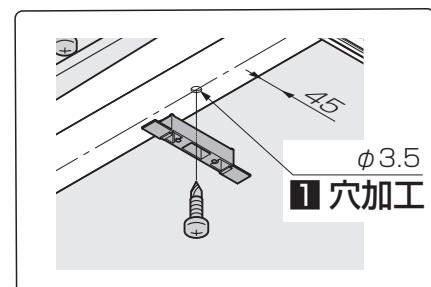
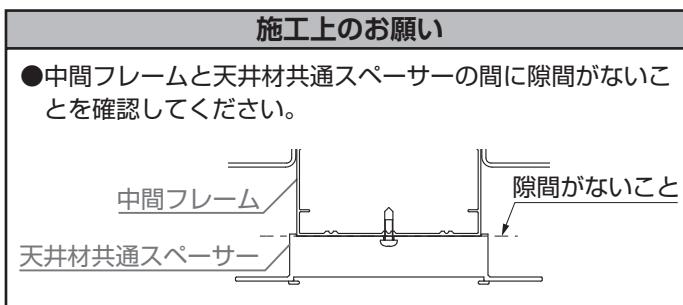
8-5 天井縦枠の取付け(つづき)

※図は天井材W10を示します。

8-5-2 天井材共通スペーサーの取付け

1: 中間フレームにφ3.5の穴加工

2: 天井材共通スペーサーを中間フレームに【16a】【18a】で取付け

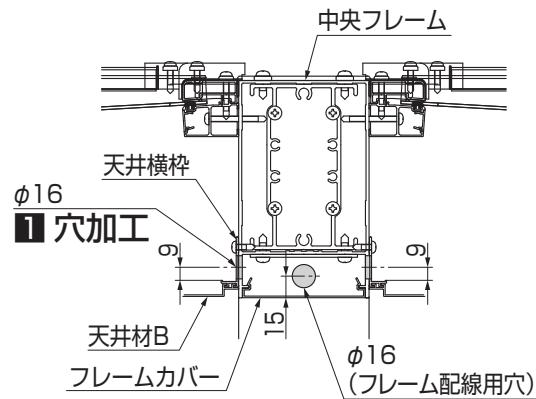
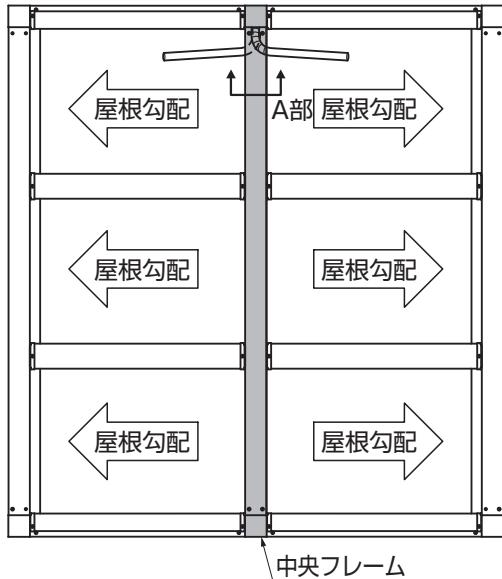


8 天井材の取付け

8-6 ダウンライト用配線穴加工

※ダウンライトを取付ける場合の作業です。

①:配線を通す箇所の中央フレームと天井横枠にφ16の穴加工



A部断面詳細図

施工上のお願い

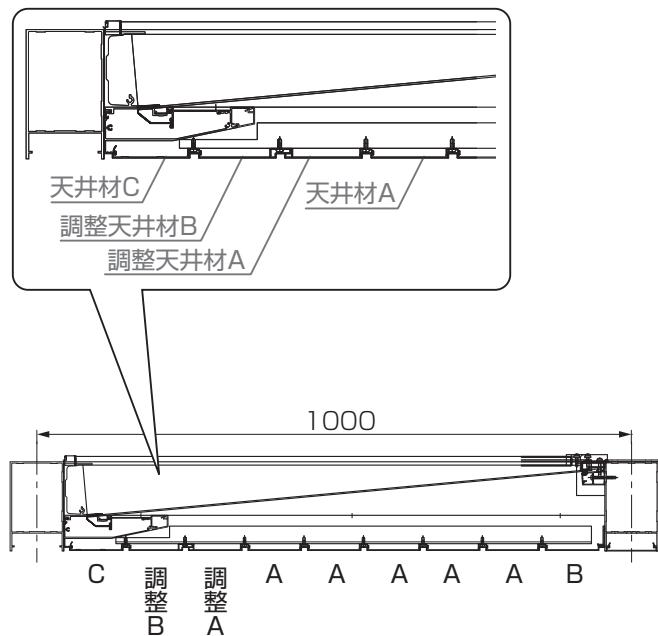
- 配線用の穴加工は中央フレーム(水上)側に行ってください。
- ダウンライトの取付けは、「Z536 LEDダウンライト取付説明書」をご確認ください。

8 天井材の取付け

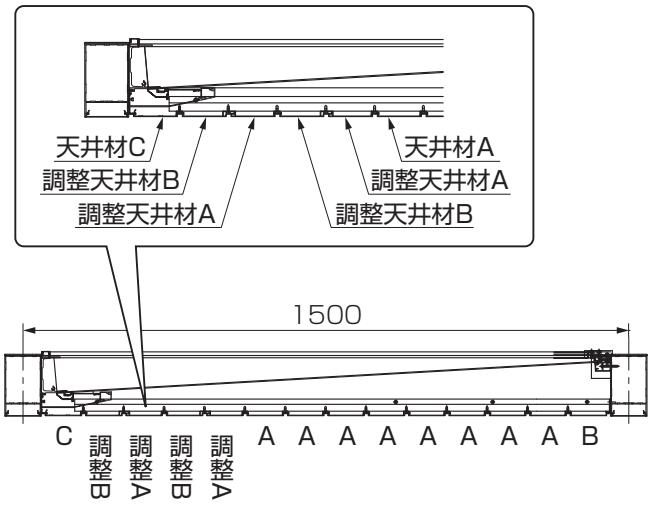
8-7 天井材の取付け

● 基本寸法と納まり

▼ W10の場合 ▼

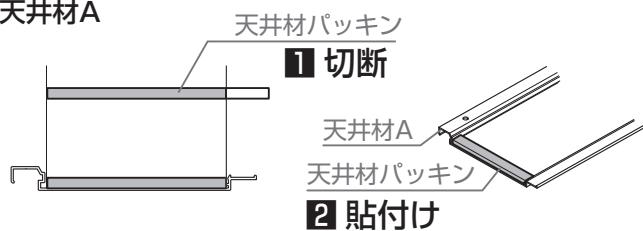


▼ W15の場合 ▼

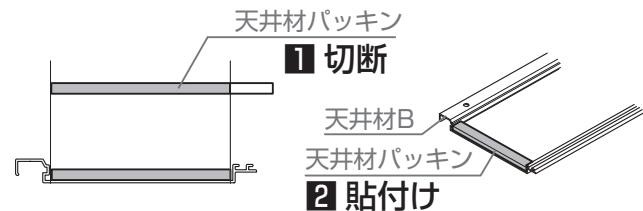


①:天井材パッキンを天井材の左右端部の凹み部分に合わせて切断
②:天井材パッキンを天井材の左右端部に貼付け

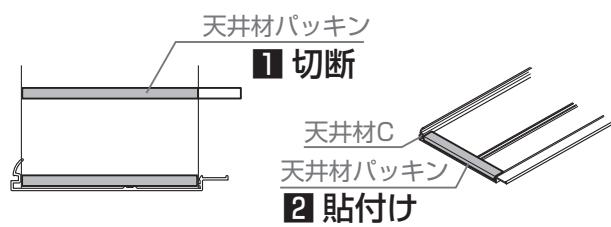
● 天井材A



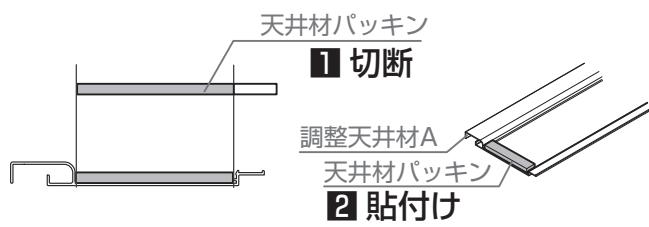
● 天井材B



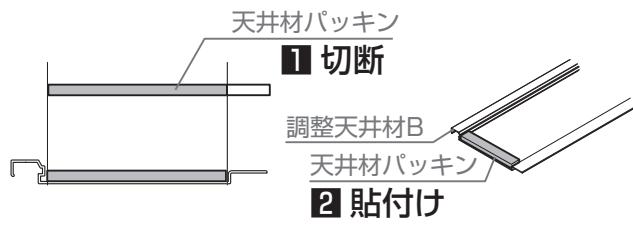
● 天井材C



● 調整天井材A



● 調整天井材B



8 天井材の取付け

8-7 天井材の取付け

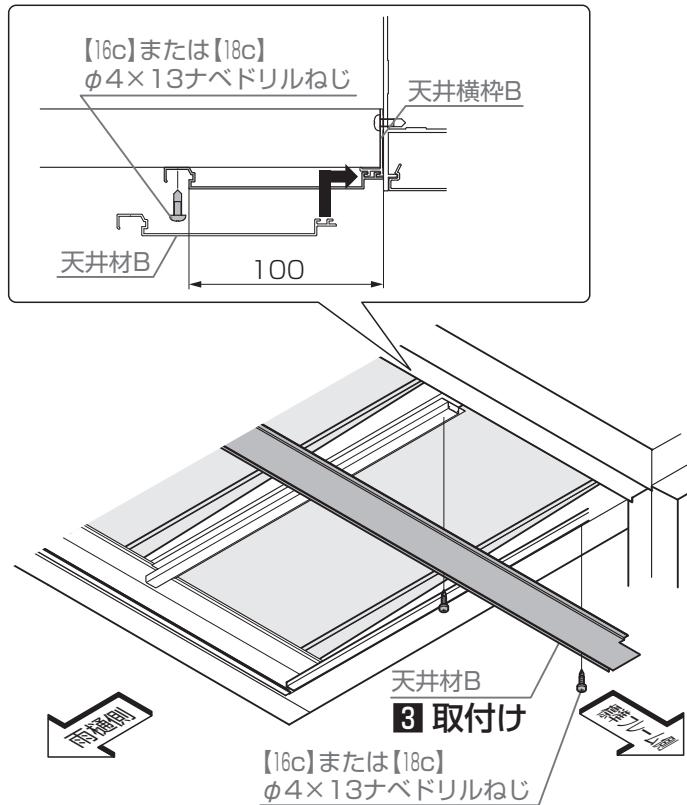
※図は天井材W10を示します。

施工上のお願い

- 以降の手順③～⑦の図は、天井材W10の標準フレーム側を示します。

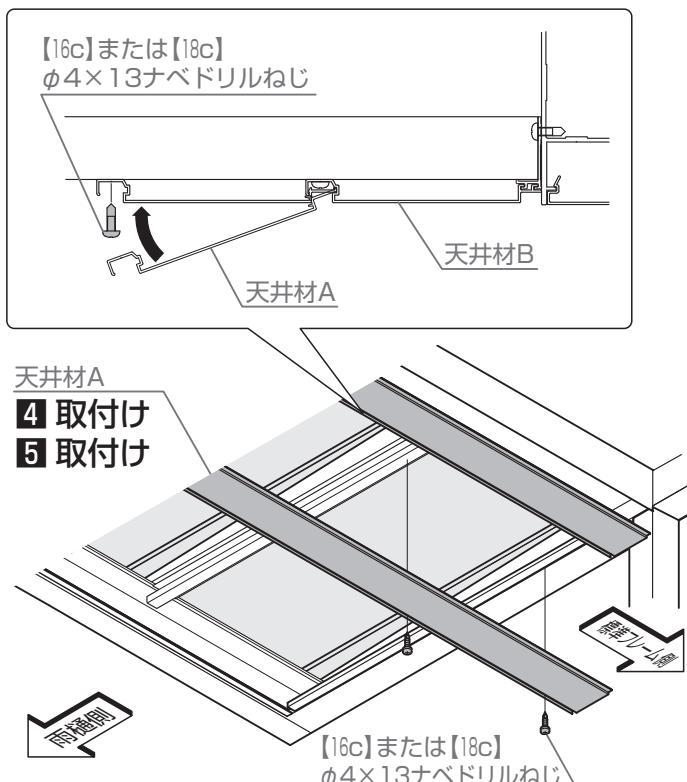
天井材W10の奥行フレーム側および天井材W15の場合は天井材端部がフレーム内側に納まるように取付けてください。

- ③: 天井材Bを天井横枠Bに差込み、【16c】または【18c】で取付け

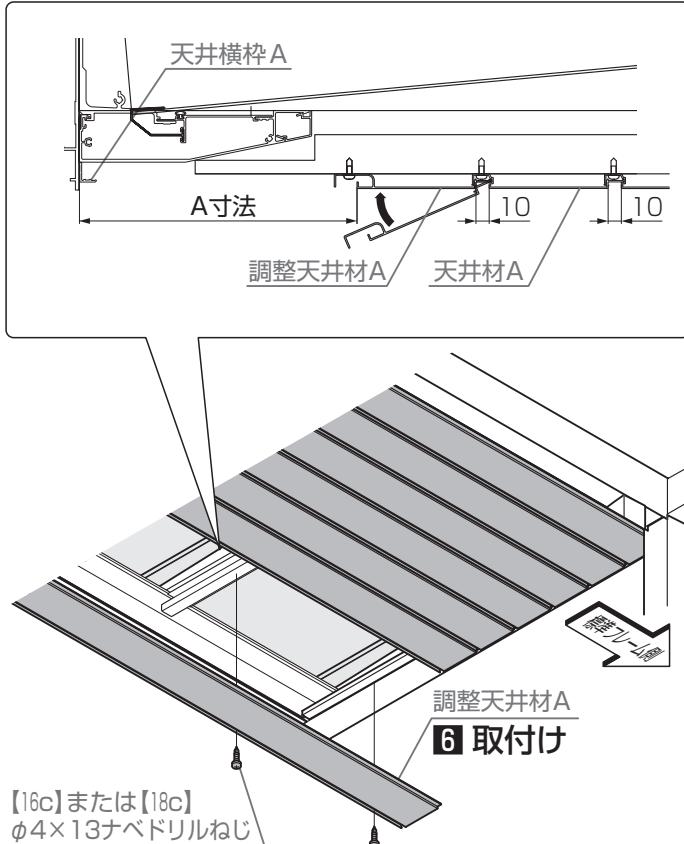


- ④: 天井材Aを【16c】または【18c】で取付け

- ⑤: 残りの天井材Aを繰返して取付け



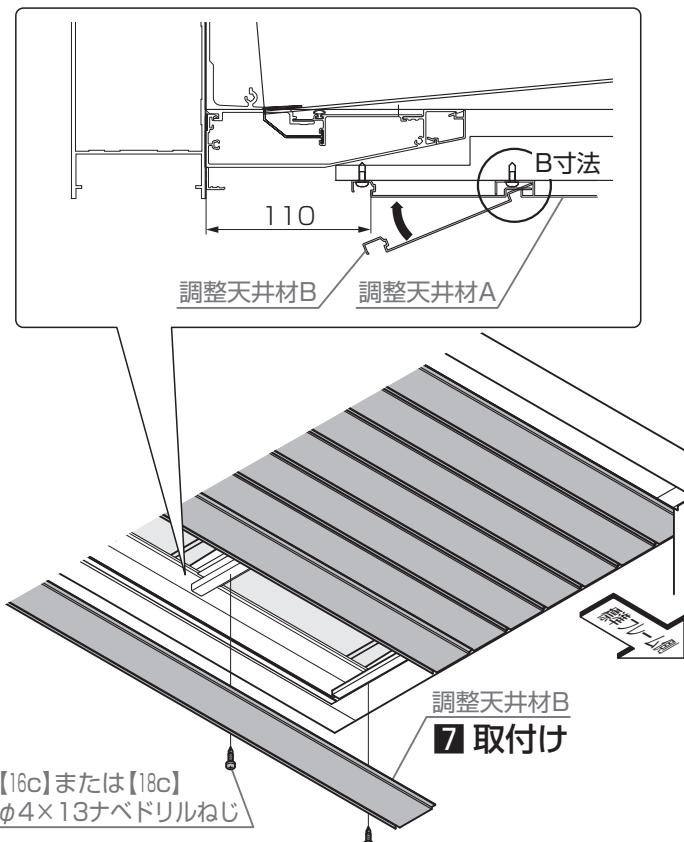
- ⑥: 調整天井材Aを【16c】または【18c】で取付け



施工上のお願い

- 調整天井材Aを取付けた後、フレームと調整天井材Aの寸法（A寸法）を測り、調整天井材Aと調整天井材Bの目地幅（B寸法）を決めてから取付けてください。

- ⑦: 調整天井材Bを【16c】または【18c】で取付け

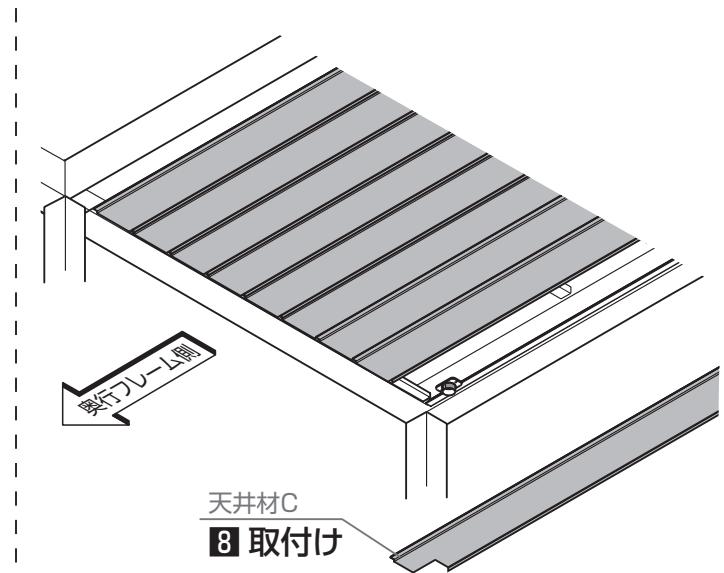
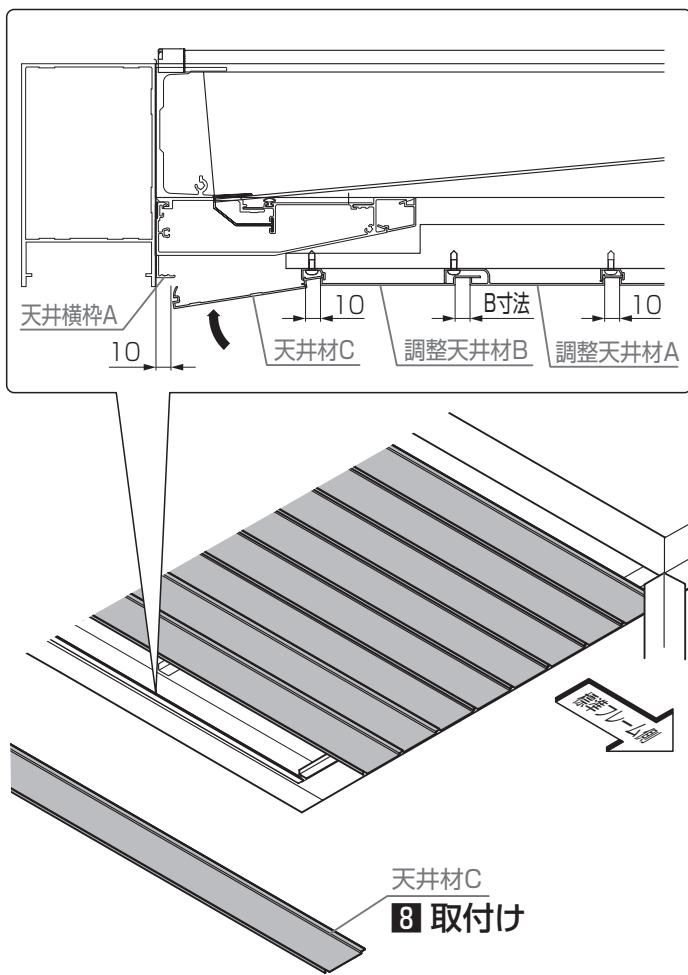


8 天井材の取付け

8-7 天井材の取付け

※図は天井材W10を示します。

8:天井材Cを取付け



施工上のお願い

- 天井材Cは〈8-3 部材の加工〉を参照し加工を行ってから取付けてください。

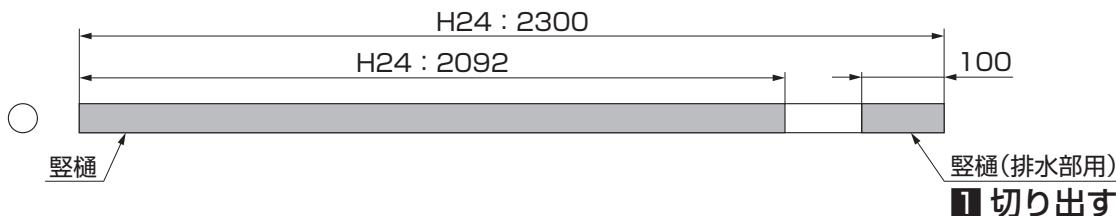
9 化粧樋の取付け

9-1 化粧樋の取付け

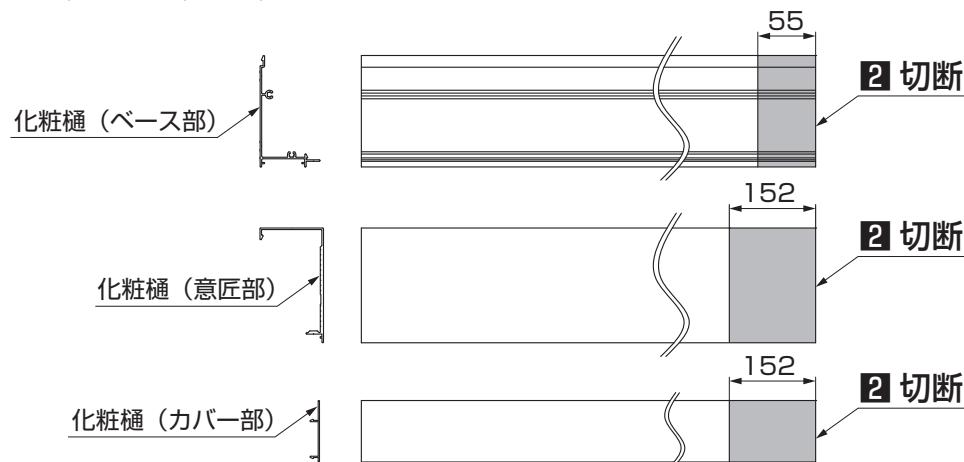
施工上のお願い

- 排水方法が[地上排水(Gウォール面材から排水)]または[地中排水]かによって手順がことなります。
 - ・[地上排水]の場合は、本取付説明書の以降の手順にしたがって施工を行ってください。
 - ・[地中排水]の場合は、現場の状況に合わせた長さの樋(現場手配)を使用し、必要に応じて切断および延長を行ってください。

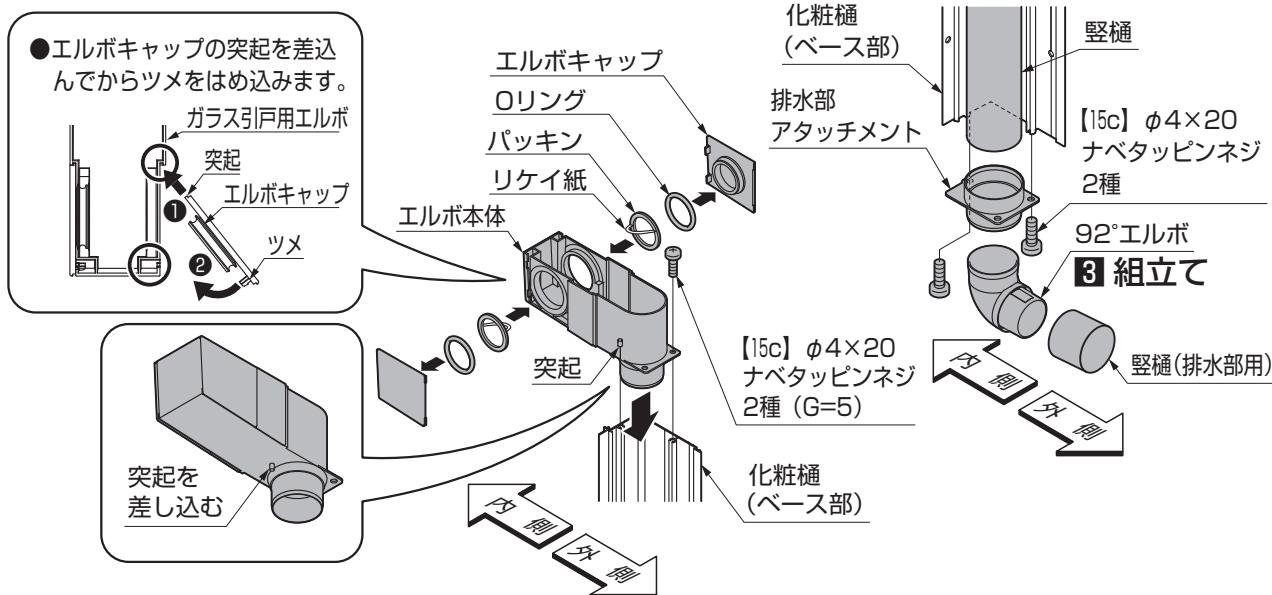
1: 樋の切断を行ってください。この時切斷した樋のあまり部分から樋(排水部用)を切り出す



2: 化粧樋(ベース部)と化粧樋(意匠部)を下記寸法で切断



3: エルボの組立て



① Oリングをエルボキャップに取付け、エルボパッキンをエルボ本体側面の円形の溝に合わせて貼付けてください。

② エルボキャップをエルボ本体エルボ本体に取付けてください。

③ ②で組み立てたエルボを化粧樋(ベース部)に【15c】で取付けてください。

④ 排水部アタッチメントを化粧樋(ベース部)に【15c】で取付け、排水部アタッチメントに92°エルボを取り付け、92°エルボの排水側に切り出した樋(排水部用)を取付けてください。

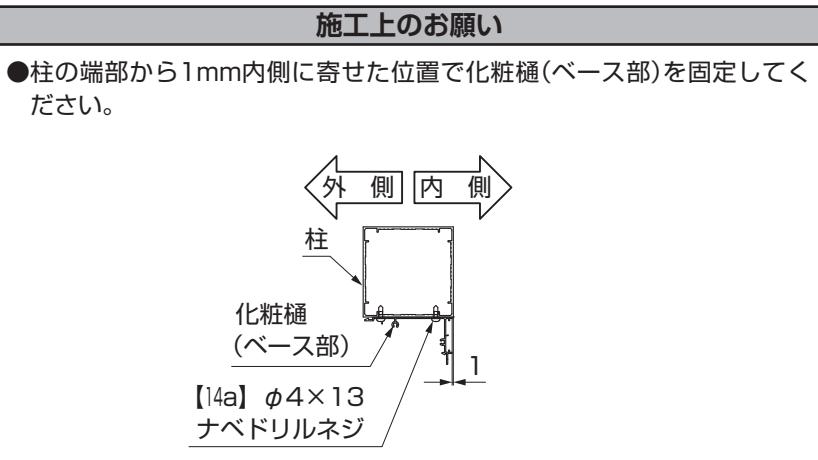
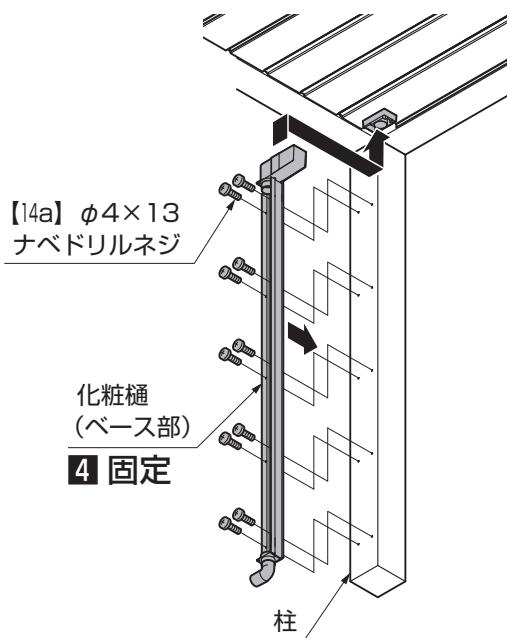
施工上のお願い

- エルボパッキンとOリングの取付け位置にズレがないか確認してください。
- エルボキャップがエルボ本体にすき間なくしっかりと取付いているか確認してください。

9 化粧樋の取付け

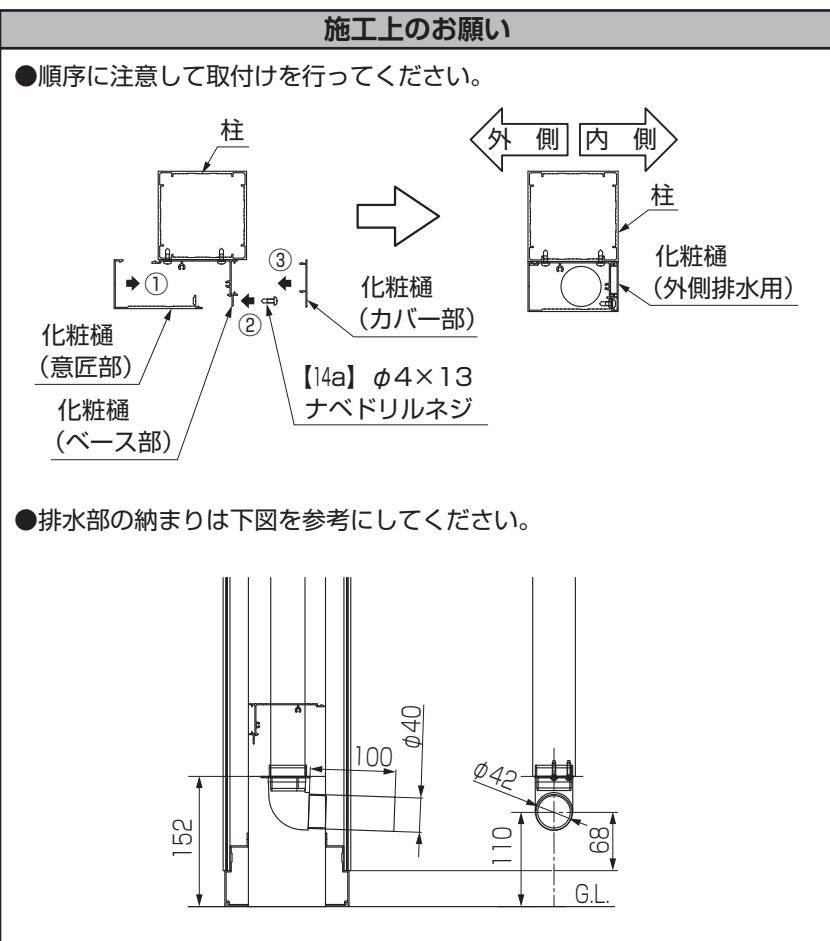
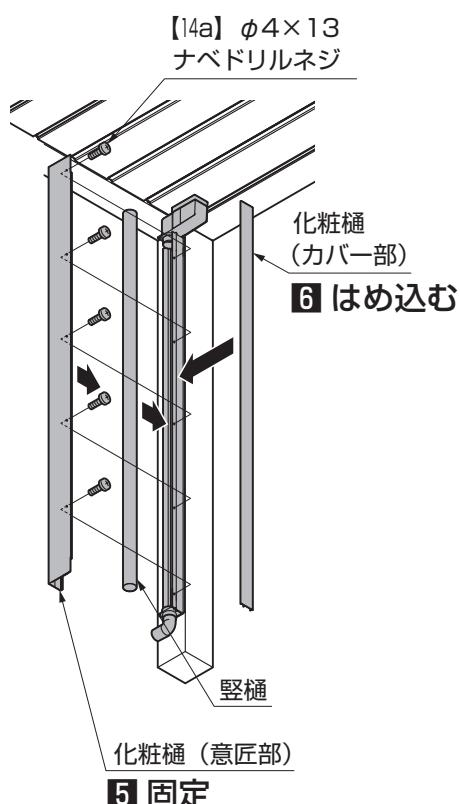
9-1 化粧樋の取付け

4:化粧樋(ベース部)を柱に【14a】で固定

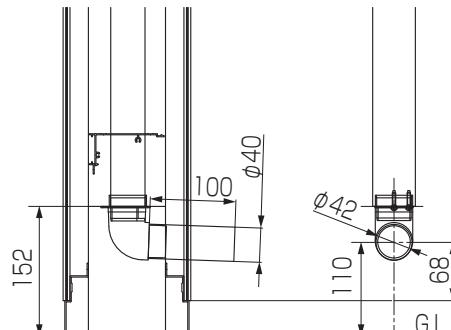


5:化粧樋(意匠部)を化粧樋(ベース部)にはめ込み、裏面を【14a】で固定

6:化粧樋(カバー部)を化粧樋(ベース部)にはめ込む



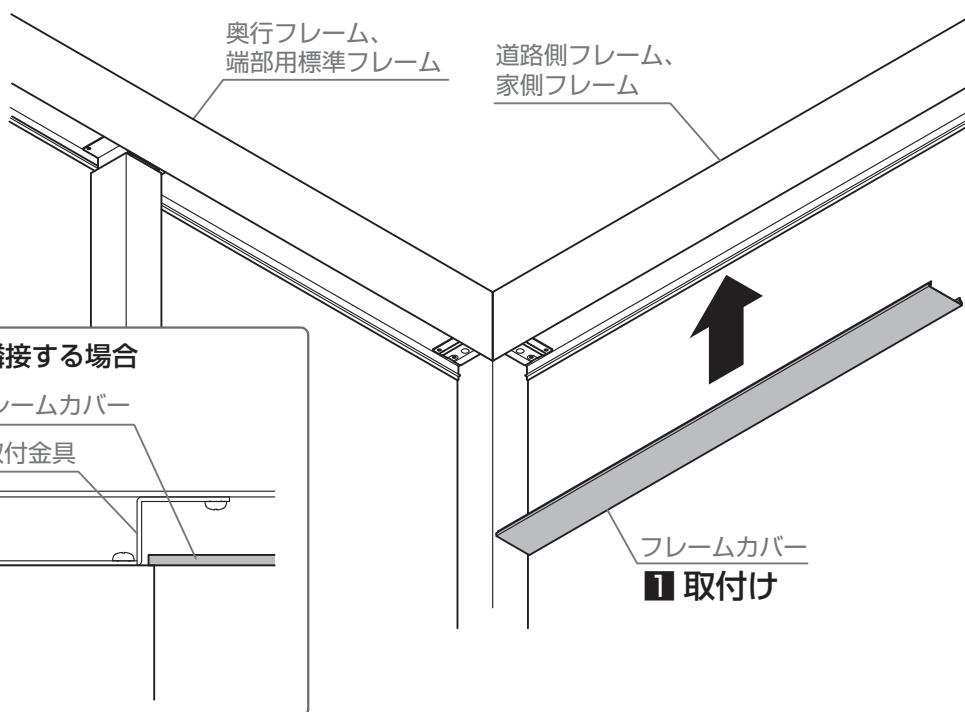
●排水部の納まりは下図を参考にしてください。



10 フレームカバーの取付け

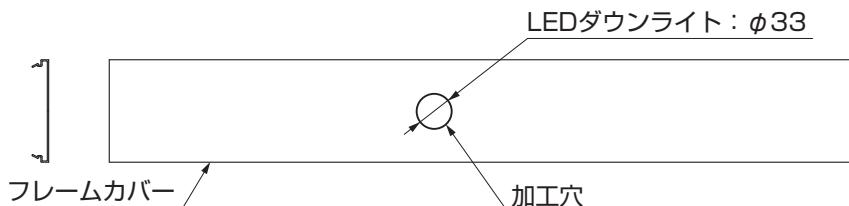
10-1 フレームカバーの取付け

①: フレームカバーを道路側フレームと家側フレームに取付け



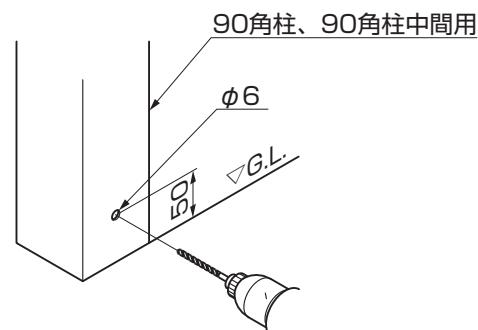
施工上のお願い

- フレームカバーは、各フレームの取付け位置の長さに合わせて切断して取付けてください。
(Gウォールを取付ける場所にはフレームカバーは取付けないでください。)
- 中央フレームのGウォールが取付かない場所にも同様にフレームカバーを取付けてください。
- 中間用柱が隣接する場合は、中間用柱1本につき実測値よりも1mm～2mm長く切断すると、隙間なく施工できます。
- フレームカバーにLEDダウンライトを取り付ける場合は、下図を参考に穴加工をしてください。
なお、LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。



11 水抜き穴加工

11-1 水抜き穴の加工



施工上のお願い

- 全ての柱に水抜き穴を加工してください。
- デザイン格子を取付ける場合は、デザイン格子にも同様に水抜き穴を加工してください。

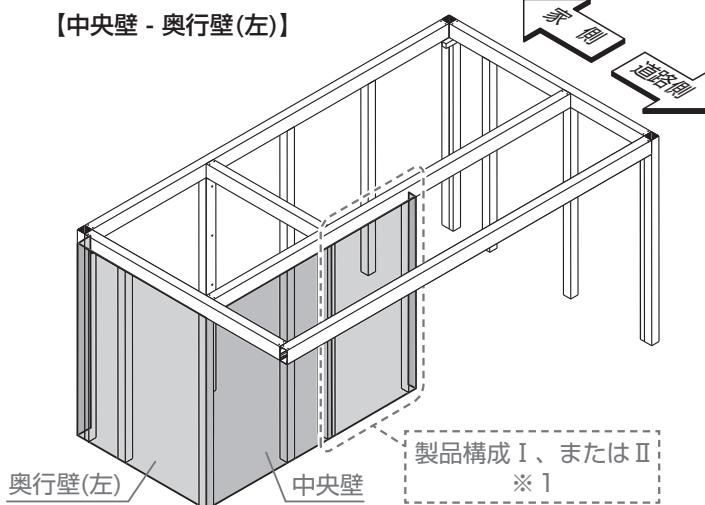
12 Gウォールの取付け

12-1 取付け工程の確認

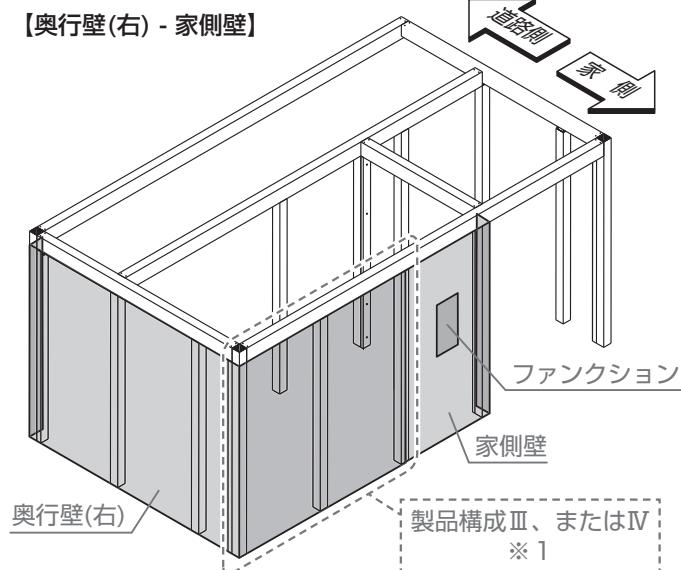
施工上のお願い

- 下表を確認し、本書または、シンメトリータイプ取付説明書【EXM-219】かGウォール取付説明書【EXM-017】の指定ページの施工を行ってください。
- 各部の呼称と製品の構成の詳細は、[5-1-1. 柱の建て込み]の“クランクインタイプの構成”を確認してください。
- シークレットキー(テンキー)を使用する場合はサイン(表札)取付ベースに取り付ける必要があります。
Gウォールを施工する前にシンメトリータイプ取付説明書(EXM-219)P.91を参照してください。

【中央壁 - 奥行壁(左)】



【奥行壁(右) - 家側壁】



①Gウォール下地部材の取付け

【中央壁 - 奥行壁(左)】

取付け部材/工程	製品構成 ※1	面材の仕様 ※2	取付説明
各部納まりの確認	-	-	本書 P.52~P.56
パネル取付部材	-	-	本書 P.57
巾木出隅コーナー部品	-	-	【EXM-017】 P.42
巾木	-	-	【EXM-017】 P.30, P.43, P.44
下枠	-	-	【EXM-017】 P.30, P.45
中間支柱	-	-	【EXM-017】 P.32, P.46
中間柱ふかし材	-	-	本書 P.58, 【EXM-017】 P.47
入隅コーナー部材	-	-	【EXM-219】 P.73
出隅コーナー部材	-	i	【EXM-017】 P.49
	-	ii または iii	【EXM-017】 P.49
上部出隅コーナー部品	-	-	【EXM-017】 P.49
端部ふかし材	I	-	本書 P.59
上部見切り材	-	-	本書 P.58, P.60, 【EXM-017】 P.50, P.51
端部小口セットA (見切り材)	-	i または ii	本書 P.58, 【EXM-017】 P.51
タイル用小口巾木	-	iii	【EXM-017】 P.52
端部小口セットB (ふかし材)	-	iii	本書 P.58, 【EXM-017】 P.52

【奥行壁(右) - 家側壁】

取付け部材/工程	製品構成 ※1	面材の仕様 ※2	取付説明
各部納まりの確認	-	-	本書 P.52~P.56
パネル取付部材	-	-	本書 P.57
巾木出隅コーナー部品	III	-	【EXM-017】 P.42
巾木	III	-	【EXM-017】 P.30, P.43, P.44
	IV	-	【EXM-017】 P.34
下枠	III	-	【EXM-017】 P.30, P.45
	IV	-	【EXM-017】 P.34
中間支柱	-	-	【EXM-017】 P.32, P.46
中間柱ふかし材	-	-	【EXM-017】 P.47
入隅コーナー部材	III	-	【EXM-017】 P.48
出隅コーナー部材	III	i	【EXM-017】 P.49
	III	ii または iii	【EXM-017】 P.49
上部出隅コーナー部品	III	-	【EXM-017】 P.49
上部見切り材	III	-	本書 P.60, 【EXM-017】 P.50, P.51
端部見切り材	IV	-	本書 P.60, 【EXM-017】 P.38, P.40
端部小口セットA (見切り材)	-	i または ii	【EXM-017】 P.51
タイル用小口巾木	-	iii	【EXM-017】 P.52
端部小口セットB (ふかし材)	-	iii	【EXM-017】 P.52
スマート宅配ポスト	-	-	【EXM-017】 P.61~P.64
ボックスセットKN	-	-	【EXM-017】 P.61~P.64
サイン	-	-	【EXM-017】 P.60, P.89
インターホン	-	-	【EXM-017】 P.90

※1) クランクインタイプの製品構成については下表を参照してください

I	中央壁をGウォールW05、またはW10延長する
II	中央壁を追加しない、またはデザイン格子、鋳物パネルを取付ける
III	家側壁の該当部分にGウォールを取付ける
IV	家側壁の該当部分にデザイン格子、または鋳物パネルを取付ける

※2) Gウォール面材の仕様については下表を参照してください

i	ラッピングボード仕様の場合
ii	セラミックタイル仕様で、小口が見切り材納まりの場合
iii	セラミックタイル仕様で、小口がタイル納まりの場合

②ウォール面材の取付け

取付け部材/工程	面材の仕様 ※2	取付説明
両面テープ	i	【EXM-017】 P.57, P.67
ラッピングボード	i	【EXM-017】 P.67, P.74
タイル用下地ボード	ii または iii	【EXM-017】 P.67, P.73
セラミックタイル	ii または iii	本書 P.60, 【EXM-017】 P.75~P.88
シリング	-	【EXM-017】 P.91

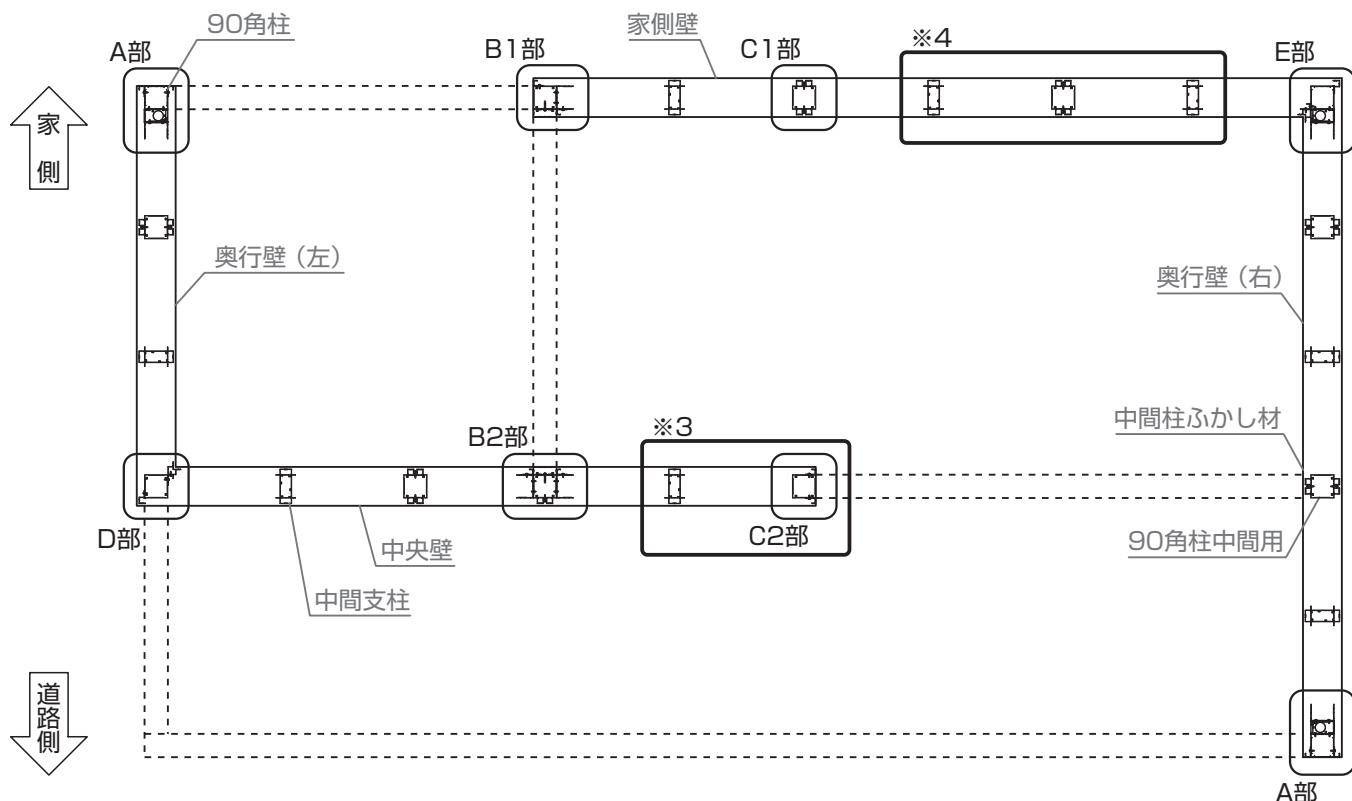
12 Gウォールの取付け

12-2 Gウォール各部の納まり確認

12-2-1 全体平面図

施工上のお願い

- 製品構成(I~IV)については、〈12-1 取付け工程の確認〉の※1を参照してください。
- 面材の仕様(i~iii)については、〈12-1 取付け工程の確認〉の※2を参照してください。



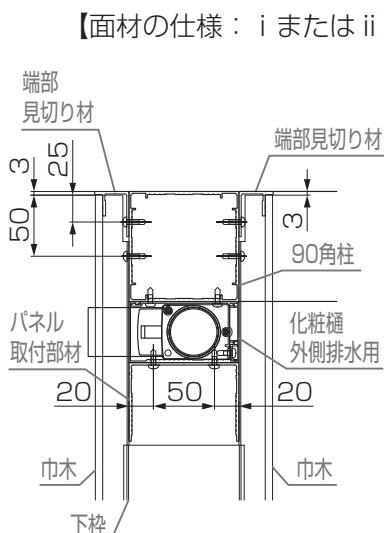
※3 〈12-1 取付け工程の確認〉で製品構成IIの場合、枠内の90角柱中間用と中間支柱の取付けはありません。

※4 〈12-1 取付け工程の確認〉で製品構成IVの場合、枠内の90角柱中間用と中間支柱の取付けはありません。

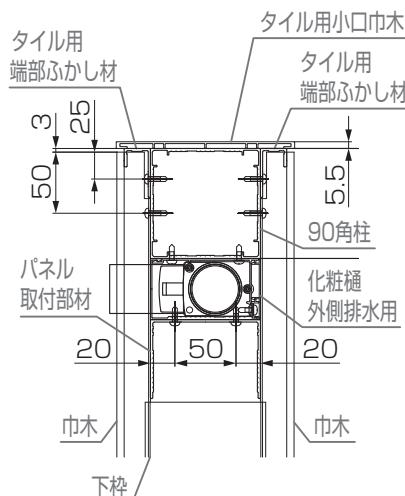
12-2-2 各部の詳細図

■ A部詳細図

● 下部の納まり

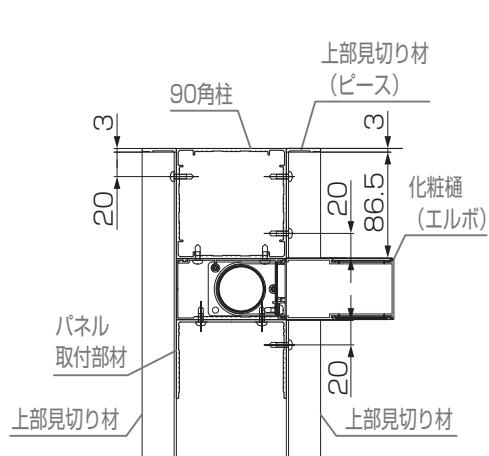


【面材の仕様 : iii】



● 上部の納まり

【面材の仕様 : i ~ iii 共通】



12 Gウォールの取付け

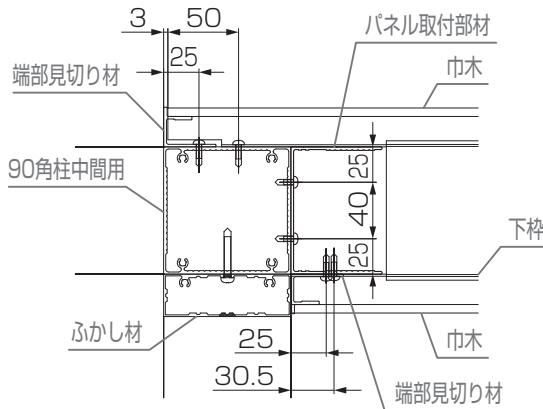
12-2 Gウォール各部の納まり確認

12-2-2 各部の詳細図

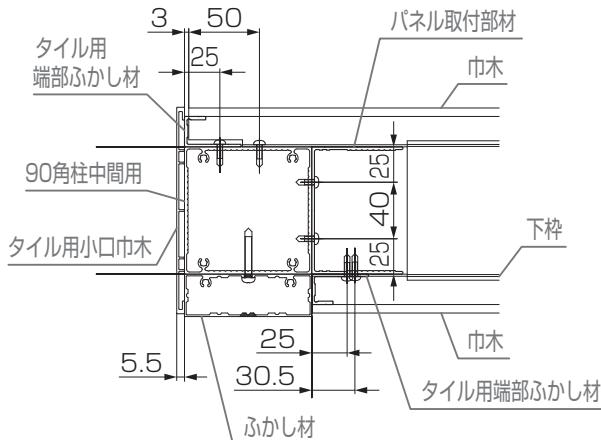
■B1部詳細図

●下部の納まり

【面材の仕様： i または ii】

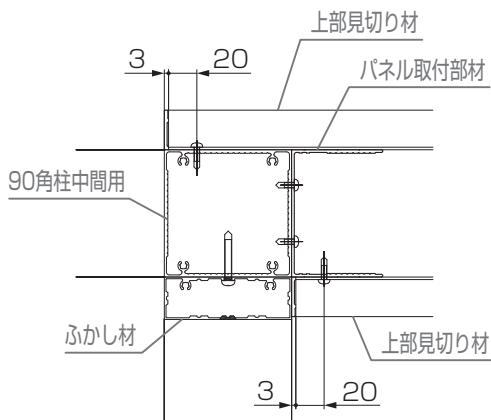


【面材の仕様： iii】



●上部の納まり

【面材の仕様： i ~ iii 共通】

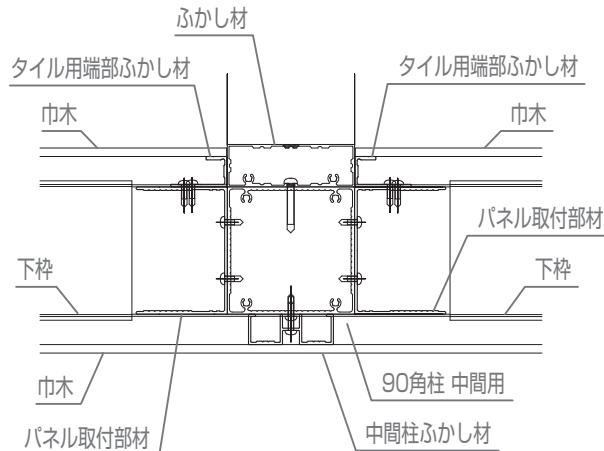


■B2部詳細図

【製品の構成： I】

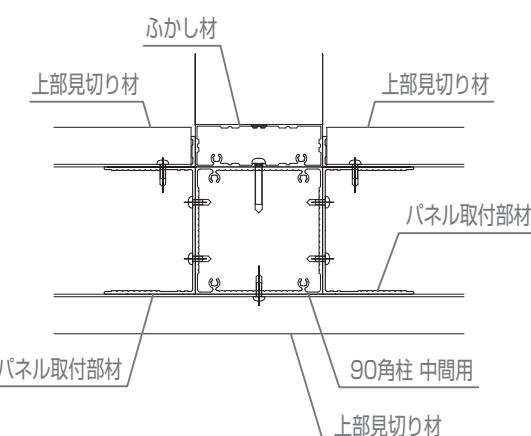
●下部の納まり

【面材の仕様： i ~ iii 共通】



●上部の納まり

【面材の仕様： i ~ iii 共通】



【製品の構成： II】

※B1部詳細図を参照してください。

12 Gウォールの取付け

12-2 Gウォール各部の納まり確認

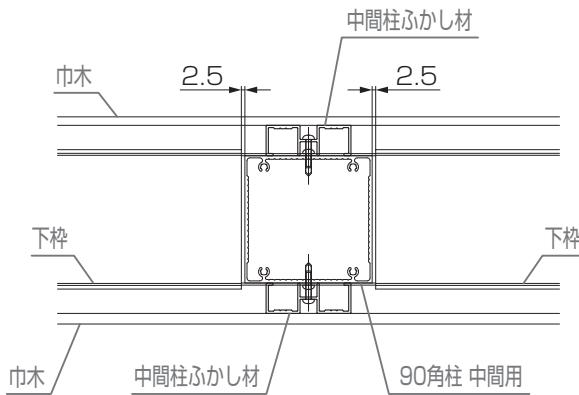
12-2-2 各部の詳細図

■C1部詳細図

【製品の構成：Ⅲ】

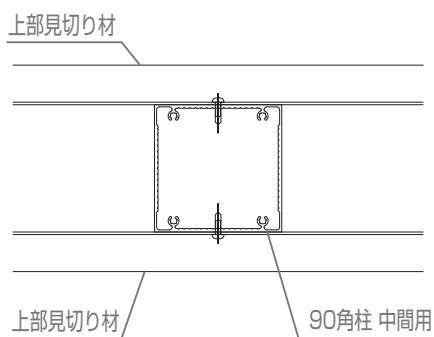
●下部の納まり

【面材の仕様： i ~ iii 共通】



●上部の納まり

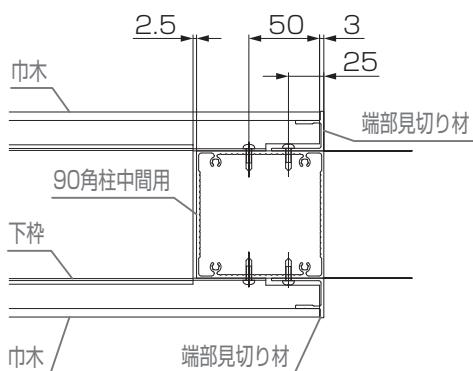
【面材の仕様： i ~ iii 共通】



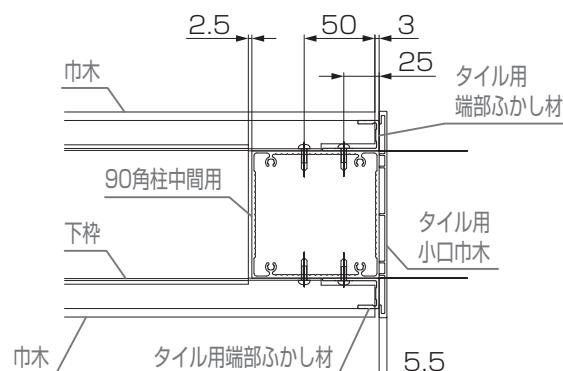
【製品の構成：Ⅳ】

●下部の納まり

【面材の仕様： i または ii】

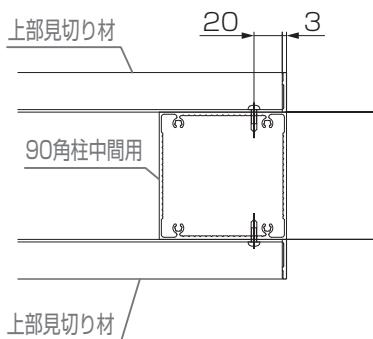


【面材の仕様： iii】



●上部の納まり

【面材の仕様： i ~ iii 共通】



■C2部詳細図

【製品の構成： I】

※C1部詳細図の【製品の構成：IV】を参照ください。

12 Gウォールの取付け

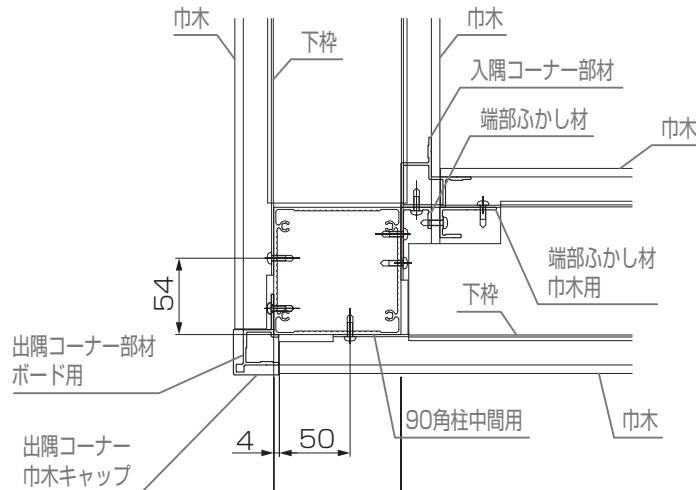
12-2 Gウォール各部の納まり確認

12-2-2 各部の詳細図

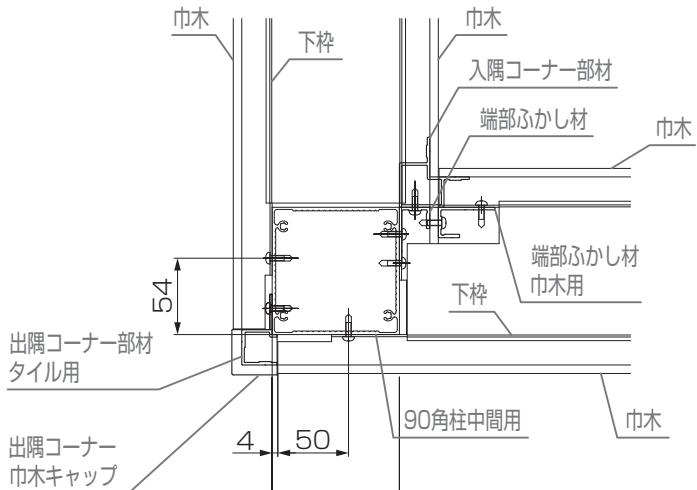
■D部詳細図

●下部の納まり

【面材の仕様： i】



【面材の仕様： ii または iii】

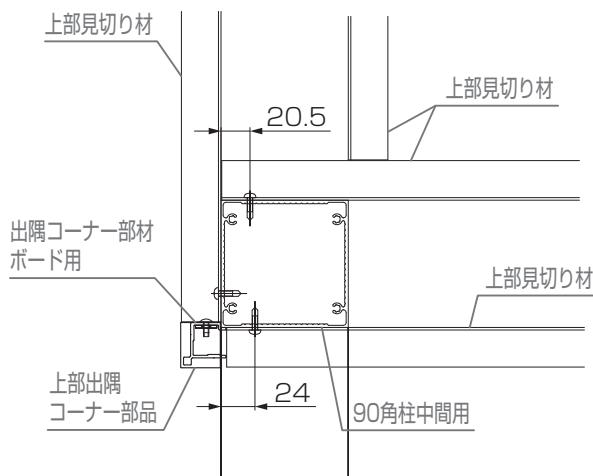


施工上のお願い

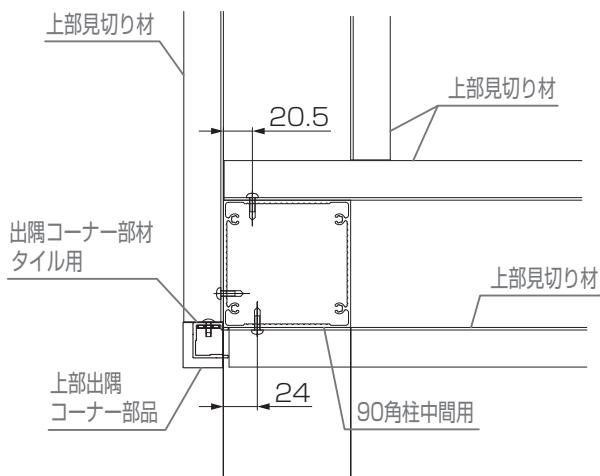
- 下枠は切り欠き加工を行ってから取付けてください。

●上部の納まり

【面材の仕様： i】



【面材の仕様： ii または iii】



施工上のお願い

- 出隅コーナー部材と上部出隅コーナー部品は切り欠き加工を行ってから取付けてください。

12 Gウォールの取付け

12-2 Gウォール各部の納まり確認

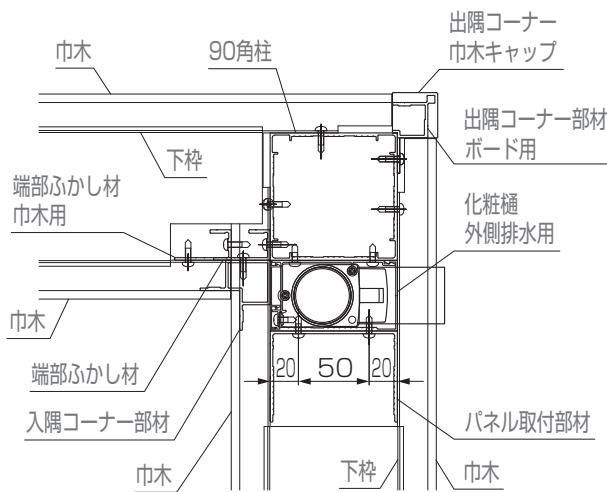
12-2-2 各部の詳細図

■E部詳細図

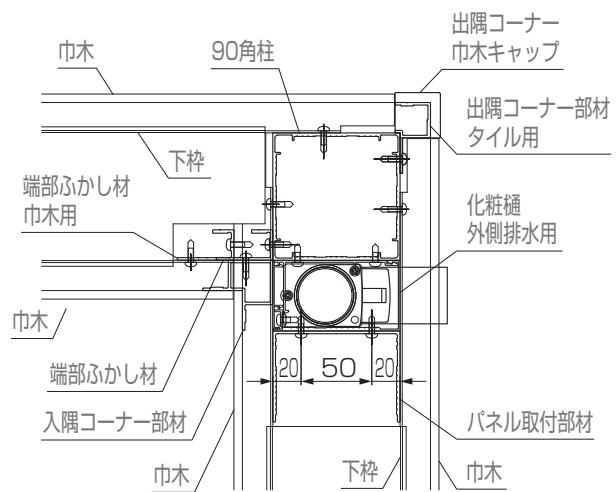
[製品の構成：Ⅲ]

●下部の納まり

【面材の仕様：i】



【面材の仕様：iiまたはiii】

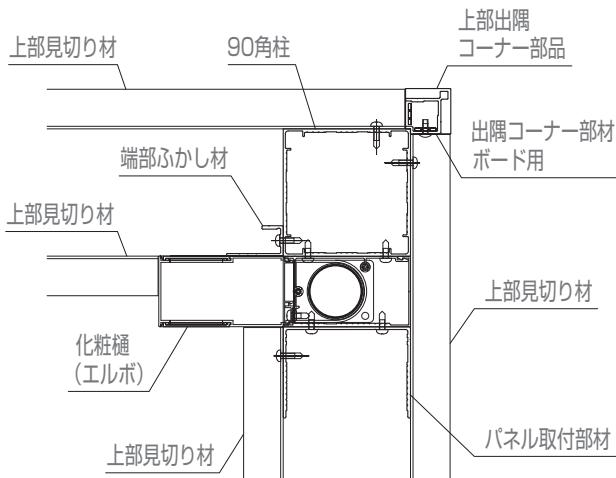


施工上のお願い

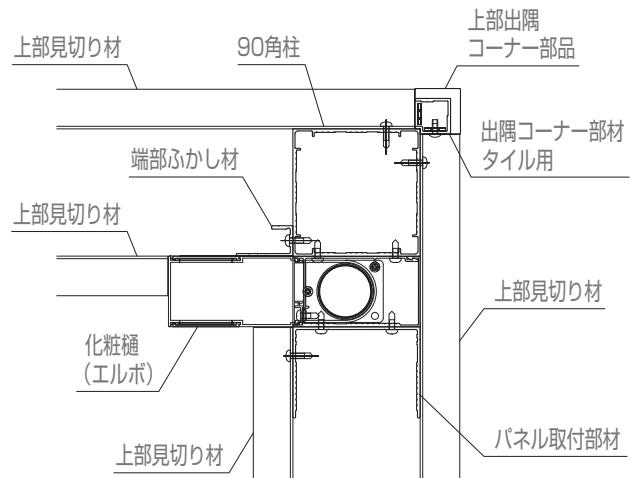
- 下枠は切り欠き加工を行ってから取付けてください。

●上部の納まり

【面材の仕様：i】



【面材の仕様：iiまたはiii】



[製品の構成：IV]

※A部詳細図を参照してください。

12-3 Gウォール下地部材の取付け

12-3-1 パネル取付け部材の取付け

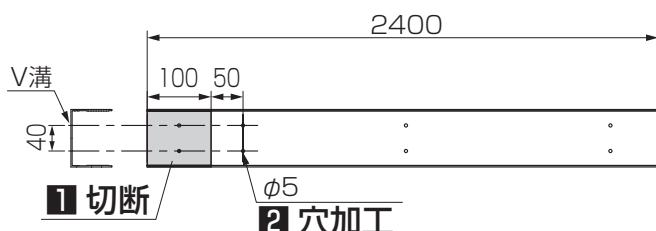
①:パネル取付け部材を下記寸法で切断

②:パネル取付け部材にφ5の穴加工

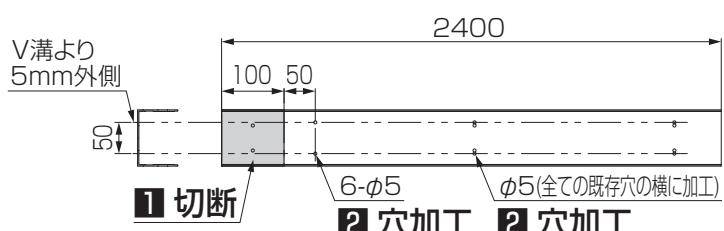
施工上のお願い

- パネル取付け部材の取付け先によって穴加工の位置がことなります。取付け先を確認してから加工を行ってください。

【柱取付け用】

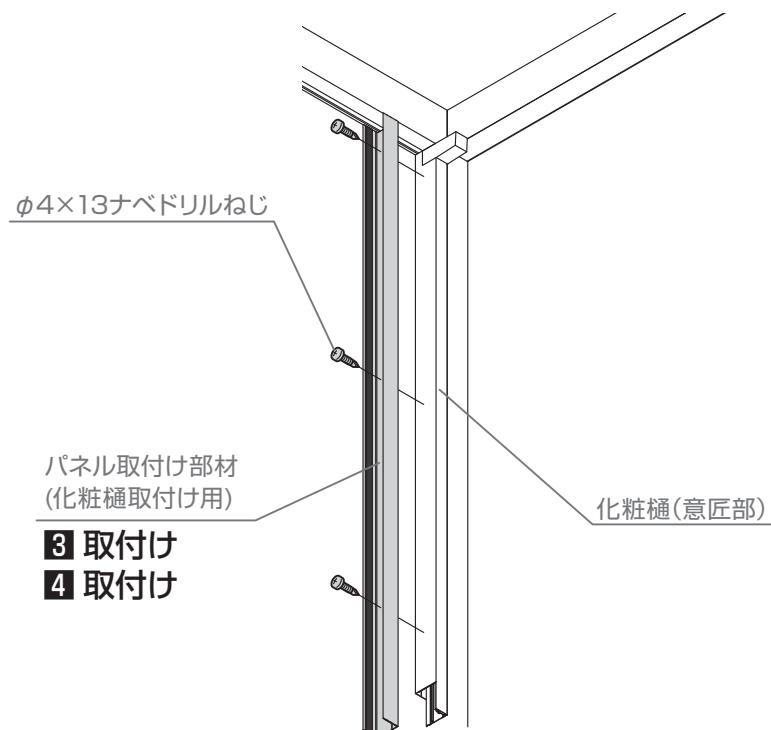


【化粧樋取付け用】



③:パネル取付け部材(柱取付け用)を90角柱、または90角柱中間用にφ4×13ナベドリルねじで取付け

④:パネル取付け部材(化粧樋取付け用)を化粧樋(意匠部)にφ4×13ナベドリルねじで取付け

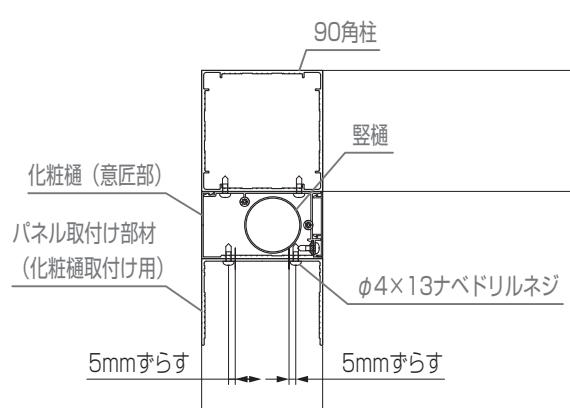


施工上のお願い

●パネル取付け部材はG.L.からフレーム下まで柱と面一になるように取付けてください。

●パネル取付け部材(化粧樋取付け用)は既存の取付穴から5mm外側にずらした位置に穴加工をして取り付けてください。

(既存の取付穴で固定すると化粧樋内部の豊樋を傷つけることがあります。)

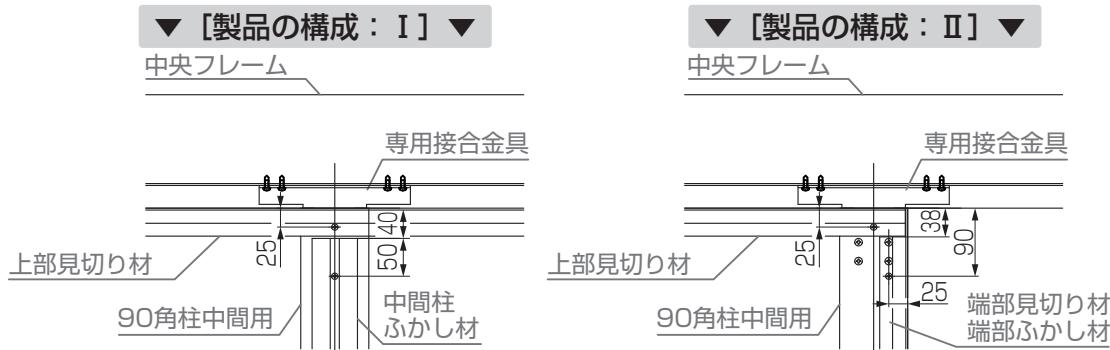


12-3 Gウォール下地部材の取付け

12-3-2 中央壁構成部材の加工

施工上のお願い

- 「12-2-1 全体平面図」のB2部へGウォール下地部材を取付ける際に、部材が専用接合金具とその固定ねじに干渉しないように以下の加工を行ってください。

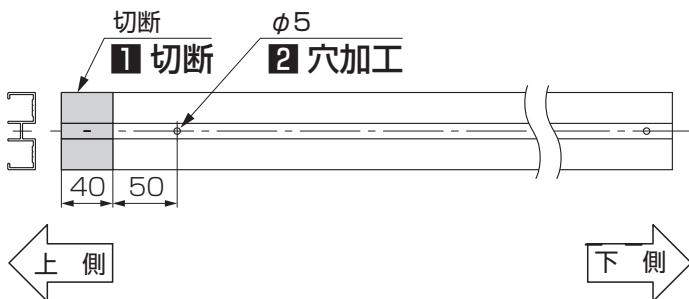


- [製品の構成：I] の場合は、中間柱ふかし材の上側に加工してください。
- [製品の構成：II] の場合は、端部見切り材、または端部ふかし材の上側に加工してください。
- 上部見切り材の切断寸法は現場の納まりに合わせて決定してください。

▼ [製品の構成：I] の場合 ▼

- 1: 端部ふかし材を下記寸法で切断
- 2: 端部ふかし材に $\phi 5$ の穴加工

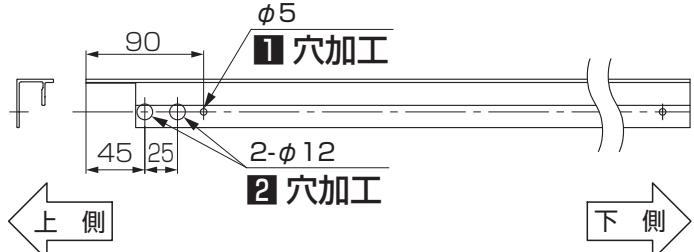
■中間柱ふかし材



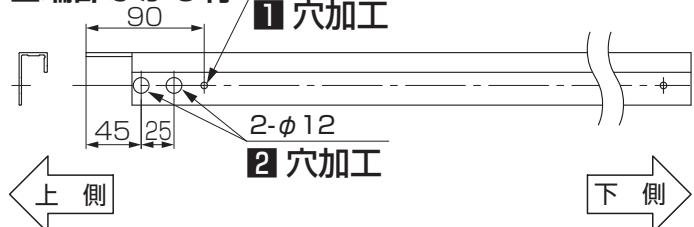
▼ [製品の構成：II] の場合 ▼

- 1: 端部見切り材、または端部ふかし材の上側に $\phi 5$ の穴加工
- 2: 端部見切り材、または端部ふかし材の上側に $\phi 12$ の穴加工

■端部見切り材



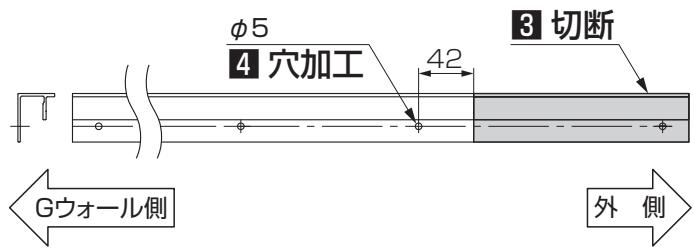
■端部ふかし材



- 3: 上部見切り材の外側を切断

- 4: 上部見切り材に $\phi 5$ の穴加工

■上部見切り材

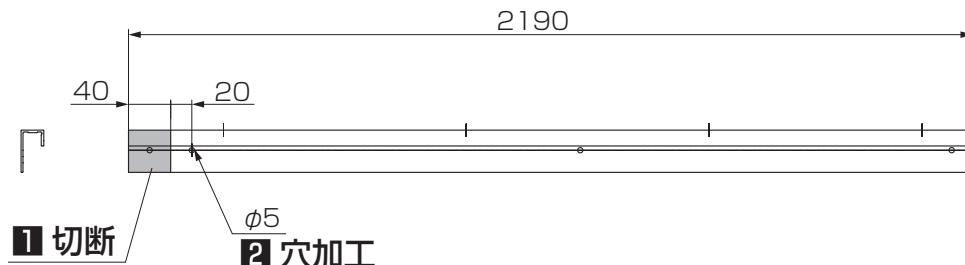


12-3 Gウォール下地部材の取付け

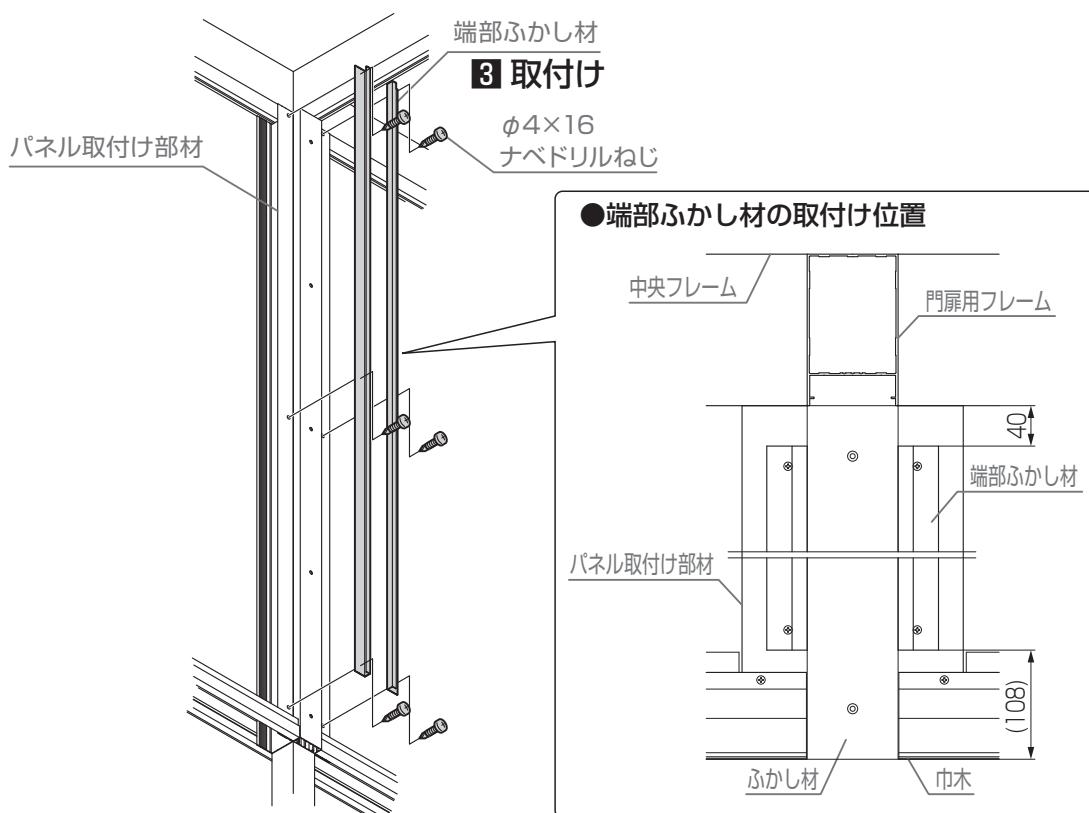
12-3-3 端部ふかし材の取付け

①:端部ふかし材を下記寸法で切断

②:端部ふかし材にφ5の穴加工



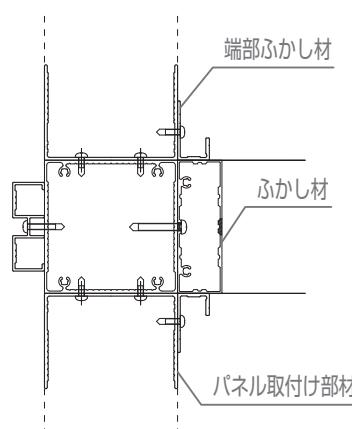
③:端部ふかし材をパネル取付け部材にφ4×16ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

●端部ふかし材の向きに注意し、端部ふかし材とふかし材との間に隙間が生じないように取付けてください。

●端部ふかし材はフレーム下から40mmの位置に取付けてください。



12 Gウォールの取付け

12-3 Gウォール下地部材の取付け

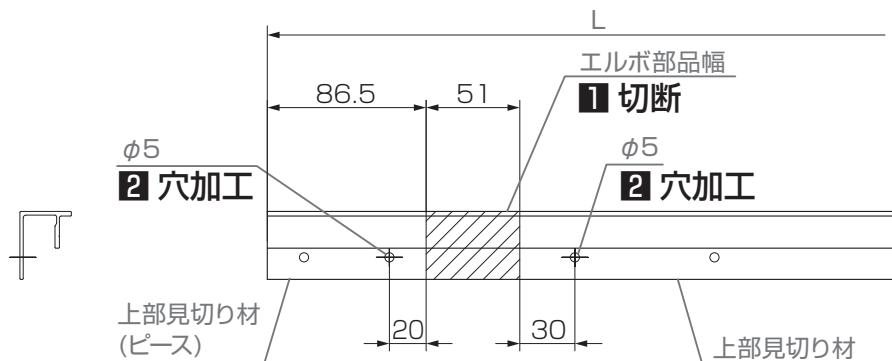
12-3-4 上部見切り材の取付け

施工上のお願い

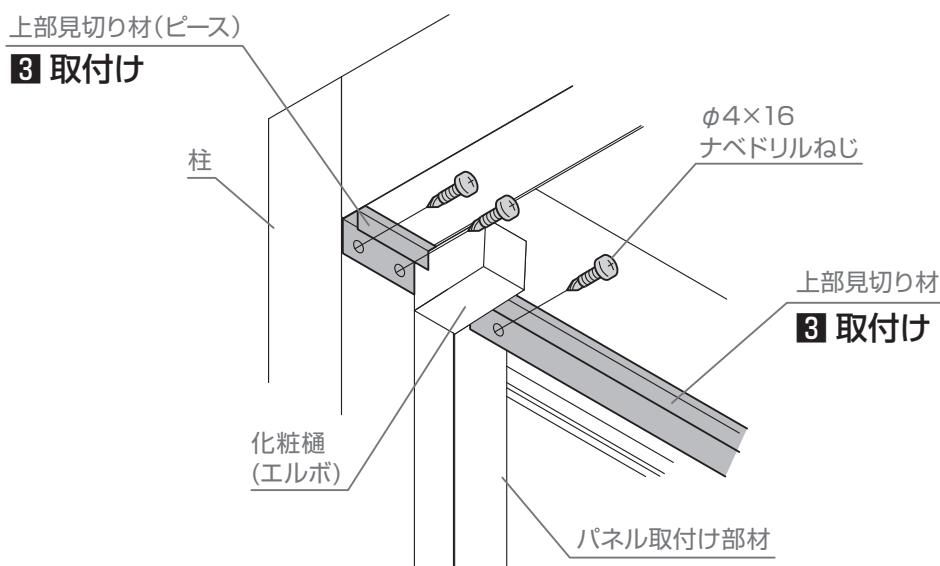
- [12-2] Gウォール各部の納まり確認のA部詳細図の化粧樋(エルボ)周りの取付け説明になります。
それ以外の上部見切り材の取付けについては、Gウォール取付説明書【EXM-017】を参照してください。

1:上部見切り材を下記寸法で切断

2:上部見切り材にφ5の穴加工



3:上部見切り材(ピース)を柱に、上部見切り材をパネル取付け部材、中間支柱にφ4×16ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

- 上部見切り材は、フレームの下端と面一になるように取付けてください。
- 上部見切り材(ピース)は、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

12-4 Gウォール面材の取付け

施工上のお願い

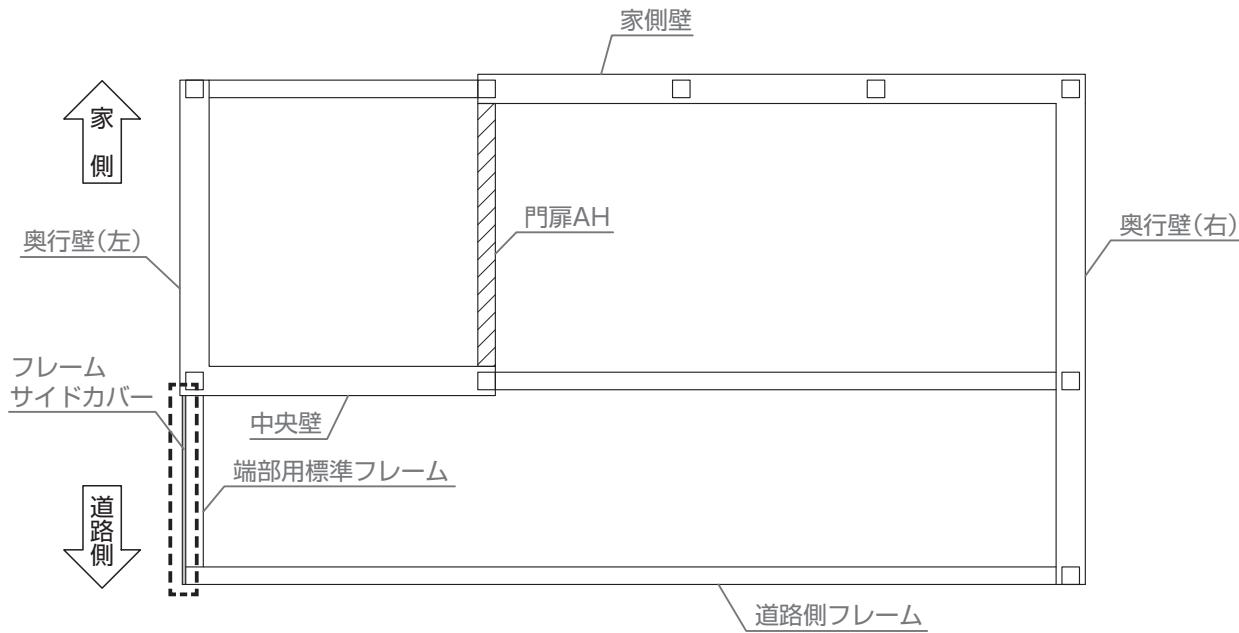
- Gウォールの面材がセラミックタイル仕様の場合は、Gウォールに隣接する鋳物パネルを固定アングルと埋込脚から一時的に取り外してから面材の取付けを行ってください。
面材の取付け～仕上げまで完了後に鋳物パネルを再度取り付けてください。

13 フレームサイドカバーの取付け

13-1 フレームサイドカバーの取付け

施工上のお願い

- 下図の取付位置に合わせてフレームサイドカバーを切断し、取付説明書[E293 Gフレームサイドカバー]を参照して取付けてください。



- フレームサイドカバーとフレームの境目にシーリング処理をしてください。

14 門扉の取付け

施工上のお願い

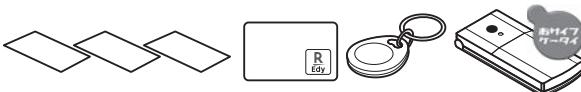
- 「プラスG エントランス シンメトリーイタイプ 取付説明書 (EXM-219)」を参照して取付けてください。

14-1 電気錠の登録および設定

14-1-1 カードキーの登録方法

■登録の前に

- 登録したいカードキー・タグキー（以下、「タグキー」は省略）をすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）
- 新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書（EXM-178）をご参照ください。
- カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



施工上のお願い

●【おサイフケータイの場合】

楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。
楽天Edyについての詳細は楽天Edyオフィシャルサイトをご確認ください。
<https://edy.rakuten.co.jp/>
※おサイフケータイ®及びおサイフケータイ®ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
※「楽天Edy(ラクテンエディ)」は楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

■カードキーの登録方法

1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

施工上のお願い

●手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

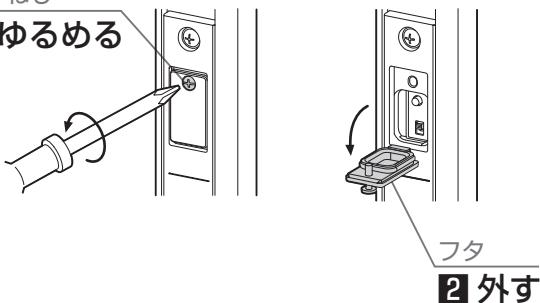
2:フタを外す

3:登録ボタンを1秒以上押す

※離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

フタねじ

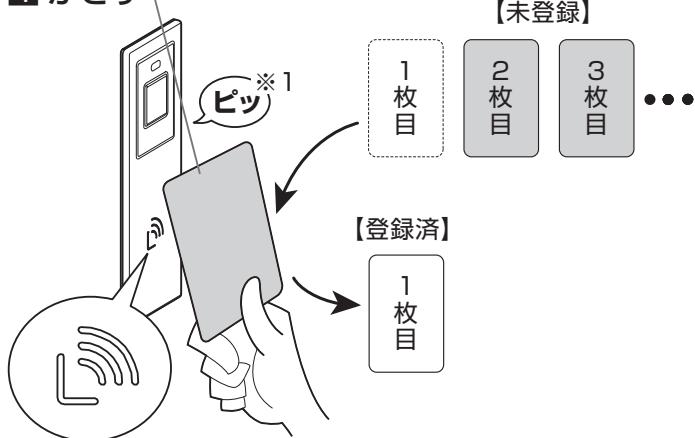
1 ゆるめる



4:1枚ずつカードキー「」マークにかざす

カードキー

4 かざす



補足

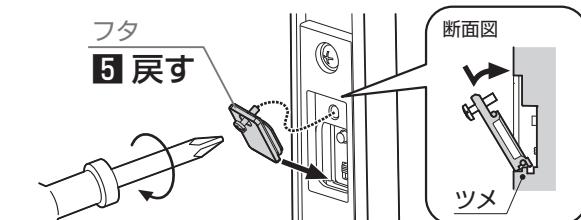
- 登録の都度、登録済み枚数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録枚数は10枚です。
- 続けてリモコンキーの登録もできます。詳しくは「リモコンキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのカードキーを複数の門扉（無制限）に登録できます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録枚数分「ピッ音」が鳴ります。



5:フタを元に戻す

施工上のお願い

●下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



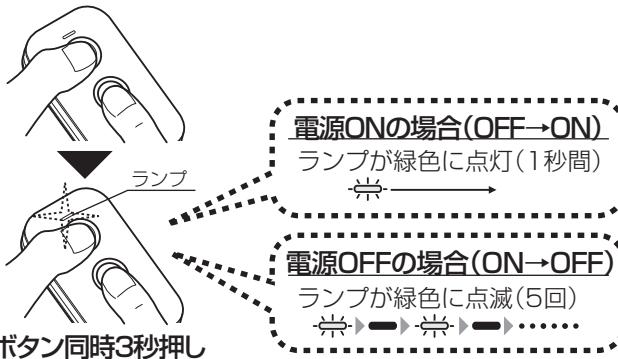
14 門扉の取付け

14-1 電気錠の登録および設定（つづき）

14-1-2 リモコンキーの登録方法

■リモコンの電源ON/OFFについて

- 2つのボタン同時長押しでリモコンの電源をON/OFFできます。



施工上のお願い

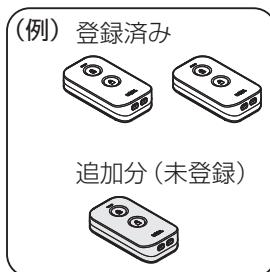
- 電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
- 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

■登録の前に

- 登録したいリモコンをすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）

*新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されます、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書(EXM-178)をご参照ください。

*リモコンの登録だけでは、カードキー・スマートフォンの登録データは消去されません。



- リモコンのボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。

*OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



■リモコンキーの登録方法

- 1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

- 2:フタを外す

フタねじ

- 1 ゆるめる

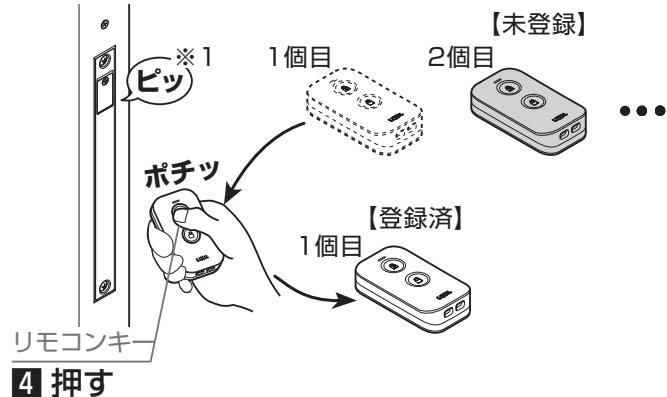


- 3:登録ボタンを1秒以上押す

*離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



- 4:1個ずつリモコンキーのボタンを押す



- 4 押す

補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
- 続けてカードキーの登録もできます。詳しくは「カードキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのリモコンに最大10台の門扉を登録できます。11台目の門扉を登録すると、リモコンから1台目の門扉登録情報が自動的に削除されます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録個数分「ピッ音」が鳴ります。

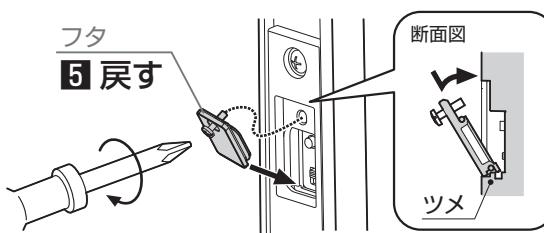


*登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

- 5:フタを元に戻す

施工上のお願い

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



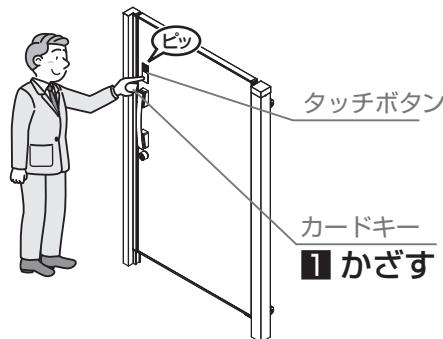
14 門扉の取付け

14-1 電気錠の登録および設定（つづき）

14-1-3 | 施解錠の確認

■カードキーの場合

1:タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざす

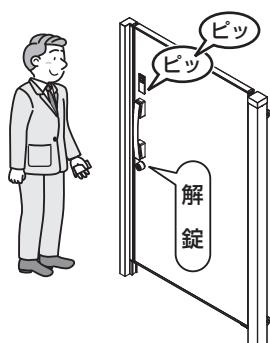


■リモコンキーの場合

1:リモコンキーを所持した状態で、タッチボタンを押す



2:カギが施解錠することを確認

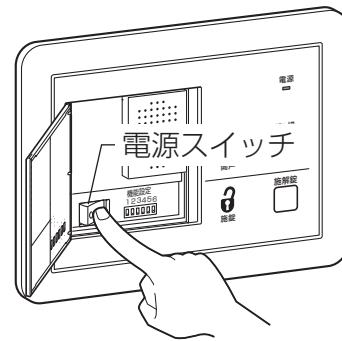


施工上のお願い

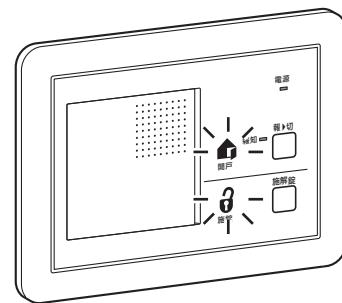
- エラー音、エラー表示が点く場合は、「14-2 門扉のブザー音と表示について」を参考に対処してください。

14-1-4 | コントローラーユニットの動作確認

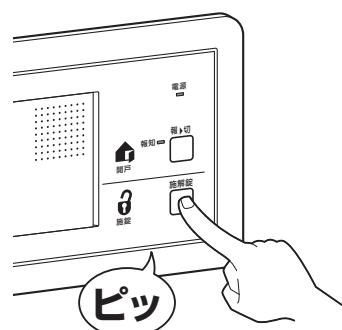
1:コントローラーユニットの電源を入れる



2:開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認



3:門扉を閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認



施工上のお願い

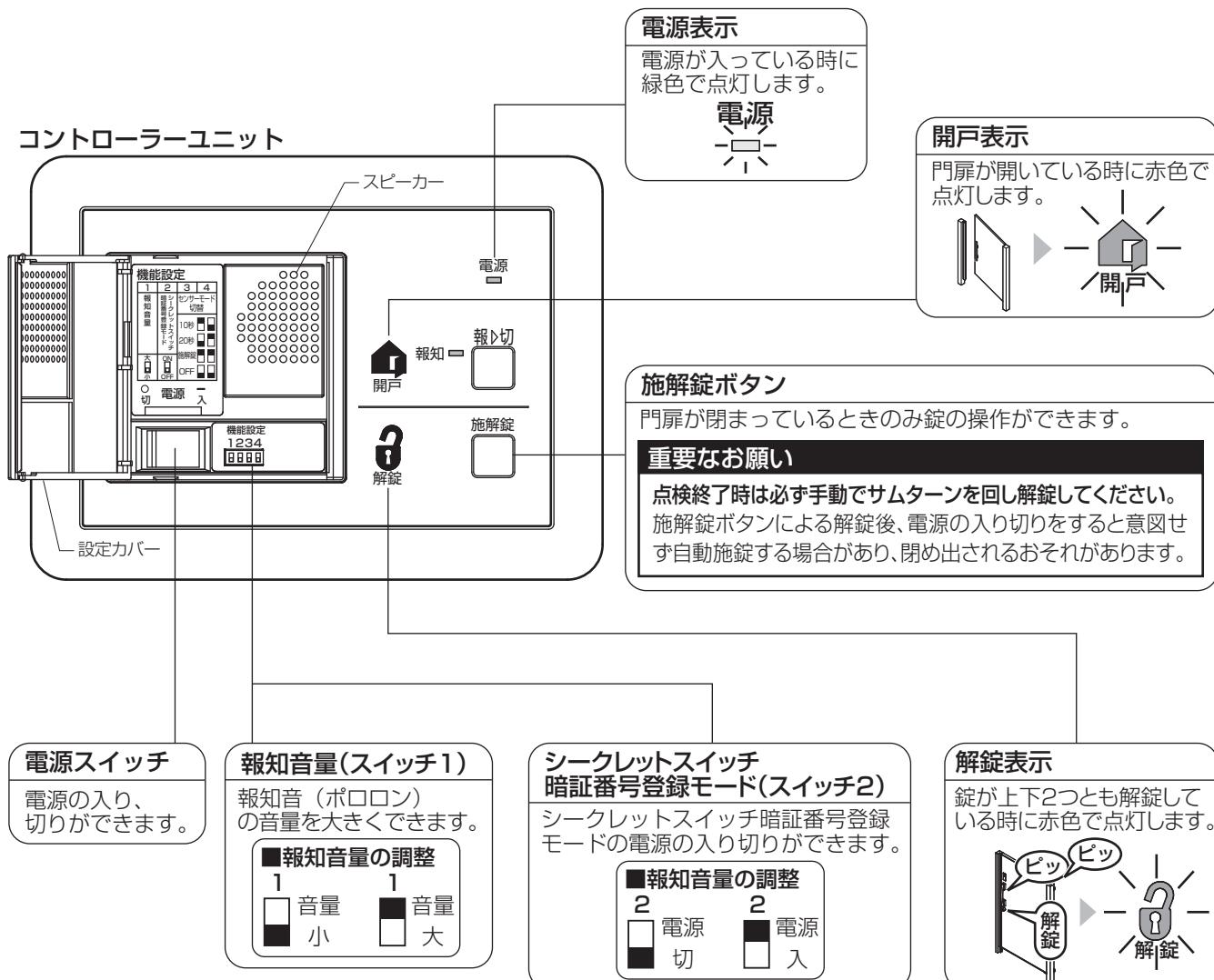
- 入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

施工上のお願い

- エラー音、エラー表示が点く場合は、「14-3 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について」を参考に対処してください。

14-1 電気錠の登録および設定（つづき）

14-1-4 | コントローラーユニットの動作確認（つづき）



14 門扉の取付け

14-1 電気錠の登録および設定（つづき）

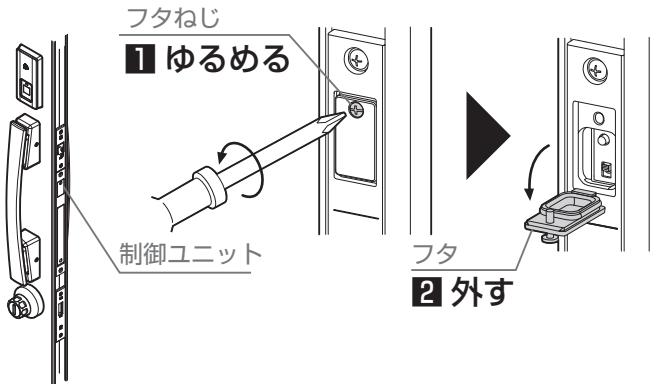
14-1-5 | 自動施錠ON/OFFの切替方法

1:制御ユニットのフタのねじを緩める

施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

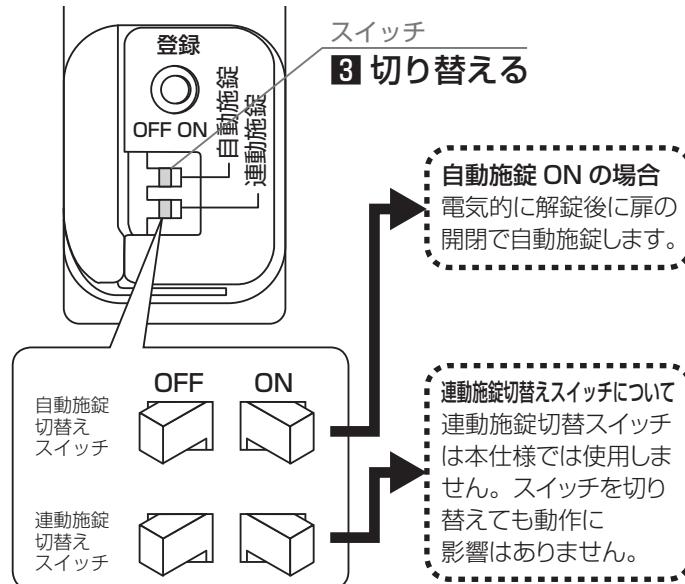
2:フタを外す



3:スイッチを切り替える

施工上のお願い

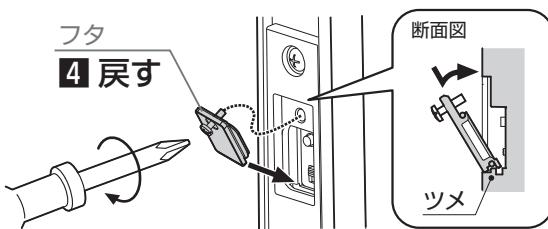
- スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。
- キーを一度も登録したことがない場合、下記機能はすべて作動しません。



4:フタを元に戻す

施工上のお願い

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

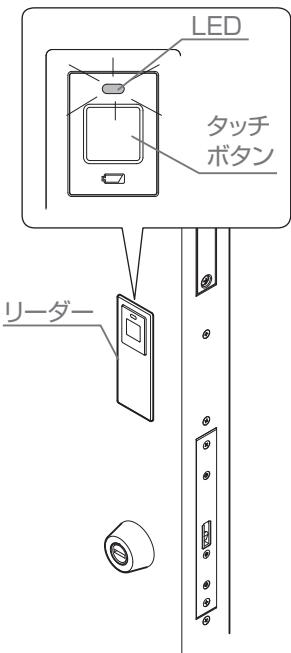


14 門扉の取付け

14-2 門扉のブザー音と表示について

14-2-1 | 正常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅（5秒間） 	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5秒間） 	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅一消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1秒間） 	施錠できました。
ピッピッ ●●	赤色で点灯（1秒間） 	解錠できました。
ピー ●	緑→赤色で交互に点灯繰り返し 	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯一消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで） 	ファームウェアアップデート状態へ入りました。



14-2-2 | 異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●	橙色で点滅（1.5秒間） 	門扉が開いた状態で施錠操作が行われました。	門扉を閉めてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		電動サムターン作動途中で門扉が開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてから門扉を閉めてください。
ピピ × 8 ●● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	橙色点滅（2.5秒間） 	錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	門扉が確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付け調整を行ってください。 →（お施主さま用保存版 取扱い説明書）
ピーピ × 4 ● ● ● ● ピーピピ × 4 ● ● ● ● ピーピピピ × 4 ● ● ● ● ● ● ピーピピ、ピーピピピ × 2 ● ● ● ● ● ● ピー × 4 ● ● ピー × 8 ● ●	橙色で点灯（5分間） 	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にブザー音を伝えご相談ください。
—	橙色で点滅（5秒間） 	キーが登録されていません。（出荷時）	キーの登録を行ってください。 カードキー→（P.62） リモコンキー→（P.63）
ピッ ●	緑色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／施錠時）	
	赤色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／解錠時）	

14-3 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について

表示内容	お知らせ内容	コントローラーユニット
電源表示が緑色で点灯 	電源が入ってます。	電源
報知表示が緑色で点灯 	報知設定になっています。	報知
開戸表示が赤色で点灯 	ドアが開いています。	開戸
解錠表示が赤色で点灯 	カギが上下2つとも解錠しています。	解錠

ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン … ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が交互に点灯する 電源□ ← → 報知□	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にご相談ください。
—	開戸表示と解錠表示、報知表示が同時に点滅する。		

14-4 リモコンキーのランプ表示について

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法	リモコンキー
緑色で点灯(0.1秒間) 	ボタンが押されました。		ランプ
緑色で点灯(1秒間) 	電源がONになりました。		施錠ボタン
緑色で5回点滅 	電源がOFFになりました。		解錠ボタン
緑色で3回点滅 	登録が成功しました。		
上記のランプ表示が赤色で点灯・点滅	電池容量が残りわずかになりました。	電池(CR2032) × 2個を新品に交換してください。	
橙色で5分点灯 	リモコンに異常があります。	お客様相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。	

梱包明細表

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数	
		90角柱	
柱		1	
アンカーボルト		1	

【2】柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
柱キャップ		1

【3】柱 中間用セット

名 称	略 図	員 数	
		90角柱	
柱 中間用		1	
中間柱取付金具		1	
アンカーボルト		1	
【3a】 φ5×16ナベドリルねじ		4	
【3b】 φ5×30ナベタッピン ねじ2種 D=9 G=5		4	

【4】柱補強部品 標準柱用セット

名 称	略 図	員 数
柱補強裏板		1

【5】柱補強部品 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
中間柱補強金具		2
【5a】 φ5×16ナベドリルねじ		2
【5b】 φ5×10ナベ小ねじ		2

【6】フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数		
		標準 W15	標準 W30	標準 W50
フレーム		1	1	1
フレームカバー		1	1	1
スリーブ		2	2	2
フレーム取付金具		2	2	2
【6a】 φ5×16ナベドリルねじ		12	12	12
【6b】 φ5×70ナベドリルねじ		10	10	10
【6c】 φ6×120六角コーチスクリュー		2	2	2

【7】端部用標準フレームセット

名 称	略 図	員 数
端部用標準フレーム W25		1
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【7a】 φ5×16ナベドリルねじ		12
【7b】 φ5×70ナベドリルねじ		10
【7c】 φ6×120六角コーチスクリュー		2

【8】フレーム補強材セット

名 称	略 図	員 数
フレーム補強材		1
【8a】 φ5×16ナベドリルねじ		9

【9】ふかし材セット

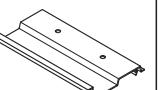
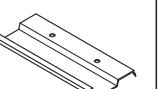
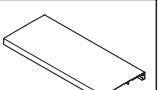
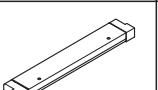
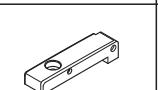
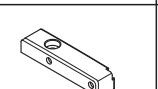
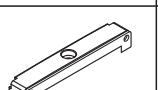
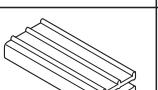
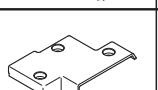
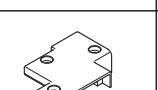
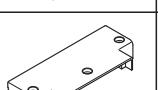
名 称	略 図	員 数	
		H24	
ふかし材		1	
【9a】 φ5×35ナベドリルねじ		5	

【10】屋根材セット

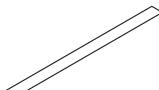
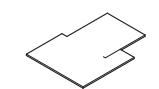
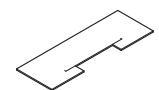
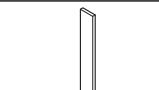
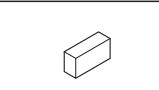
名 称	略 図	員 数			
		W10		W15	
		1枚入	2枚入	1枚入	2枚入
屋根材		1	2	1	2

梱包明細表

【II】ルーフ取付枠セット

名 称	略 図	員 数			
		W10		W15	
		1スパン	延長	1スパン	延長
屋根固定材 中間		—	1	—	1
屋根固定材 端部		2	—	2	—
屋根固定材カバー 端部		2	—	2	—
屋根固定材カバー 中間		—	1	—	1
屋根材受け1列用		1	1	1	1
屋根固定材1列用		1	1	1	1
屋根材受け1列用カバー		1	1	1	1
固定材キャップ 端部L		1	—	1	—
固定材キャップ 端部R		1	—	1	—
固定材キャップ 中間		—	1	—	1
パネル止水ビート材 W10・W20用		1	1	—	—
パネル止水ビート材 W15・W30用		—	—	1	1
屋根固定材(端部)キャップ 右		1	—	1	—
屋根固定材(端部)キャップ 左		1	—	1	—
屋根固定材(中間)キャップ		—	1	—	1
屋根固定材(端部)キャップ 止水パッキン A		2	—	2	—

【II】ルーフ取付枠セット (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		W10		W15	
		1スパン	延長	1スパン	延長
屋根固定材(中間)キャップ 止水パッキン A		—	1	—	1
シングル端部用防水テープ LR		各1	—	各1	—
シングル中間用防水テープ		—	1	—	1
屋根固定材(棟木1列用)止水材		1	1	1	1
パネル側面止水材		4	4	4	4
屋根固定端部止水材 端部用		2	—	2	—
屋根固定端部止水材 中間用		—	1	—	1
【IIa】 φ4×13 ナベドリルネジ		8	5	10	5
【IIb】 φ4×19 ナベドリルネジ		11	7	11	7
【IIc】 φ4×40 ナベドリルネジ		3	3	3	3
【IId】 φ4×30 ナベタッピンネジ2種 G=5		4	2	4	2
【IIE】 φ4×30 ナベドリルネジ		3	3	3	3
【IIf】 φ5×10 サラタッピンネジ2種		2	—	2	—
【IIg】 防水座金M4		11	7	11	7
【IIh】 防水座金M5		20	—	20	—

梱包明細表

【12】 中間フレームセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	W15
中間フレーム		1	1
中間フレーム取付金具		1	1
中間フレーム用スリーブ		1	1
中間フレーム接続パッキン		1	1
中間フレーム水切りパッキン		1	1
【12a】 $\phi 5 \times 70$ ナベドリルネジ		4	4
【12b】 $\phi 5 \times 19$ ナベドリルネジ		6	6
【12c】 $\phi 5 \times 20$ ナベタッピンネジ2種 G=5		2	2
【12d】 $\phi 5 \times 16$ サラドリルネジ		2	2

【13】 雨樋セット

名 称	略 図	員 数		
		2スパン	4スパン	6スパン
横樋		1	1	1
横樋カバー		1	1	1
横樋端部カバー 右用		1	1	1
横樋端部カバー 左用		1	1	1
樋端部取付材		2	2	2
パネル端部水切り止水材 端部用		2	2	2
パネル端部水切り止水材 中間用		1	3	5
雪下ろし指示シール		1	1	1
【13a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		2	6	10
【13b】 $\phi 4 \times 16$ サラタッピンねじ2種		4	4	4
【13c】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ		4	4	4

【14】 化粧樋(外側排水用)セット

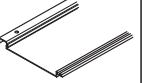
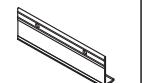
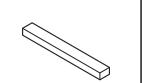
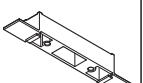
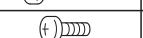
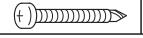
名 称	略 図	員 数
H24		
化粧樋 (ベース部)		1
化粧樋 (意匠部)		1
化粧樋 (カバー材)		1
豎樋		1
【14a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		15

【15】 エルボセット

名 称	略 図	員 数
エルボ		1
エルボアタッチメント		1
エルボキャップ (L/R)		L:1/R:1
エルボアタッチパッキン		1
エルボキャップパッキン (Oリング)		2
エルボパッキン		2
92° エルボ		1
排水部アタッチメント		1
【15a】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ3種(D=8)		2
【15b】 $\phi 4 \times 16$ トラスタッピンネジ3種(D=8)		6
【15c】 $\phi 4 \times 20$ ナベタッピンネジ2種(G=5)		3

梱包明細表

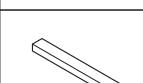
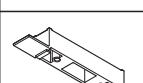
【16】板張り天井材A・B・Cセット

名 称	略 図	員 数	
		W15 2スパン	4スパン
天井材A		8	8
天井材B		1	1
天井材C		1	1
調整天井材A		2	2
調整天井材B		2	2
天井横枠A		1	2
天井横枠B		1	1
天井縦枠 W15右用		1	1
天井縦枠 W15左用		1	1
天井吊部材 W15		1	3
天井材パッキン		28	28
天井材共通スペーサー		3	9
【16a】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		3	9
【16b】 φ4×8ナベタッピンねじ2種		6	14
【16c】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		59	89
【16d】 φ4×35ナベドリルネジ D=8.2		6	18

【17】板張り天井材Aセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	6スパン
天井材A			5
天井横枠A			2
天井横枠B			2

【18】板張り天井材B・Cセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	6スパン
天井材B			1
天井材C			1
調整天井材A			1
調整天井材B			1
天井縦枠 W10右用			1
天井縦枠 W10左用			1
天井吊部材 W10			5
天井材パッキン			18
天井材共通スペーサー			15
【18a】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2			15
【18b】 φ4×8ナベタッピンねじ2種			20
【18c】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2			82
【18d】 φ4×35ナベドリルネジ D=8.2			30

梱包明細表

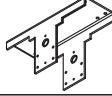
【19】 デザイン格子セット

名 称	略 図	員 数
		H24
デザイン格子		1
デザイン格子カバー		1
デザイン格子取付部材上用		1
デザイン格子取付部材下用		1
アンカー		2
【19a】 φ4×16ナベドリルねじ		4
【19b】 φ5×70ナベドリルねじ		2
【19c】 φ4×50トラスタッピンねじ1種		2

【20】 デザイン格子 埋込み施工補助部材セット

名 称	略 図	員 数
埋込み施工補助部材		1
取付金具		2
【20a】 φ4×13ナベドリルねじ		4
【20b】 M4×12ナベ小ねじ		3
【20c】 M4六角ナット		1

【21】 施工キット エントランスC

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
ルーフ取付穴位置治具		1
スリープ固定金具		4
専用接合金具		1
接合金具用スペーサー		2
【21a】 M4×10サラ小ねじ		4
【21b】 M5×16ナベ小ねじ(座金付)		8
【21c】 φ5×16ナベドリルねじ		8
取付説明書 (EXM-219)	—	1
取付説明書 (EXM-224)	—	1
取扱説明書 (UE067)	—	1
取扱説明書 (UE071)	—	1

取説コード
EXM-224

JZZ641794A
202504_1049
202508A_1049